

事業年度	令和8年度
工事種別	改修工事（建築工事）
工事番号	小大工-2

課長	係長	検算	設計

工事名 可児市立兼山小学校トイレ大規模改造工事

---

◎注意事項

この内訳書の工事項目及び数量は、積算する上での参考資料です。  
積算の際は、設計図面にて工事項目及び数量を拾い出し積算して下さい。

可児市 教育委員会事務局 教育総務課

当初 設計書



工事番号	小大工-2	工事箇所	可児市 兼山 地内	施設名	兼山小学校
工事名	可児市立兼山小学校トイレ大規模改造工事				
理 由			工 事 概 要		
<p>本工事は兼山小学校において、令和5年度に策定した「可児市小中学校トイレ改修計画」に基づき、経年により老朽化して環境が悪化したトイレの環境改善と共に、洋式化やバリアフリー化を図り、多様性へ十分配慮したトイレを整備するものである。</p>			<p>建築工事 一式  ・躯体工事  ・防水工事  ・タイル工事  ・金属工事  ・左官工事  ・建具工事  ・塗装工事  ・内装工事</p> <p>電気設備工事 一式  ・電灯設備工事  ・コンセント設備工事</p> <p>機械設備工事 一式  ・換気設備工事  ・衛生器具設備工事  ・給水設備工事  ・排水通気設備工事</p>		
金 額		円	内消費税相当額		円
特 記 仕 様 書					
<p>1. 一般事項</p> <p>(1) 受注者は、工事請負契約書、可児市建設工事共通仕様書及び特記仕様書に基づき施工するものとする。なお、特記仕様書は共通仕様書に優先する。</p> <p>(2) 受注者は、本工事が「可児市工事事品質証明実施要領」の対象となる場合、要領に基づき品質の証明を実施しなければならない。</p> <p>(3) 提出・提示書類は別添「可児市建設工事における取扱い書類一覧表」に基づき実施するものとする。また、工事打合簿（指示、協議、承諾は除く）、材料確認簿、夜間・休日作業届けの書類を提出する場合は、別添様式に基づき、電子メールにて提出するものとし、書面には署名または押印する必要はないものとする。これらに定めのない事項については、監督員と協議する。</p> <p>2. 建設副産物有効利用及び適正処理について</p> <p>(1) 受注者は、建設副産物を排出するにあたっては、建設リサイクル法を遵守するとともに、「岐阜県建設副産物有効利用及び適正処理実施要綱」により、適切に実施すること。</p> <p>(2) 建設発生土については、工事間流用とし、流用先は監督員が指示する。都合により工事間流用ができなくなった場合は、別途協議する。また受注者の都合により処分場を変更する時は監督員に報告するものとする。なお、「岐阜県埋立て等の規制に関する条例」及び「岐阜県建設発生土管理基準」に基づき適正な利用の推進を図ること。</p> <p>3. 使用材料</p> <p>(1) 生コンクリートについて  本工事に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリート(24N/mm<sup>2</sup>以上)については55%以下、無筋コンクリート及び鉄筋コンクリート(21N/mm<sup>2</sup>以下)については60%以下、均しコンクリートについては60%程度とし、品質を証明する書類を提出して、事前に監督員の許可を得ること。</p> <p>4. 工事施工について</p> <p>(1) 受注者は、工事着手に先立ち、現場付近の地元住民等に対する周知、説明、説得等を行い、トラブルの生じないよう努めること。</p> <p>(2) 工事による既設構造物の破損については、未然に防止するよう予め十分調査をし、また、支障を及ぼさないよう相当の防護工を施工しなければならない。なお、誤って損傷を与えた場合は、請負人の責任において復旧しなければならない。調査に際しては、記録保存の必要を認めた場合は写真撮影、測量等を行わなければならない。</p> <p>5. 工事保険について  本工事において、発注者、受注者及び全下請人を被保険者として、工事着手から工事目的物の引渡しまでの期間について、賠償責任保険(保険対象:第三者に与えた損害)及び工事保険(保険対象:工事目的物、工事材料及び仮設物等)に加入するものとする。</p> <p>6. ワンデーレスポンスの取組について</p> <p>(1) この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事です。  「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議、報告、承諾願、立会願等への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することです。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。</p> <p>(2) 実施にあたっては、可児市工事監督におけるワンデーレスポンス実施要領に基づき実施する。</p> <p>(3) 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合や計画工程と実施行程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。</p> <p>(4) 受注者は、施工計画書に基づいて適正な計画工程を作成し、工事の先々を予見しながら、施工するものとする。</p>					

7. 電子納品について  
「岐阜県電子納品要領」等に基づき、電子納品を行うこと。なお、電子納品の内容については、監督員と事前に協議し、決定すること。
8. 暴力団等による不当介入における通報義務について  
(1) 受注者は、契約の履行に当たって、暴力団又は暴力団員等から、事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報するとともに、可児市が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱(平成22年可児市訓令甲第47号)に定める様式第9号により可児市に報告しなければならない。なお、通報・報告がない場合は、可児市建設工事請負契約に係る指名停止措置要領に基づき、指名停止等の措置を行うことがある。  
(2) 受注者は、暴力団又は暴力団員等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に工事等を完了することができないときは、発注者に履行期間の延長変更を請求することができる。
9. 現場代理人の兼務について  
現場代理人は、工事請負契約約款第10条第2項の規定により、契約工期内の現場常駐が義務付けられているが、契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間や、工事の全部の施工を一時中止している期間については、監督員との連絡体制を確保した上で、常駐義務を緩和するものとする。  
また、以下の条件を全て満たす場合に、他工事の現場代理人を兼務することができる。
  1. 他工事は、可児市発注の建設工事で、工事現場が市内であること。
  2. 他工事においても、本工事と同様に現場代理人の兼務を認めていること。
  3. 兼務を行う工事の総数が、本工事を含めて3件までであること。
  4. 兼務を行う工事の請負代金額の合計が4,000万円未満であること。
  5. 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応ができること。なお、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がある場合、及び、発注者との連絡体制が確保されていないと監督員の認めた場合は、兼務を取り消すものとする。  
現場代理人が兼務となった場合は、本工事の監督員及び他工事の監督員の双方に、現場代理人兼務届を提出しなければならない。
10. 可児市公共基準点の保全について  
公共施工区域内に可児市公共基準点が設置してある場合は、基準点鋸を滅失・き損または、その効用に支障をきたすことのないよう十分に留意すること。施工上止むを得ず支障となる場合は、事前に監督員に報告すること。
11. 法定外の労災保険の付保  
本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
12. 建築物・工作物等の解体・改修工事に伴うアスベスト調査について  
工事規模、請負金額にかかわらず事前にアスベストの使用の有無の事前調査を行うこと。  
また、一定規模以上の工事は、事前調査結果を岐阜県に報告すること。
13. 統一の一斉休工の取組について  
(1) 本工事は「建設現場の週休2日」の普及および浸透に向けて、週休2日制モデル工事の適否に関わらず、土曜日の休工に努める「まんなかホリデー(中部地区統一の一斉休工)」に取組むものとする。  
なお、本取組は強制的な一斉休工や工程の調整を求めるものではない。  
(2) 休工とは、現場事務所での事務作業を含め1日を通して現場や現場事務所が閉所されている状態をいう。  
(巡回パトロールや保守点検等現場管理上必要な作業を行う場合を除く)
14. その他  
(1) 学校の児童や先生、来校者への安全対策に配慮すること。また、学校運営に支障が無いようにするため、学校や教育委員会と事前に仮設計画や工程等に関する協議を行うこと。  
(2) 工事共通仕様  
・国土交通省大臣官房庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書(建築・電気設備・機械設備工事編) 最新版  
・国土交通省大臣官房庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書(建築・電気設備・機械設備工事編) 最新版  
(3) 工事用水・電気については施設内のものを使用することができる。ただし、有償とする。

その他図面特記仕様書による。

特記仕様書  
(条件明示)

工事名 可児市立兼山小学校トイレ大規模改修工事

下記項目、事項のうちレ印該当欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。  
 なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、市と協議し適切な処置を講ずるものとする。

施工条件

明示項目	明示事項	制約条件等
工 程	<input type="checkbox"/> 1. 関連する別途発注工事あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ( ) <input type="checkbox"/> B. 期間 ( ~ )
	<input type="checkbox"/> 2. 他機関協議による工程条件あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ( ) <input type="checkbox"/> B. 期間 ( ~ )
	<input type="checkbox"/> 3. 他機関との協議状況	<input type="checkbox"/> A. 協議済機関及び内容 ( ) <input type="checkbox"/> B. 未協議機関及び内容 ( )
	<input type="checkbox"/> 4. 占用許可状況 ( )	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 5. 建築確認	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 6. 河川区域、保全区域内作業あり	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 7. 文化財協議 (文化財課)	<input type="checkbox"/> A. 協議済内容 ( ) <input type="checkbox"/> B. 未協議内容 ( )
	<input type="checkbox"/> 8. 施工時期	<input type="checkbox"/> A. 施工時期 ( )
	<input checked="" type="checkbox"/> 9. その他	<input checked="" type="checkbox"/> A. その他 ( 小学校運営に支障がないよう配慮すること。 )
用 地	<input type="checkbox"/> 1. 用地補償物件撤去まで着工制限あり	<input type="checkbox"/> A. 区間(No. ~ No. ) <input type="checkbox"/> B. 着工見込時期( ) <input type="checkbox"/> C. 内容 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. 工事用地の未買収	<input type="checkbox"/> A. 場所 ( ) <input type="checkbox"/> B. 処理の見込み時期( ) <input type="checkbox"/> C. 未買収地への立ち入り可否( )
	<input type="checkbox"/> 3. 仮設ヤードの有無	<input type="checkbox"/> A. 官有地 <input type="checkbox"/> B. 民有地 <input type="checkbox"/> C. その他 ( ) <input type="checkbox"/> D. 別途協議
	<input type="checkbox"/> 4. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
公 害 対 策	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 施工方法の制限あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. 騒音 ( 小学校運営に支障がないよう配慮すること。 ) <input checked="" type="checkbox"/> B. 振動 ( 小学校運営に支障がないよう配慮すること。 ) <input type="checkbox"/> C. 水質 ( ) <input type="checkbox"/> D. その他 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. 事業損失防止に関する調査あり	<input type="checkbox"/> A. 調査の項目 ( )
	<input type="checkbox"/> 3. 環境影響調査あり	<input type="checkbox"/> A. 生物・植物調査あり
	<input type="checkbox"/> 4. 土壌汚染対策法に関する届出	<input type="checkbox"/> A. 届出済 (3,000㎡以上の土地の形質の変更、工事着手30日前まで)
	<input checked="" type="checkbox"/> 5. 石綿含有に関する事前調査	<input checked="" type="checkbox"/> A. 発注者による含有調査( 含有有り ) <input type="checkbox"/> B. 受注者による含有調査 <input type="checkbox"/> C. 調査結果の報告(一定規模以上)
	<input type="checkbox"/> 6. その他	<input type="checkbox"/> A. フロン回収あり <input type="checkbox"/> B. その他 ( )
安 全 対 策	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 交通規制あり	<input type="checkbox"/> A. 全面通行止め <input type="checkbox"/> B. 片側通行止め <input checked="" type="checkbox"/> C. 時間制限あり ( 登下校時間帯 )
	<input type="checkbox"/> 2. 通学路あり	<input type="checkbox"/> A. 迂回路あり <input type="checkbox"/> B. 仮設歩道必要
	<input type="checkbox"/> 3. 交通整理員	<input type="checkbox"/> A. 区間(No. ~ ) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> B. 区間(No. ~ ) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> C. 区間(No. ~ ) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> D. 交替要員あり
	<input type="checkbox"/> 4. 鉄道等の近接作業制限あり	<input type="checkbox"/> A. 工法制限あり ( ) <input type="checkbox"/> B. 作業時間制限あり ( )
	<input type="checkbox"/> 5. バス路線 (運行者との協議)	<input type="checkbox"/> A. 協議済内容 ( ) <input type="checkbox"/> B. 未協議内容 ( )
	<input checked="" type="checkbox"/> 6. その他	<input checked="" type="checkbox"/> A. その他 ( 学校敷地内及び学校周囲通行時徐行 )
工 事 用 道 路	<input type="checkbox"/> 1. 一般道路 (搬入路) の使用制限	<input type="checkbox"/> A. 搬入経路指定あり <input type="checkbox"/> B. 時間帯制限あり
	<input type="checkbox"/> 2. 仮設道路の設置条件あり	<input type="checkbox"/> A. 一般交通供用あり <input type="checkbox"/> B. 安全施設必要 ( ) <input type="checkbox"/> C. 路面工 ( ) <input type="checkbox"/> D. 工事完了後存続又は撤去 ( ) <input type="checkbox"/> E. 構造 ( ) <input type="checkbox"/> F. 用地 (借地) <input type="checkbox"/> G. 用地 (公用地) <input type="checkbox"/> H. 用地 (その他)
	<input type="checkbox"/> 3. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
指 定 仮 設 備	<input type="checkbox"/> 1. 仮設物の指定又は一部指定あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. 仮設構造物の転用、兼用あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ( ) <input type="checkbox"/> B. 内容 ( )
	<input type="checkbox"/> 3. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )

明示項目	明示事項	制約条件等
建設発生廃棄物係	<input type="checkbox"/> 1. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [場所が未確定]	<input type="checkbox"/> A. 運搬距離 ( km ) <input type="checkbox"/> B. 投棄料計上あり <input type="checkbox"/> C. 整地(押土、敷均、締固等)必要 <input type="checkbox"/> D. 整地(押土)必要
	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [自工事へ流用]	<input checked="" type="checkbox"/> A. 盛土、埋戻 <input type="checkbox"/> B. スtockヤード利用あり ( ) <input type="checkbox"/> C. 仮置場必要 ( ) <input type="checkbox"/> D. 運搬距離 ( km ) <input type="checkbox"/> E. 仮置場の用地借上費計上あり
	<input type="checkbox"/> 3. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事へ流用、または処分地指定]	<input type="checkbox"/> A. 場所 ( ) <input type="checkbox"/> B. 盛土、埋戻 <input type="checkbox"/> C. 整地(押土、敷き均し、転圧)あり <input type="checkbox"/> D. スtockヤード利用あり ( ) <input type="checkbox"/> E. 仮置場必要 ( ) <input type="checkbox"/> F. 運搬距離 ( km ) <input type="checkbox"/> G. 仮置場の用地借上費計上あり <input type="checkbox"/> H. 処分料計上あり
	<input type="checkbox"/> 4. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事からの流用]	<input type="checkbox"/> A. 他工事名 ( ) <input type="checkbox"/> B. 請負者運搬あり(運搬距離 km ) <input type="checkbox"/> C. 盛土、埋め戻し <input type="checkbox"/> D. スtockヤード利用あり ( ) <input type="checkbox"/> E. 仮置場必要 ( ) <input type="checkbox"/> F. 仮置場の用地借上費計上あり
	<input type="checkbox"/> 5. 産業廃棄物の処理条件あり [特別管理産業廃棄物]	<input type="checkbox"/> A. 種類 ( ) <input type="checkbox"/> B. 場所 ( ) <input type="checkbox"/> C. 中間処理施設までの運搬距離 ( km ) <input type="checkbox"/> D. 処理費計上あり
	<input type="checkbox"/> 6. 浄化槽、汲み取り便槽の取壊し処分あり	<input type="checkbox"/> A. 槽内洗浄必要 <input type="checkbox"/> B. 可見市環境課と打合せの必要あり
	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 「岐阜県建設副産物有効利用及び適正処理実施要綱」に基づく提出・提示書類あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. 産業廃棄物管理票(マニフェスト) <input type="checkbox"/> B. 建設発生土管理状況書類及び処理地の関係図書 <input checked="" type="checkbox"/> C. コブリス <input checked="" type="checkbox"/> D. 廃棄物処理委託契約、許可書
工事支障物件	<input type="checkbox"/> 1. 占用支障物件あり(電気)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期(R 年 月頃) <input type="checkbox"/> B. 移設時期(別途協議)
	<input type="checkbox"/> 2. 占用支障物件あり(電話)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期(R 年 月頃) <input type="checkbox"/> B. 移設時期(別途協議)
	<input type="checkbox"/> 3. 占用支障物件あり(水道)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期(R 年 月頃) <input type="checkbox"/> B. 移設時期(別途協議)
	<input type="checkbox"/> 4. 占用支障物件あり(下水道)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期(R 年 月頃) <input type="checkbox"/> B. 移設時期(別途協議)
	<input type="checkbox"/> 5. 占用支障物件あり(ガス)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期(R 年 月頃) <input type="checkbox"/> B. 移設時期(別途協議)
	<input type="checkbox"/> 6. 占用支障物件あり(マンホール蓋、仕切り弁蓋等)	<input type="checkbox"/> A. 管理者による高さ調整 ( ) <input type="checkbox"/> B. 請負者による高さ調整 ( )
	<input type="checkbox"/> 7. 占用支障物件あり(その他)	<input type="checkbox"/> A. 移設時期( ) <input type="checkbox"/> B. 移設時期(別途協議)
	<input type="checkbox"/> 8. その他	<input type="checkbox"/> A. その他( )
排水工関係	<input type="checkbox"/> 1. 濁水、湧水処理条件あり	<input type="checkbox"/> A. 方法( )
	<input type="checkbox"/> 2. その他	<input type="checkbox"/> A. その他( )
再生材使用	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 再生材使用指定あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. RC <input checked="" type="checkbox"/> B. アスファルト再生合材(30%再生) <input type="checkbox"/> C. アスファルト再生合材(100%再生) <input type="checkbox"/> D. 再生材を使用できない場合別途協議 <input type="checkbox"/> E.
	<input type="checkbox"/> 2. その他	<input type="checkbox"/> A. その他( )
その他	<input type="checkbox"/> 1. 現場発生材あり	<input type="checkbox"/> A. 品名( ) <input type="checkbox"/> B. 納入場所( )
	<input type="checkbox"/> 2. 支給材あり	<input type="checkbox"/> A. 品名( ) <input type="checkbox"/> B. 引渡し場所( )
	<input type="checkbox"/> 3. 現場環境改善	<input type="checkbox"/> A. 仮設費( ) <input type="checkbox"/> B. 安全費( ) <input type="checkbox"/> C. 営繕費( ) <input type="checkbox"/> D. 地域連携( )
	<input type="checkbox"/> 4. 「可見市工物品質証明実施要領」該当あり	<input type="checkbox"/> A. 品質証明員の配置あり
	<input type="checkbox"/> 5. 部分使用	<input type="checkbox"/> A. 範囲( ) <input type="checkbox"/> B. 時期( )
	<input type="checkbox"/> 6. その他	<input type="checkbox"/> A. その他( )

記号	工 事 名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	可児市立兼山小学校トイレ大規模改造工事						
A	建築工事		1.0	式			
E	電気設備工事		1.0	式			
M	機械設備工事		1.0	式			
I	直接工事費 計		1.0	式			
II	共通仮設費	(共通仮設工事費積上分を含む)	1.0	式			
	純工事費 計						
III	現場管理費		1.0	式			
	工事原価 計						
IV	一般管理費等負担額		1.0	式			
	工事価格 計						
V	消費税相当額		1.0	式			
	総 合 計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(1)	管理特別教室棟	職員トイレ(改修A1)					
1	直接仮設工事		1.0	式			
2	解体撤去工事		1.0	式			
3	躯体工事		1.0	式			
4	防水工事		1.0	式			
5	タイル工事		1.0	式			
6	金属工事		1.0	式			
7	左官工事		1.0	式			
8	建具工事		1.0	式			
9	塗装工事		1.0	式			
10	内装工事		1.0	式			
11	ユニット・その他工事		1.0	式			
	計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	墨出し	内部 複合改修	12.2	m2			
	養生	内部 複合改修	12.2	m2			
	清掃・片付け	内部 複合改修	12.2	m2			
	内部足場	脚立足場 並列	12.2	m2			
	作業用通路養生	シート+ベニヤ程度	8.8	m2			
	サッシ養生	ベニヤ張り程度	4.0	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	解体撤去工事						
	カッター入れ	コンクリート面	27.4	m			
	カッター入れ	モルタル面	55.7	m			
	コンクリート土間解体	ハンドブレーカ	2.7	m3			
	床 モルタル撤去		1.5	m2			
	床 タイル撤去	下地モルタル共	22.7	m2			
	床 塩ビシート撤去		1.5	m2			
	SUS 上框撤去		2.0	箇所			
	鉄筋はつりだし	床	144.0	箇所			
	壁 タイル撤去	下地モルタル共	9.9	m2			
	間仕切下地 撤去	CB100	8.4	m2			
	天井 石綿板撤去	石綿含有	24.4	m2			
	天井下地 撤去	LGS	24.4	m2			
	和便器 撤去		3.0	箇所			
	トイレブース 撤去		20.8	m2			
	発生材内小運搬	コンクリート・モルタル類 人力	5.1	m3			
	発生材場内小運搬	内装仕上材 人力	0.2	m3			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	発生材積込・運搬		1.0	式			別紙-1
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	躯体工事						
	(地業)						
	砕石地業	再生材 土間下 人力	2.2	m3			
	床下防湿材敷き	ポリエチレンフィルム t0.15	22.7	m2			
	床下断熱材敷き	ポリスチレンフォーム保温板 t25	22.7	m2			
	(鉄筋)						
	異形鉄筋	SD295A D13	247.0	kg			
	スクラップ控除		9.5	kg			
	鉄筋加工組立		238.0	kg			
	鉄筋運搬費		238.0	kg			
	金属拡張アンカー	D13 L600	144.0	本			
	(コンクリート)						
	普通コンクリート	土間 24-15-20	3.4	m3			
	普通コンクリート	レベル調整 24-15-20	0.1	m3			
	打設手間	ポンプ 土間	3.4	m3			



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	防水工事						
	シーリング	SR-1 10x10	30.4	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	タイル工事						
	汚垂石	薄型タイル t6x800x600	4.0	枚			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	金属工事						
	(軽量鉄骨下地)						
	軽量鉄骨壁下地	65形 @450	3.2	m2			
	軽量鉄骨壁下地	100形 @450	8.0	m2			
	軽量鉄骨天井下地	19形 @300	24.2	m2			
	天井下地開口補強	19形 450x450程度	2.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	左官工事						
	床 コンクリート面直均し仕上げ	金ごて	22.3	m2			
	小計						
	改め計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9	塗装工事						
	SOP塗替え	木部 細幅物 下地調整RB種	20.5	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
10	内装工事						
	(床)						
	複層ビニル床シート	t2.0 抗菌・重歩行 ワックス不用品	22.3	m2			
	(壁)						
	壁 石膏ボード	t12.5 突付	11.2	m2			
	壁 マリン化粧合板	t3.0 ジョイナー共	11.2	m2			
	壁 マリン化粧合板	t3.0 直張り ジョイナー共	69.4	m2			
	ソフト巾木	H60	29.8	m			
	(天井)						
	天井 化粧石膏ボード	t9.5 突付	24.2	m2			
	廻り縁	塩ビ製 突付	29.7	m			
	天井点検口	アルミ製 450角 内外額縁枠	2.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
11	ユニット・その他工事						
	(雑)						
	面台	ホ°ストフォームカウンター 20x150	7.4	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(2)	特別普通教室棟	児童・多目的トイレ(改修A2)					
1	直接仮設工事		1.0	式			
2	解体撤去工事		1.0	式			
3	防水工事		1.0	式			
4	木工事		1.0	式			
5	金属工事		1.0	式			
6	左官工事		1.0	式			
7	建具工事		1.0	式			
8	ガラス工事		1.0	式			
9	塗装工事		1.0	式			
10	内装工事		1.0	式			
11	ユニット・その他工事		1.0	式			
	計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	墨出し	内部 複合改修	20.2	m2			
	養生	内部 複合改修	20.2	m2			
	清掃・片付け	内部 複合改修	20.2	m2			
	墨出し	内部 個別改修	26.3	m2			
	養生	内部 個別改修	26.3	m2			
	清掃・片付け	内部 個別改修	26.3	m2			
	内部足場	脚立足場 並列	46.5	m2			
	壁面養生	シート張り程度	77.4	m2			
	サッシ養生	ベニヤ張り程度	3.4	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	解体撤去工事						
	カッター入れ	コンクリート面	8.8	m			
	カッター入れ	モルタル面	29.7	m			
	コンクリート躯体解体	ハントプレート	0.2	m3			
	床 モルタル撤去		11.4	m2			
	床 塩ビシート撤去		20.0	m2			
	SUS 沓摺撤去		5.3	m			
	壁 タイル撤去	下地モルタル共	0.9	m2			
	間仕切下地 撤去	CB100	2.8	m2			
	天井 石膏ボード撤去	廻り縁共	41.0	m2			
	天井下地 撤去	LGS	41.0	m2			
	ガラス撤去		0.7	m2			
	パーティション撤去	800x2000	1.0	箇所			
	SUS シンク 撤去	L3600	1.0	箇所			
	発生材内小運搬	コンクリート・モルタル類 人力	0.9	m3			
	発生材場内小運搬	内装仕上材 人力	0.5	m3			
	発生材積込・運搬		1.0	式			別紙-2



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	防水工事						
	シーリング	SR-1 10x10	9.3	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	木工事						
	巾木	杉 H100 材工共	7.4	m			
	壁見切	杉 25x30 材工共	2.4	m			
	三方枠	杉 25x140 材工共	5.3	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	金属工事						
	(軽量鉄骨下地)						
	軽量鉄骨壁下地	65形 @450	29.4	m2			
	軽量鉄骨壁下地	100形 @450	2.3	m2			
	壁下地開口補強	65形 三方 1200x2000程度	1.0	箇所			
	軽量鉄骨天井下地	19形 @300	41.0	m2			
	軽量鉄骨下り壁下地	19形	1.7	m			
	天井下地開口補強	19形 450x450程度	3.0	箇所			
	(雑金物)						
	杓摺	SUS HL t1.5xW40xH20	1.3	m			
	巾木	SUS H100	0.7	m			
	サッシ取合見切	AL t1.5加工	3.1	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	左官工事						
	床 モルタル塗り	金ごて t30	14.0	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	建具工事						
	(鋼製軽量建具)						
	LSD-1	2枚連動片引きハンガー戸(壁内収納)	1.0	箇所			
	(トイレブース)						
	TB-4	トイレブース(既設取外し・再取付)	1.0	箇所			
	TB-5	トイレブース(既設取外し・再取付)	1.0	箇所			
	TB-6	トイレブース(既設取外し・再取付)	1.0	箇所			
	(アルミ製建具)						
	AW-K1	2段引き違い窓(既設改修)	1.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8	ガラス工事						
	型板強化ガラス	TF4	0.4	m2			
	アルミ複合パネル	t3.0	0.4	m2			
	ガラス留シーリング		16.4	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9	塗装工事						
	SOP塗り	木部 細幅物 素地ごしらえ共	2.4	m			
	WP塗り	木部 細幅物 素地ごしらえ共	5.3	m			
	EP塗り	石膏ボード面 素地ごしらえ共	23.3	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
10	内装工事						
	(床)						
	複層ビニル床シート	t2.0 抗菌・重歩行 ワックス不用品	17.4	m2			
	(壁)						
	壁 石膏ボード	t12.5 突付	28.6	m2			
	壁 石膏ボード 重張り	下地石膏ボードt12.5共	23.3	m2			
	石膏ボード継目処理		23.3	m2			
	壁 メラミン化粧合板	t3.0 ジョイナー共	28.6	m2			
	壁 メラミン化粧合板	t3.0 直張り ジョイナー共	9.5	m2			
	ソフト巾木	H60	7.9	m			
	(天井)						
	天井 化粧石膏ボード	t9.5 突付	41.0	m2			
	下り壁見切	塩ビ製	1.7	m			
	廻り縁	塩ビ製 突付	62.2	m			
	天井点検口	アルミ製 450角 内外額縁枠	3.0	箇所			



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
11	ユニット・その他工事						
	(家具)						
	流し	W2500xD550xH650	1.0	箇所			
	SK流し	W604xD550xH650	1.0	箇所			
	(サイン)						
	室名サイン	平付型 アクリル製200x200	4.0	箇所			
	(雑)						
	面台	ポストフォームカウンター 20x150	3.1	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(3)	特別普通教室棟	児童トイレ(改修A3)					
1	直接仮設工事		1.0	式			
2	解体撤去工事		1.0	式			
3	躯体工事		1.0	式			
4	防水工事		1.0	式			
5	タイル工事		1.0	式			
6	木工事		1.0	式			
7	金属工事		1.0	式			
8	左官工事		1.0	式			
9	建具工事		1.0	式			
10	ガラス工事		1.0	式			
11	塗装工事		1.0	式			
12	内装工事		1.0	式			
13	ユニット・その他工事		1.0	式			
	計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	墨出し	内部 複合改修	34.4	m2			
	養生	内部 複合改修	34.4	m2			
	清掃・片付け	内部 複合改修	34.4	m2			
	内部足場	脚立足場 並列	34.4	m2			
	サッシ養生	ペニヤ張り程度	3.4	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	解体撤去工事						
	カッター入れ	コンクリート面	38.8	m			
	カッター入れ	モルタル面	21.2	m			
	コンクリート土間解体	ハンドブレーカ	0.2	m3			
	コンクリート躯体解体	ハンドブレーカ	0.3	m3			
	床 モルタル撤去		1.6	m2			
	床 タイル撤去	下地モルタル共	2.1	m2			
	床 塩ビシート撤去		7.6	m2			
	SUS 沓摺撤去		2.3	m			
	鉄筋はつりだし	床	70.0	箇所			
	壁 タイル撤去	下地モルタル共	10.9	m2			
	間仕切下地 撤去	CB100	9.5	m2			
	天井 石綿板撤去	石綿含有	34.1	m2			
	天井下地 撤去	LGS	34.1	m2			
	和便器 撤去		7.0	箇所			
	トイレブース 撤去		34.1	m2			
	パーティション撤去		1.0	箇所			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	発生材内小運搬	コンクリート・モルタル類 人力	1.7	m3			
	発生材場内小運搬	内装仕上材 人力	0.3	m3			
	発生材積込・運搬		1.0	式			別紙-3
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	躯体工事						
	(鉄筋)						
	異形鉄筋	SD295A D13	42.0	kg			
	スクラップ控除		1.6	kg			
	鉄筋加工組立		40.4	kg			
	鉄筋運搬費		40.4	kg			
	接着系アンカー	D13 L600	154.0	本			
	(コンクリート)						
	普通コンクリート	スラブ 24-15-20	0.5	m3			
	普通コンクリート	レベル調整 24-15-20	1.4	m3			
	打設手間	ポンプ スラブ	0.5	m3			
	打設手間	ポンプ レベル調整	1.4	m3			
	ポンプ圧送費・基本料		0.5	回			
	(型枠)						
	普通合板型枠		2.1	m2			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	型枠運搬費		2.1	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	防水工事						
	シーリング	SR-1 10x10	34.4	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	タイル工事						
	汚垂石	薄型タイル t6x800x600	5.0	枚			
	小計						
	改め計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	金属工事						
	(軽量鉄骨下地)						
	軽量鉄骨壁下地	65形 @450	17.5	m2			
	軽量鉄骨壁下地	100形 @450	10.9	m2			
	壁下地開口補強	65形 三方 1200x2000程度	1.0	箇所			
	軽量鉄骨天井下地	19形 @300	34.1	m2			
	天井下地開口補強	19形 450x450程度	2.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8	左官工事						
	床 コンクリート面直均し仕上げ	金ごて	24.0	m2			
	床 モルタル塗り	金ごて t30	1.5	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9	建具工事						
	(トイレブース)						
	TB-2	トイレブース	1.0	箇所			
	TB-7	トイレブース	1.0	箇所			
	TB-8	トイレブース	1.0	箇所			
	TB-9	トイレブース	1.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
10	ガラス工事						
	型板強化ガラス	TF4	0.2	m2			
	ガラス留シーリング		8.4	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
11	塗装工事						
	SOP塗り	木部 細幅物 素地ごしらえ共	2.4	m			
	WP塗り	木部 細幅物 素地ごしらえ共	5.3	m			
	EP塗り	石膏ボード面 素地ごしらえ共	9.9	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
12	内装工事						
	(床)						
	複層ビニル床シート	t2.0 抗菌・重歩行 ワックス不用品	28.6	m2			
	(壁)						
	壁 石膏ボード	t12.5 突付	26.8	m2			
	壁 石膏ボード 重張り	下地石膏ボードt12.5共	9.9	m2			
	石膏ボード継目処理		9.9	m2			
	壁 メラミン化粧合板	t3.0 ジョイナー共	26.8	m2			
	壁 メラミン化粧合板	t3.0 直張り ジョイナー共	66.3	m2			
	ソフト巾木	H60	39.4	m			
	(天井)						
	天井 化粧石膏ボード	t9.5 突付	34.1	m2			
	廻り縁	塩ビ製 突付	26.3	m			
	天井点検口	アルミ製 450角 内外額縁枠	2.0	箇所			



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
13	ユニット・その他工事						
	(サイン)						
	室名サイン	平付型 アクリル製200x200	3.0	箇所			
	室名表示	カッティングシート 50角/文字	2.0	箇所			
	(雑)						
	面台	ポストフォームカウンター 20x150	4.3	m			
	面台	ポストフォームカウンター 20x300	3.5	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(4)	給食棟	一般トイレ(改修B1)					
1	直接仮設工事		1.0	式			
2	解体撤去工事		1.0	式			
3	躯体工事		1.0	式			
4	防水工事		1.0	式			
5	木工事		1.0	式			
6	金属工事		1.0	式			
7	左官工事		1.0	式			
8	建具工事		1.0	式			
9	ガラス工事		1.0	式			
10	塗装工事		1.0	式			
11	内装工事		1.0	式			
12	ユニット・その他工事		1.0	式			
	計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	墨出し	内部 複合改修	9.0	m2			
	養生	内部 複合改修	9.0	m2			
	清掃・片付け	内部 複合改修	9.0	m2			
	内部足場	脚立足場 並列	9.0	m2			
	作業用通路養生	シート+ベニヤ程度	6.3	m2			
	サッシ養生	ベニヤ張り程度	4.1	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	解体撤去工事						
	カッター入れ	コンクリート面	8.4	m			
	カッター入れ	モルタル面	14.8	m			
	コンクリート土間解体	ハンドブレーカ	0.5	m3			
	床 タイル撤去	下地モルタル共	9.2	m2			
	床 たたみ撤去		4.5	枚			
	鉄筋はつりだし	床	44.0	箇所			
	壁 タイル撤去	下地モルタル共	2.3	m2			
	壁 石膏ボード撤去	GL下地	18.0	m2			
	間仕切下地 撤去	CBt100	9.7	m2			
	天井 石綿板撤去	石綿含有 廻り縁共	2.9	m2			
	天井 合板撤去	廻り縁共	6.4	m2			
	天井下地 撤去	LGS	2.9	m2			
	和便器 撤去		1.0	箇所			
	トイレブース 撤去		4.0	m2			
	木製建具 撤去	FD 900x1800 枠共	1.0	箇所			
	発生材内小運搬	コンクリート・モルタル類 人力	1.9	m3			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	発生材場内小運搬	内装仕上材 人力	6.4	m3			
	発生材積込・運搬		1.0	式			別紙-4
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	躯体工事						
	(地業)						
	砕石地業	再生材 土間下 人力	0.4	m3			
	床下防湿材敷き	ポリエチレンフィルム t0.15	4.7	m2			
	床下断熱材敷き	ポリスチレンフォーム保温板 t25	4.7	m2			
	(鉄筋)						
	異形鉄筋	SD295A D13	51.5	kg			
	スクラップ控除		1.9	kg			
	鉄筋加工組立		49.5	kg			
	鉄筋運搬費		49.5	kg			
	金属拡張アンカー	D13 L600	46.0	本			
	(コンクリート)						
	普通コンクリート	土間 24-15-20	4.7	m3			
	打設手間	ポンプ 土間	4.7	m3			
	ポンプ圧送費・基本料		0.5	回			



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	防水工事						
	シーリング	SR-1 10x10	3.7	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	木工事						
	床 下地板張り	ラワン合板t12 材工共	4.8	m2			
	床見切	杉 25x30 材工共	2.5	m			
	たたみ寄せ	杉 30x40 材工共	2.5	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	金属工事						
	(軽量鉄骨下地)						
	軽量鉄骨壁下地	65形 @450	17.2	m2			
	軽量鉄骨壁下地	100形 @450	0.5	m2			
	壁下地開口補強	65形 三方 900x2000程度	2.0	箇所			
	軽量鉄骨天井下地	19形 @300	4.3	m2			
	天井下地開口補強	19形 450x450程度	2.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	左官工事						
	床 モルタル塗り	金ごて t30	3.9	m2			
	壁 モルタル塗り	金ごて t20	1.1	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8	建具工事						
	(鋼製軽量建具)						
	LSD-2	片開き戸	1.0	箇所			
	LSD-3	片開き戸	1.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9	ガラス工事						
	型板強化ガラス	TF4	0.2	m2			
	ガラス留シーリング		8.4	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
10	塗装工事						
	CL塗替え	木部 細幅物 下地調整RB種	28.4	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
11	内装工事						
	(床)						
	複層ビニル床シート	t2.0 抗菌・重歩行 ワックス不用品	3.9	m2			
	複合フローリング	t12.0 表層なら単板t2.0	0.3	m2			
	たたみ	建材畳 KT-III	3.0	枚			
	(壁)						
	壁 石膏ボード	t12.5 突付	38.5	m2			
	石膏ボード継目処理		15.6	m2			
	壁 クロス貼り		15.6	m2			
	壁 メラミン化粧板	t3.0 ジョイナー共	22.9	m2			
	壁 メラミン化粧板	t3.0 直張り ジョイナー共	9.8	m2			
	ソフト巾木	H60	9.7	m			
	(天井)						
	天井 化粧石膏ボード	t9.5 突付	4.3	m2			
	廻り縁	塩ビ製 突付	20.9	m			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	天井点検口	アル製 450角 内外額縁枠	2.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
12	ユニット・その他工事						
	(雑)						
	面台	ホ°ストフォームカウンター 20x150	0.6	m			
	洗濯機置場	640角	1.0	箇所			
	小計						
	改め計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	解体撤去工事						
	カッター入れ	コンクリート面	8.3	m			
	犬走り解体	ハンドブレイカ	0.1	m3			
	鉄筋はつりだし	床	25.0	箇所			
	カッター入れ	アスファルト舗装面	23.8	m			
	アスファルト舗装撤去		5.4	m2			
	手摺カッター		1.0	m			
	手摺撤去		1.0	式			
	発生材内小運搬	コンクリート・モルタル類 人力	0.4	m3			
	発生材積込・運搬		1.0	式			別紙-5
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	外構工事						
	(地業)						
	砕石地業	再生材 土間下 人力	0.1	m3			
	(鉄筋)						
	異形鉄筋	SD295A D13	16.7	kg			
	スクラップ控除		0.6	kg			
	鉄筋加工組立		16.1	kg			
	鉄筋運搬費		16.1	kg			
	(コンクリート)						
	普通コンクリート	犬走 24-15-20	0.1	m3			
	打設手間	ポンプ 土間	0.1	m3			
	ポンプ圧送費・基本料		0.5	回			
	(雑)						
	アスファルト舗装	再生材 A-5-15	5.2	m2			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	フェンス	UN-A1200-50	3.6	m			
	手摺端部キャップ		1.0	箇所			
	手摺SOP塗替え	鉄部 細幅物 素地ごしらえ共	9.4	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(6)	発生材処分						
	コンクリートがら		7.1	m3			
	モルタルがら・他		2.3	m3			
	ガラス・陶磁器くず		4.5	m3			
	廃石膏ボード		0.4	m3			
	廃プラスチック類		7.2	m3			
	木くず		0.1	m3			
	混合廃材		0.3	m3			
	石綿含有建材		0.2	m3			
	金属くず		0.4	t			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙-1	発生材積込・運搬	職員トイレ(改修A1)					
	コンクリートがら		3.5	m3			
	モルタルがら・他		1.3	m3			
	ガラス・陶磁器くず		0.1	m3			
	廃プラスチック類		0.1	m3			
	石綿含有建材		0.1	m3			
	金属くず		0.1	t			
	少々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙-2	発生材積込・運搬	児童・多目的トイレ(改修A2)					
	コンクリートがら		0.5	m3			
	モルタルがら・他		0.3	m3			
	廃石膏ボード		0.2	m3			
	廃プラスチック類		0.2	m3			
	金属くず		0.1	t			
	少々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙-3	発生材積込・運搬	児童トイレ(改修A3)					
	コンクリートがら		1.2	m3			
	モルタルがら・他		0.4	m3			
	廃プラスチック類		0.1	m3			
	石綿含有建材		0.1	m3			
	金属くず		0.1	t			
	少々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙-4	発生材積込・運搬	一般トイレ(改修B1)					
	コンクリートがら		1.5	m3			
	モルタルがら・他		0.3	m3			
	廃石膏ボード		0.2	m3			
	廃プラスチック類		6.1	m3			
	石綿含有建材		0.1	m3			
	金属くず		0.1	t			
	少々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙-5	発生材積込・運搬	外構					
	コンクリートがら		0.4	m3			
	少々計						





	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	電灯設備工事						
	ケーブル	EM-CE8mm-3C(天井内)	4.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(天井内)	51.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-3C(天井内)	21.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-3C(管内)	2.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-2C(天井内)	27.0	m			
	1種金属線ひ	メタルモール B型	1.0	m			
	新設分電盤	L-1A1	1.0	面			
	分電盤改修費	L-1A	1.0	式			
	照明器具	A1 LED埋込ベースライト 40形 W150	1.0	台			
	照明器具	A2 LED埋込ベースライト20形 W150	1.0	台			
	照明器具	B1 LED直付ベースライト 40形 W150	4.0	台			
	照明器具	C LEDダウンライト 100形	3.0	台			
	人感センサ	親機 8A	2.0	個			
	人感センサ	子機	2.0	個			
	人感センサ	子機(換気扇連動用)	2.0	個			
	切替スイッチ	2回路用	2.0	個			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	埋込コンセント	2P15A×1 (新金属P)	2.0	個			
	コーナーボックス	メタルモール用 B型	2.0	個			
	スイッチボックス	メタルモール用 B型 1個用	2.0	個			
	アウトレットボックス	中型四角44mm	1.0	個			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	コンセント設備工事						
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(天井内)	102.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(管内)	11.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(PF管内)	8.0	m			
	電線管	PF22mm(インペイ)	8.0	m			
	1種金属線ぴ	メタルモール A型	11.0	m			
	埋込コンセント	2P15A×1+ET×1 (新金属P)	3.0	個			
	埋込コンセント	2P15A(E付)×1+ET×1 (新金属P)	4.0	個			
	埋込スイッチボックス	1個用	3.0	個			
	コーナーボックス	メタルモール用 A型	6.0	個			
	スイッチボックス	メタルモール用 A型 1個用	4.0	個			
	アウトレットボックス	中型四角44mm	4.0	個			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	撤去工事						
	配管配線撤去工事		1.0	式			
	器具等撤去工事		1.0	式			
	発生材積込・運搬		1.0	式			
	小計						
	改め計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	電灯設備工事						
	ケーブル	EM-AE1.2mm-4C(天井内)	1.0	m			
	アウトレットボックス	中型四角44mm	1.0	個			
	器具取外し再取付工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	電灯設備工事						
	ケーブル	EM-CE8mm-3C(天井内)	4.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(天井内)	15.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-3C(天井内)	31.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-2C(天井内)	40.0	m			
	ケーブル	EM-AE1.2mm-4C(天井内)	1.0	m			
	新設分電盤	L-2A1	1.0	面			
	分電盤改修費	L-2A	1.0	式			
	照明器具	A1 LED埋込ベースライト 40形 W150	2.0	台			
	照明器具	B1 LED直付ベースライト 40形 W150	4.0	台			
	照明器具	C LEDダウンライト 100形	5.0	台			
	人感センサ	親機 8A	2.0	個			
	人感センサ	子機	4.0	個			
	人感センサ	子機(換気扇連動)	2.0	個			
	切替スイッチ	2回路用	2.0	個			
	埋込コンセント	2P15A×1 (新金属P)	2.0	個			
	埋込スイッチボックス	1個用	2.0	個			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	アウトレットボックス	中型四角44mm	2.0	個			
	器具取外し再取付工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	コンセント設備工事						
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(天井内)	33.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(管内)	15.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(PF管内)	9.0	m			
	電線管	PF22mm(インペイ)	9.0	m			
	1種金属線ぴ	メタルモール A型	15.0	m			
	埋込コンセント	2P15A×1+ET×1 (新金属P)	4.0	個			
	埋込コンセント	2P15A(E付)×1+ET×1 (新金属P)	6.0	個			
	埋込スイッチボックス	1個用	4.0	個			
	コーナーボックス	メタルモール用 A型	8.0	個			
	スイッチボックス	メタルモール用 A型 1個用	6.0	個			
	アウトレットボックス	中型四角44mm	4.0	個			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	撤去工事						
	配管配線撤去工事		1.0	式			
	器具等撤去工事		1.0	式			
	発生材積込・運搬		1.0	式			
	小計						
	改め計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	電灯設備工事						
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-3C(天井内)	38.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-3C(管内)	3.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-2C(天井内)	3.0	m			
	1種金属線ぴ	メタルモール B型	2.0	m			
	照明器具	B1 LED直付ベースライト 40形 W150	1.0	台			
	人感センサ	親機 8A(換気扇連動)	1.0	個			
	切替スイッチ	2回路用	1.0	個			
	埋込スイッチ	3W15A×2 (新金属P)	1.0	個			
	埋込コンセント	2P15A×1 (新金属P)	1.0	個			
	コーナーボックス	メタルモール用 B型	1.0	個			
	スイッチボックス	メタルモール用 B型 1個用	1.0	個			
	埋込スイッチボックス	1個用	2.0	個			
	ブランクプレート	角型・新金属製	1.0	個			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	コンセント設備工事						
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(天井内)	26.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(PF管内)	8.0	m			
	電線管	PF22mm(インペイ)	5.0	m			
	埋込コンセント	2P15A(E付)×1+ET×1 (新金属P)	2.0	個			
	埋込コンセント	2P15A(E付)×2+ET×1 (新金属P)	2.0	個			
	埋込スイッチボックス	1個用	4.0	個			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	撤去工事						
	配管配線撤去工事		1.0	式			
	器具等撤去工事		1.0	式			
	発生材積込・運搬		1.0	式			
	小計						
	改め計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	電灯設備工事						
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(天井内)	7.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-3C(天井内)	11.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-2C(天井内)	2.0	m			
	分電盤改修費	PL-1	1.0	式			
	照明器具	B2 LED直付ベースライト 20形 W150	1.0	台			
	照明器具	D LEDダウンライト 150形	1.0	台			
	人感センサ	親機 8A(換気扇連動)	1.0	個			
	埋込スイッチ	1P15A×1(新金属P)	1.0	個			
	切替スイッチ	2回路用	1.0	個			
	埋込コンセント	2P15A×1 (新金属P)	1.0	個			
	アウトレットボックス	中型四角44mm	2.0	個			
	埋込スイッチボックス	1個用	2.0	個			
	ブランクプレート	角型・新金属製	1.0	個			
	器具取外し再取付工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	コンセント設備工事						
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(天井内)	9.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(管内)	7.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(PF管内)	1.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-2C(天井内)	11.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-2C(PF管内)	1.0	m			
	電線管	PF22mm(インペイ)	1.0	m			
	1種金属線ぴ	メタルモール A型	4.0	m			
	1種金属線ぴ	メタルモール B型	2.0	m			
	埋込コンセント	2P15A×1 (新金属P)	2.0	個			
	埋込コンセント	2P15A×1+ET×1 (新金属P)	2.0	個			
	埋込コンセント	2P15A(E付)×1+ET×1 (新金属P)	1.0	個			
	埋込スイッチボックス	1個用	3.0	個			
	コーナーボックス	メタルモール用 A型	2.0	個			
	コーナーボックス	メタルモール用 B型	1.0	個			
	スイッチボックス	メタルモール用 A型 1個用	2.0	個			
	フランクプレート	角型・新金属製	1.0	個			



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	弱電設備工事						
	情報用アウトレット	LAN (樹脂P)	1.0	個			
	埋込スイッチボックス	1個用	1.0	個			
	ノズルプレート	角型・新金属製	1.0	個			
	器具取外し再取付工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	撤去工事						
	配管配線撤去工事		1.0	式			
	器具等撤去工事		1.0	式			
	発生材積込・運搬		1.0	式			
	小計						
	改め計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	コンセント設備工事						
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(天井内)	31.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(管内)	5.0	m			
	1種金属線ぴ	メタルモール A型	5.0	m			
	埋込コンセント	2P15A(E付)×1+ET×1 (新金属P)	1.0	個			
	コーナーボックス	メタルモール用 A型	1.0	個			
	スイッチボックス	メタルモール用 A型 1個用	1.0	個			
	小計						
	改め計						





	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(1)	管理特別教室棟	1階職員用トイレ					
1	換気設備		1.0	式			
2	衛生器具設備		1.0	式			
3	給水設備		1.0	式			
4	排水通気設備		1.0	式			
5	発生材 積込・運搬		1.0	式			
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	換気設備						
	FV-1 壁換気扇	250φ×500m <sup>3</sup> /h ステンレス製ウェザーカーバー	2.0	台			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	衛生器具設備						
	腰掛便器	C-2	4.0	組			
	小便器	U-1	4.0	組			
	洗面カウンター	ML-1	1.0	組			
	洗面カウンター	ML-2	1.0	組			
	多目的流し	SK-1	2.0	組			
	L型手すり	TR-1	2.0	組			
	小便器用手すり	TR-2	1.0	組			
	化粧鏡	M-2	3.0	枚			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	給水設備						
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	一般配管 VB 50A	6.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 50A	3.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 20A	9.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋外配管 VB 50A	1.0	m			
	給水・耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 HIVP 50A	4.0	m			
	給水・耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 HIVP 40A	2.0	m			
	給水・耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 HIVP 30A	2.0	m			
	給水・耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 HIVP 25A	7.0	m			
	給水・耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 HIVP 20A	17.0	m			
	弁類	GV 50	1.0	個			
	弁名札	樹脂製	1.0	個			
	保温工事		1.0	式			
	研り工事		1.0	式			
	スリーブ工事		1.0	式			
	配管接続費		1.0	式			
	土工事		1.0	式			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	排水通気設備						
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 100A	12.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 75A	11.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 65A	4.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 50A	6.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 40A	6.0	m			
	通気・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 65A	10.0	m			
	通気・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 50A	5.0	m			
	床上掃除口	COA 100A	3.0	個			
	通気金具	VC 65A	1.0	個			
	スリーブ工事		1.0	式			
	配管接続費		1.0	式			
	土工事		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	発生材 積込・運搬						
	積込・運搬	混合廃棄物	0.1	m3			
	積込・運搬	廃プラスチック	0.3	m3			
	積込・運搬	ガラスくず	0.01	m3			
	積込・運搬	陶磁器くず	1.6	m3			
	小計						
	改め計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	衛生器具設備						
	器具取外し再取付		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(3)	管理特別教室棟	2階児童トイレ					
1	換気設備		1.0	式			
2	衛生器具設備		1.0	式			
3	給水設備		1.0	式			
4	排水通気設備		1.0	式			
5	発生材 積込・運搬		1.0	式			
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	換気設備						
	FV-1 壁換気扇	250φ×500m <sup>3</sup> /h ステンレス製ウェザーカーバー	2.0	台			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	衛生器具設備						
	腰掛便器	C-1	6.0	組			
	小便器	U-1	4.0	組			
	洗面カウンター	ML-2	1.0	組			
	洗面カウンター	ML-3	1.0	組			
	多目的流し	SK-1	2.0	組			
	L型手すり	TR-1	2.0	組			
	小便器用手すり	TR-2	1.0	組			
	化粧鏡	M-2	4.0	枚			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	給水設備						
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 65A	5.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 50A	1.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 40A	1.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 32A	1.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 25A	12.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 20A	26.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋外配管 VB 65A	3.0	m			
	弁類	GV 65	1.0	個			
	弁名札	樹脂製	1.0	個			
	保温工事		1.0	式			
	配管架台		1.0	式			
	研り工事		1.0	式			
	配管接続費		1.0	式			
	あと施工アンカー		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	排水通気設備						
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	屋外配管 VP 100A	4.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	屋外配管 VP 75A	4.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	地中配管 VP 100A	4.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	地中配管 VP 75A	2.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 100A	12.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 75A	23.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 65A	4.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 50A	7.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 40A	4.0	m			
	通気・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 65A	5.0	m			
	通気・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 50A	8.0	m			
	床上掃除口	COA 100A	3.0	個			
	床上掃除口	COA 80A	3.0	個			
	プラスチック柵(鋳鉄製蓋)	100A-150φ 90L GL-501~800	1.0	組			
	プラスチック柵(鋳鉄製蓋)	100A-150φ 90Y GL-501~800	2.0	組			
	斫り工事		1.0	式			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	配管接続費		1.0	式			
	あと施工アンカー		1.0	式			
	土工事		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	発生材 積込・運搬						
	積込・運搬	混合廃棄物	0.1	m3			
	積込・運搬	廃プラスチック	5.0	m3			
	積込・運搬	ガラスくず	0.02	m3			
	積込・運搬	陶磁器くず	2.5	m3			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(4)	特別普通教室棟	1階多目的トイレ					
1	換気設備		1.0	式			
2	衛生器具設備		1.0	式			
3	給水設備		1.0	式			
4	排水通気設備		1.0	式			
5	発生材 積込・運搬		1.0	式			
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	換気設備						
	FV-2	200φ×200m <sup>3</sup> /h ステンレス製ウェザークーパー	1.0	台			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	衛生器具設備						
	多機能トイレパック	OP-1	1.0	組			
	化粧鏡	M-2	1.0	組			
	横水栓	F-1	6.0	組			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	給水設備						
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 25A	2.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 20A	4.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋外配管 VB 25A	3.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋外配管 VB 20A	2.0	m			
	保温工事		1.0	式			
	配管架台		1.0	式			
	研り工事		1.0	式			
	配管接続費		1.0	式			
	あと施工アンカー		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	排水通気設備						
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 75A	2.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 50A	4.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 40A	1.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	屋外配管 VP 75A	3.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	屋外配管 VP 50A	1.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	地中配管 VP 100A	6.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	地中配管 VP 75A	2.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	地中配管 VP 50A	1.0	m			
	プラスチック柵(樹脂製蓋)	100A-150 φ 90L 501-800	1.0	組			
	プラスチック柵(樹脂製蓋)	100A-150 φ 90Y 501-800	3.0	組			
	プラスチック柵(鋳鉄製蓋)	100A-150 φ 90L 501-800	1.0	組			
	プラスチック柵(鋳鉄製蓋)	100A-150 φ 90Y 501-800	1.0	組			
	斫り工事		1.0	式			
	配管接続費		1.0	式			
	土工事		1.0	式			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	発生材 積込・運搬						
	積込・運搬	混合廃棄物	0.01	m3			
	積込・運搬	ガラスくず	0.01	m3			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(5)	給食棟	一般トイレ					
1	空調設備		1.0	式			
2	換気設備		1.0	式			
3	衛生器具設備		1.0	式			
4	給水設備		1.0	式			
5	排水通気設備		1.0	式			
6	発生材 積込・運搬		1.0	式			
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	空調設備						
	機器取外し再取付		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	換気設備						
	FV-3 パイプファン	100φ×50m <sup>3</sup> /h SUS7-ド	1.0	組			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	衛生器具設備						
	腰掛便器	C-3	1.0	組			
	洗面器	L-1	1.0	組			
	手洗器	T-1	1.0	組			
	L型手すり	TR-1	1.0	組			
	化粧鏡	M-1	1.0	組			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	給水設備						
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 20A	1.0	m			
	給水・耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 HIVP 20A	6.0	m			
	保温工事		1.0	式			
	研り工事		1.0	式			
	配管接続費		1.0	式			
	土工事		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	排水通気設備						
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 100A	3.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 75A	1.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 40A	3.0	m			
	研り工事		1.0	式			
	配管接続費		1.0	式			
	土工事		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	発生材 積込・運搬						
	積込・運搬	混合廃棄物	0.01	m3			
	積込・運搬	廃プラスチック	0.04	m3			
	積込・運搬	ガラスくず	0.01	m3			
	積込・運搬	陶磁器くず	0.2	m3			
	小計						
	改め計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	衛生器具設備						
	洗濯機用水栓	F-2	1.0	組			
	洗濯機パン		1.0	組			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	給水設備						
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 20A	1.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	屋外配管 VB 20A	1.0	m			
	給水・耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	地中配管 HIVP 20A	2.0	m			
	保温工事		1.0	式			
	研り工事		1.0	式			
	配管接続費		1.0	式			
	地中埋設標		1.0	式			
	土工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	排水通気設備						
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	一般配管 VP 50A	1.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	屋外配管 VP 50A	1.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	地中配管 VP 100A	1.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	地中配管 VP 75A	2.0	m			
	プラスチック柵(樹脂製蓋)	100A-150φ 90Y 301-500	1.0	組			
	研り工事		1.0	式			
	配管接続費		1.0	式			
	土工事		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	発生材 積込・運搬						
	積込・運搬	廃プラスチック	0.01	m3			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(7)	屋内運動場	多目的トイレ					
1	衛生器具設備		1.0	式			
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	衛生器具設備						
	ベビーチェア	BC-1	1.0	組			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(8)	発生材処分	機械設備					
	ガラス・陶磁器くず		4.5	m3			
	廃プラスチック類		0.8	m3			
	混合廃材		0.2	m3			
	残土		0.7	m3			
	小計						
	改め計						

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費	積上計上					
工事用ゲート	キャスターゲート W6000xH1800	1.0	箇所			
仮囲い	成形鋼板 H2000	45.4	m			
学校用仮設トイレ		1.0	式			別紙-1
荷下ろしステージ		1.0	式			別紙-2
揚重機械費	16t オペレーター付	10.0	日			
交通誘導員		5.0	日			
学校用仮設トイレ電気設備工事		1.0	式			別紙-3
学校用仮設トイレ電気設備工事	撤去工事	1.0	式			別紙-4
小計						
改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙-1	学校用仮設トイレ						
	仮設トイレ上屋	単管小屋	35.6	m2			
	メッシュシート張り		70.4	m2			
	仮設トイレ	水洗式 配管共	6.0	棟			
	仮設手洗い流し	SUS L1200	2.0	台			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙-2	荷下ろしステージ						
	棚足場	H4000 昇降階段共 4ヶ月	29.2	m2			
	棚足場	H7700 昇降階段共 4ヶ月	90.0	m2			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙-3	学校用仮設トイレ電気設備工事						
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(天井内)	8.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(PF管内)	13.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-3C(露出)	9.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-3C(管内)	5.0	m			
	電線管	PF22mm(インペイ)	13.0	m			
	1種金属線ぴ	メタルモールA型	5.0	m			
	照明器具	B1 LED直付ベースライト 40形 W150	4.0	台			
	人感センサ	親機 8A	2.0	個			
	切替スイッチ	1回路用	2.0	個			
	スイッチボックス	メタルモール用 A型 1個用	2.0	個			
	アウトレットボックス	中型四角44mm	2.0	個			
	ブレーカー配線接続費		1.0	式			
	小々計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙-4	学校用仮設トイレ電気設備工事	撤去工事					
	配管配線撤去工事		1.0	式			
	器具等撤去工事		1.0	式			
	発生材積込運搬費		1.0	式			
	小々計						

# 可児市立兼山小学校トイレ大規模改造工事

## 図 面 目 録

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A 0 1	改修工事特記仕様書-1	E 0 1	電気設備工事特記仕様書	M 0 1	機械設備工事特記仕様書-1
A 0 2	改修工事特記仕様書-2	E 0 2	分電盤単線結線図	M 0 2	機械設備工事特記仕様書-2
A 0 3	改修工事特記仕様書-3	E 0 3	凡例・照明器具参考姿図	M 0 3	機械設備工事特記仕様書-3
A 0 4	改修工事特記仕様書-4	E 0 4	改修前 1階電気設備図	M 0 4	改修後 換気設備機器表 改修後 衛生設備器具表
A 0 5	改修工事特記仕様書-5	E 0 5	改修後 1階電気設備図	M 0 5	改修前・後 衛生設備系統図
A 0 6	改修工事特記仕様書-6	E 0 6	改修前 2階電気設備図	M 0 6	改修前 1階衛生設備図
A 0 7	改修工事特記仕様書-7	E 0 7	改修後 2階電気設備図	M 0 7	改修後 1階衛生設備図
A 0 8	特記事項・工事区分表	E 0 8	改修前・後 管理・特別教室棟 1階トイレ電気設備詳細図 1	M 0 8	改修前 2階衛生設備図
A 0 9	付近見取図・配置図兼仮設計画図	E 0 9	改修前・後 管理・特別教室棟 1階トイレ電気設備詳細図 2	M 0 9	改修後 2階衛生設備図
A 1 0	内部仕上表-1	E 1 0	改修前・後 管理・特別教室棟 2階トイレ電気設備詳細図	M 1 0	改修前・後 R階衛生設備図
A 1 1	改修前 1階平面図・仮設計画図	E 1 1	改修前・後 給食棟 1階西トイレ電気設備詳細図	M 1 1	改修前・後 管理・特別教室棟 1階職員トイレ衛生詳細図
A 1 2	改修前 2階平面図・仮設計画図			M 1 2	改修前 管理・特別教室棟 1階児童トイレ衛生詳細図
A 1 3	改修後 1階平面図・建具配置図			M 1 3	改修後 管理・特別教室棟 1階児童トイレ衛生詳細図
A 1 4	改修後 2階平面図・建具配置図			M 1 4	改修前・後 管理・特別教室棟 2階児童トイレ衛生詳細図
A 1 5	改修前 平面詳細図・展開図 管理特別棟 1階 職員男女トイレ			M 1 5	改修前・後 給食棟・屋内運動場 1階衛生詳細図
A 1 6	改修後 平面詳細図・展開図 管理特別棟 1階 職員男女トイレ				
A 1 7	改修前 平面詳細図・展開図 管理特別棟 1階 児童男女トイレ				
A 1 8	改修後 平面詳細図・展開図 管理特別棟 1階 児童男女トイレ				
A 1 9	改修前 平面詳細図・展開図 管理特別棟 2階 児童男女トイレ				
A 2 0	改修後 平面詳細図・展開図 管理特別棟 2階 児童男女トイレ				
A 2 1	改修前 平面詳細図・展開図 給食棟 トイレ・休憩室				
A 2 2	改修後 平面詳細図・展開図 給食棟 トイレ・休憩室				
A 2 3	建具表-1				
A 2 4	各部詳細図-1				
A 2 5	各部詳細図-2				
A 2 6	各部詳細図-3				
A 2 7	各部詳細図-4				
A 2 8	各部詳細図-5				
A 2 9	各部詳細図-6				



① 共通事項	項目	特記事項																							
	③ 経微な変更等	現場の納まり、取り合い等の関係による協議の中で、形状寸法の経微な変更は、監督員の指示による。なお、この場合請負金額の変更は行わない。																							
	③ 事故防止策	安全施設の使用・設置 安全施設の使用・設置は関係法令等を順守するほか次のとおり講じなければならない。 1) 原則、昇降用梯子で作業しないこと。ただし、やむを得ず作業する場合、本作業用、補助用の2丁掛としなければならない。 2) 墜落制止用器具は一連の作業において観綱の掛け替え等が生じる場合、本作業用、補助用の2丁掛としなければならない。 定期安全訓練・研修等 受注者は、工事着手後、作業員全員の参加により月当たり、半日以上時間を割って、次の各号から実施する内容を選択し、定期的に安全に関する研修・訓練等を実施しなければならない。 さらに、工事内容や現場状況に応じて、過去の事故事例集（下記URL参照）の活用により、工事現場で予想される事故防止対策を必ず実施すること。 1) 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育 2) 当該工事内容等の周知徹底 3) 工事安全に関する法令、通達、指針等の周知徹底 4) 当該工事における災害対策訓練 5) その他、安全・訓練等として必要な事項 https://www.pref.gifu.lg.jp/shakai-kiban/kendo/gijutsu-kanri/11656/jikojireishuu.html																							
	③ 工事着手前協議	受注者は工事請負契約後直ちに設計図書を照査し、受注者及び発注者側が現場状況を確認の上、設計と現場との整合性及び問題点を整理した後に、工事前協議を発注者側の発議により開催するものとする。なお、立会者は発注者側が指定する。																							
	④ 県産材の利用	「公共施設県産材利用推進方針」（岐阜県）に基づいて県産材利用促進に取り組む。																							
② 仮設工事	項目	特記事項																							
	① 騒音・粉じん等対策	(2.1.3) ・防音パネル ・防音シート 防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲 ・足場全面 ①粉じん飛散防止対策（仮設間仕切り）																							
	② 足場等	(2.2.1)(表2.2.2) 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同おける2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。 外部足場 ○設置する(設置範囲) ○工事に必要な範囲( ) ○設置しない 防護シート ○設置する(設置範囲) ○工事に必要な範囲( ) ○設置しない 内部足場 ○設置する(※脚立、足場板等) ・ ) ・設置しない  材料、撤去材等の運搬方法 種別(・A種 ・B種 ・C種 ○D種 ○E種) C種: 利用可能なエレベーター( ) D種: 利用可能な階段(北倉屋内階段)																							
	③ 既存部分の養生	(2.3.1) 既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。																							
	④ 仮設間仕切	(2.3.2)(表2.3.1) 1) 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所 ・ 図示 ・ 2) 仮設間仕切りの種別と材質等 <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>仕上げ(厚さmm)</th> <th>塗装</th> <th>充填</th> </tr> <tr> <td>・A種</td> <td>・せつこうボード(9.5mm) 種類( ) 支柱 ・木材 ・軽量鉄骨材</td> <td>・片面 ・なし</td> <td>グラスウール 厚さ( )mm</td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td>・合板(9.0mm) 材種( ) 支柱 ・木材 ・軽量鉄骨材</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○C種</td> <td>防災シート</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 3) 仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等 <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>仕上げ</th> <th>塗装</th> <th>設置箇所</th> </tr> <tr> <td>※木製</td> <td>※合板張り程度</td> <td>・なし ・片面</td> <td>・ 図示</td> </tr> </table>	種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填	・A種	・せつこうボード(9.5mm) 種類( ) 支柱 ・木材 ・軽量鉄骨材	・片面 ・なし	グラスウール 厚さ( )mm	・B種	・合板(9.0mm) 材種( ) 支柱 ・木材 ・軽量鉄骨材			○C種	防災シート			材質	仕上げ	塗装	設置箇所	※木製	※合板張り程度	・なし ・片面
種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填																						
・A種	・せつこうボード(9.5mm) 種類( ) 支柱 ・木材 ・軽量鉄骨材	・片面 ・なし	グラスウール 厚さ( )mm																						
・B種	・合板(9.0mm) 材種( ) 支柱 ・木材 ・軽量鉄骨材																								
○C種	防災シート																								
材質	仕上げ	塗装	設置箇所																						
※木製	※合板張り程度	・なし ・片面	・ 図示																						
5 監督職員事務所	(2.4.1) ・構内既存建物の一部を使用する。 ・構内に新設する。 規模(m2程度) ・10 ・20 ※35 ・65 ・100																								

② 仮設工事	項目	特記事項																																																																																																			
	⑥ 工事用水	構内既存の施設 ※利用できる(※有償 ・無償) ・利用できない																																																																																																			
	⑦ 工事電力	構内既存の施設 ※利用できる(※有償 ・無償) ・利用できない																																																																																																			
	8 確認済の表示	建築基準法第89条に基づく「確認があった旨」の表示をする。 ※適用する ・適用しない																																																																																																			
	9 イメージアップ	工事概要及びイメージバースを印刷した看板を 箇所設置する。 なお、内容、設置位置については監督員と協議する。																																																																																																			
③ 防水改修工事	項目	特記事項																																																																																																			
	① 一般事項	防水工事は、専門業者の責任施工とする。																																																																																																			
	2 既存防水の処理	既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去 (3.2.3~6) ・行う(・M4AS ・M4ASI ・M4C ・M4D1 ・L4X)																																																																																																			
	3 既存下地の処理	既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ※図示 (3.2.6)																																																																																																			
	4 アスファルト防水	屋根保護防水 (3.1.4)(3.3.2~5) 防水層の種類 (表3.1.1)(表3.3.1~6) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材[G]</th> <th>絶縁用シート</th> <th>立上り部の保護</th> </tr> <tr> <td>・P2A</td> <td>・A-1 ※A-2 ・A-3</td> <td>図示</td> <td></td> <td>※ポリエチレンフィルム 厚さ ・0.15mm以上</td> <td>※乾式 保護材 ・コンクリート 押え ・れんが押え</td> </tr> <tr> <td>・PIB</td> <td>・B-1 ※B-2 ・B-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・P2AI</td> <td>・A1-1 ・A1-2 ・A1-3</td> <td></td> <td>(種類) JIS A 952Iに基づく押出法 ポリスチレンフォーム断熱材 3種bA(スキム層付き)</td> <td>※フラットヤーン クロス 70g/m2程度</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・PIB1 ・TIB1</td> <td>・B1-1 ※B1-2 ・B1-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ・乾式保護材 ・窯業系パネルI類(寒冷地仕様) 厚さ( )mm 幅( )mm ・窯業系パネルII類(一般地仕様) 厚さ( )mm 幅( )mm 窯業系パネル: 無石棉の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの ・金属複合板 厚さ( )mm 幅( )mm 金属複合板: 金属板と樹脂を積層一体化したもの  屋根露出防水 (3.1.4)(3.3.2~5) 防水層の種類 (表3.1.1)(表3.3.7~9) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材[G]</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用[S]</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">・M4C</td> <td rowspan="3">C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4</td> <td rowspan="3">図示</td> <td rowspan="3"></td> <td>種類</td> <td>※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有</td> <td>※無</td> </tr> <tr> <td>使用量</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>備考</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・M3D</td> <td>D-1</td> <td></td> <td></td> <td>アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による</td> <td>※有</td> <td>※無</td> </tr> <tr> <td>・POD</td> <td>※D-2 ・D-3 ・D-4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※有</td> <td>※無</td> </tr> <tr> <td>・POD1</td> <td>DI-1</td> <td></td> <td></td> <td>改修標準仕様書3.3.2(9)</td> <td>※有</td> <td>※無</td> </tr> <tr> <td>・M3D1</td> <td>※DI-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※有</td> <td>※無</td> </tr> <tr> <td>・M4D1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※有</td> <td>※無</td> </tr> </table> 屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※アスファルトルーフィング類の製造所の指定 設置数量 ・ 個  屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレンドリ回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※図示  [S]: 高日射反射率防水を示し、近赤外線域における反射率が50.0%以上であること。日射反射率の求め方はJIS K 5602Iに準じる。[G]  屋内防水 (3.1.4)(3.3.2~5)(表3.1.1)(表3.3.10) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>保護層</th> </tr> <tr> <td>・PIE</td> <td>E-1</td> <td></td> <td>・設ける</td> </tr> <tr> <td>・P2E</td> <td>E-2</td> <td></td> <td>・設けない</td> </tr> </table> ・E-1の工程3を行う部位(※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位) ・ ) 押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度 屋根排水溝 ・ 図示 ・	工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	絶縁用シート	立上り部の保護	・P2A	・A-1 ※A-2 ・A-3	図示		※ポリエチレンフィルム 厚さ ・0.15mm以上	※乾式 保護材 ・コンクリート 押え ・れんが押え	・PIB	・B-1 ※B-2 ・B-3					・P2AI	・A1-1 ・A1-2 ・A1-3		(種類) JIS A 952Iに基づく押出法 ポリスチレンフォーム断熱材 3種bA(スキム層付き)	※フラットヤーン クロス 70g/m2程度		・PIB1 ・TIB1	・B1-1 ※B1-2 ・B1-3					工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考	・M4C	C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		種類	※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有	※無	使用量				備考				・M3D	D-1			アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有	※無	・POD	※D-2 ・D-3 ・D-4				※有	※無	・POD1	DI-1			改修標準仕様書3.3.2(9)	※有	※無	・M3D1	※DI-2				※有	※無	・M4D1					※有	※無	工法	種別	施工箇所	保護層	・PIE	E-1		・設ける	・P2E	E-2	
工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	絶縁用シート	立上り部の保護																																																																																																
・P2A	・A-1 ※A-2 ・A-3	図示		※ポリエチレンフィルム 厚さ ・0.15mm以上	※乾式 保護材 ・コンクリート 押え ・れんが押え																																																																																																
・PIB	・B-1 ※B-2 ・B-3																																																																																																				
・P2AI	・A1-1 ・A1-2 ・A1-3		(種類) JIS A 952Iに基づく押出法 ポリスチレンフォーム断熱材 3種bA(スキム層付き)	※フラットヤーン クロス 70g/m2程度																																																																																																	
・PIB1 ・TIB1	・B1-1 ※B1-2 ・B1-3																																																																																																				
工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考																																																																																															
・M4C	C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4	図示		種類	※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有	※無																																																																																														
				使用量																																																																																																	
				備考																																																																																																	
・M3D	D-1			アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※有	※無																																																																																															
・POD	※D-2 ・D-3 ・D-4				※有	※無																																																																																															
・POD1	DI-1			改修標準仕様書3.3.2(9)	※有	※無																																																																																															
・M3D1	※DI-2				※有	※無																																																																																															
・M4D1					※有	※無																																																																																															
工法	種別	施工箇所	保護層																																																																																																		
・PIE	E-1		・設ける																																																																																																		
・P2E	E-2		・設けない																																																																																																		

3 防水改修工事	項目	特記事項																																																																																																																																													
	5 改質アスファルト防水	(3.1.4)(3.4.2~4) 防水層の種類 (表3.1.1)(表3.4.1~3) <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法</th> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th rowspan="2">断熱材[G]</th> <th colspan="2">仕上塗料</th> <th rowspan="2">高日射反射率防水の適用[S]</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>種類</th> <th>使用量</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">・M4AS</td> <td rowspan="3">AS-T1 AS-T2 AS-J2</td> <td rowspan="3">図示</td> <td rowspan="3"></td> <td>改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>※有</td> <td>※無</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・M3AS</td> <td rowspan="3">AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> <td>改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>※有</td> <td>※無</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・POAS</td> <td rowspan="3">AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3</td> <td rowspan="3"></td> <td rowspan="3"></td> <td>改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>※有</td> <td>※無</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・M3ASI ・M4ASI ・POASI</td> <td rowspan="3">AS1-T1 AS1-J1</td> <td rowspan="3">改修標準仕様書3.4.2(3)(9)(種類)</td> <td rowspan="3">(厚さmm) ・25 ・50</td> <td>改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>改質アスファルトシートの製造所の仕様による</td> <td>※有</td> <td>※無</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類、設置数量 種類 ※改質アスファルトシートの製造所の指定 設置数量 ※改質アスファルトシートの製造所の指定 屋根露出防水絶縁断熱工法の防湿用シート(・設置する ・設置しない) 押え金物の材質、形状及び寸法 ※アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm)程度  [S]: 高日射反射率防水を示し、近赤外線域における反射率が50.0%以上であること。日射反射率の求め方はJIS K 5602Iに準じる。[G]  (3.1.4)(3.5.2~4) 防水層の種類 (表3.1.1)(表3.5.1~2) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>断熱材[G]</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用[S]</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">・POS ・S4S</td> <td rowspan="3">S-F1 S-F2 S-M1 S-M2 S-M3</td> <td rowspan="3">図示</td> <td rowspan="3"></td> <td>ルーフィングシート</td> <td>ルーフィングシート</td> <td>※有</td> <td>※無</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・S3S</td> <td>S-F1 S-F2</td> <td></td> <td></td> <td>ルーフィングシート</td> <td>ルーフィングシート</td> <td>※有</td> <td>※無</td> </tr> <tr> <td>・M4S</td> <td>S-M1 S-M2 S-M3</td> <td></td> <td></td> <td>ルーフィングシート</td> <td>ルーフィングシート</td> <td>※有</td> <td>※無</td> </tr> <tr> <td>・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1</td> <td>SI-F1 SI-F2</td> <td>改修標準仕様書3.5.2(3)(1)(a)(種類)</td> <td>(厚さmm) ・25 ・50</td> <td>ルーフィングシート</td> <td>ルーフィングシート</td> <td>※有</td> <td>※無</td> </tr> <tr> <td></td> <td>SI-M1 SI-M2</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 分 類 ※非歩行 ・ 軽歩行 [S]: 高日射反射率防水を示し、近赤外線域における反射率が50.0%以上であること。日射反射率の求め方はJIS K 5602Iに準じる。[G]  建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する。 機械的固定方法に使用するビンの長さについては、監督職員立会いのもとビンの引き抜き試験(1箇所/200m)を行い、協議の上決定する。  ・S-M2の場合で立上りが接着工法の場合 立上り面のシート厚さ(※1.5mm) ・ ) ・S1-M1及びS1-M2の場合における防湿用フィルム ・設置する ・設置しない  屋内防水 防水層の種類 (表3.1.1)(表3.5.1~2) <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">保護層</th> </tr> <tr> <th>平場のモルタル塗り</th> <th>立上り部の</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・S-C1</td> <td rowspan="2">図示</td> <td>塗り厚さ</td> <td>保護モルタル厚</td> </tr> <tr> <td>・床塗り工法 ・下地モルタル塗り</td> <td>※7mm以下</td> </tr> </table> 床塗りの場合の床の目地 目地割り(※2m程度 最大目地間隔3m程度) ・ ) 目地の種類(※押し目地) ・ )  絶縁用シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート 固定金具の材質及び寸法形状 ※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板  脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様 ・ 個  接着工法の目地処理 プレキャストコンクリート下地(・ ) ・行う(・図示 ・ ) ・行わない	工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料		高日射反射率防水の適用[S]	備考	種類	使用量	・M4AS	AS-T1 AS-T2 AS-J2	図示		改質アスファルトシートの製造所の仕様による	改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有	※無									・M3AS	AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3			改質アスファルトシートの製造所の仕様による	改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有	※無									・POAS	AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3			改質アスファルトシートの製造所の仕様による	改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有	※無									・M3ASI ・M4ASI ・POASI	AS1-T1 AS1-J1	改修標準仕様書3.4.2(3)(9)(種類)	(厚さmm) ・25 ・50	改質アスファルトシートの製造所の仕様による	改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有	※無									工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考	・POS ・S4S	S-F1 S-F2 S-M1 S-M2 S-M3	図示		ルーフィングシート	ルーフィングシート	※有	※無									・S3S	S-F1 S-F2			ルーフィングシート	ルーフィングシート	※有	※無	・M4S	S-M1 S-M2 S-M3			ルーフィングシート	ルーフィングシート	※有	※無	・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	SI-F1 SI-F2	改修標準仕様書3.5.2(3)(1)(a)(種類)	(厚さmm) ・25 ・50	ルーフィングシート	ルーフィングシート	※有	※無		SI-M1 SI-M2							種別	施工箇所	保護層		平場のモルタル塗り	立上り部の	・S-C1	図示	塗り厚さ	保護モルタル厚	・床塗り工法 ・下地モルタル塗り	※7mm以下
	工法	種別					施工箇所	断熱材[G]			仕上塗料						高日射反射率防水の適用[S]	備考																																																																																																																													
			種類	使用量																																																																																																																																											
	・M4AS	AS-T1 AS-T2 AS-J2	図示		改質アスファルトシートの製造所の仕様による	改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有	※無																																																																																																																																							
・M3AS	AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3			改質アスファルトシートの製造所の仕様による	改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有	※無																																																																																																																																								
・POAS	AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3			改質アスファルトシートの製造所の仕様による	改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有	※無																																																																																																																																								
・M3ASI ・M4ASI ・POASI	AS1-T1 AS1-J1	改修標準仕様書3.4.2(3)(9)(種類)	(厚さmm) ・25 ・50	改質アスファルトシートの製造所の仕様による	改質アスファルトシートの製造所の仕様による	※有	※無																																																																																																																																								
工法	種別	施工箇所	断熱材[G]	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考																																																																																																																																									
・POS ・S4S	S-F1 S-F2 S-M1 S-M2 S-M3	図示		ルーフィングシート	ルーフィングシート	※有	※無																																																																																																																																								
・S3S	S-F1 S-F2			ルーフィングシート	ルーフィングシート	※有	※無																																																																																																																																								
・M4S	S-M1 S-M2 S-M3			ルーフィングシート	ルーフィングシート	※有	※無																																																																																																																																								
・POS1 ・S3S1 ・S4S1 ・M4S1	SI-F1 SI-F2	改修標準仕様書3.5.2(3)(1)(a)(種類)	(厚さmm) ・25 ・50	ルーフィングシート	ルーフィングシート	※有	※無																																																																																																																																								
	SI-M1 SI-M2																																																																																																																																														
種別	施工箇所	保護層																																																																																																																																													
		平場のモルタル塗り	立上り部の																																																																																																																																												
・S-C1	図示	塗り厚さ	保護モルタル厚																																																																																																																																												
		・床塗り工法 ・下地モルタル塗り	※7mm以下																																																																																																																																												

③ 防水改修工事	項目	特記事項																																																																								
	7 塗膜防水	入隅部の増張り プレキャストコンクリート部材(種別S-F1、S1-F1の場合) ・行う(・図示 ・ ) ・行わない 機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法 (3.1.4)(3.6.2~4) (表3.1.1)(表3.6.1) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>仕上塗料</th> <th>高日射反射率防水の適用[S]</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">・POX</td> <td rowspan="2">※X-1 ・X-2</td> <td rowspan="2">図示</td> <td>製造所</td> <td>製造所</td> <td>※有</td> <td>※無</td> </tr> <tr> <td>製造所の仕様による</td> <td>製造所の仕様による</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・L4X</td> <td>・X-1 ※X-2</td> <td></td> <td>製造所</td> <td>製造所</td> <td>※有</td> <td>※無</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ウレタンゴム系塗膜防水X-1(絶縁工法)の脱気装置の種類及び設置数量 種類 ※主材料の製造所の仕様 設置数量 ※主材料の製造所の仕様 ・ 個 [S]: 高日射反射率防水を示し、近赤外線域における反射率が50.0%以上であること。日射反射率の求め方はJIS K 5602Iに準じる。[G]  (表3.1.1)(表3.6.2) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>各工程数及び各工程の使用量</th> <th>保護層</th> </tr> <tr> <td>・PIY</td> <td>※Y-2</td> <td></td> <td>※主材料の製造所の仕様による</td> <td>・設ける ・設けない</td> </tr> <tr> <td>・P2Y</td> <td>※Y-2</td> <td></td> <td>※主材料の製造所の仕様による</td> <td>・設ける ・設けない</td> </tr> </table> ⑧シーリング シーリング改修工法の種類 (3.1.4)(3.7.2~8) ・シーリング充填工法 ○シーリング再充填工法 ・拡幅シーリング再充填工法 ・ブリッジ工法 ・ボンドブレイカー張り ・適用する ・適用しない ・エッジング材張り ・適用する ・適用しない シーリング材の種類、施工箇所 下表以外は、改修標準仕様書 表3.7.1Iによる。(表3.7.1) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>シーリング材の種類(記号)</th> </tr> <tr> <td>設備機器壁取合</td> <td>・SR-1</td> </tr> </table> シーリング材の目地寸法 ※改修標準仕様書3.7.3(1)(7)~(9)による ・ ) シーリング材の接着性試験 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験  9 とい といその他の材質 (3.8.2、3) ・配管用銅管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・ルーフトレンドレン ・ ルーフトレンドレンの材質その他 (表3.8.1) <table border="1"> <tr> <th>種 別</th> <th>材 種</th> <th>張掛け幅</th> </tr> <tr> <td>・ろく屋根用(・縦型 ・横型)</td> <td></td> <td>・100mm以上 ・50mm以上</td> </tr> <tr> <td>・バルコニー用</td> <td></td> <td>・100mm以上 ・50mm以上</td> </tr> <tr> <td>・バルコニー中継用</td> <td></td> <td>・100mm以上 ・50mm以上</td> </tr> </table> とい受金物及び足金物の材質、形状及び取付け間隔 ※標準仕様書 表3.8.2により溶融亜鉛メッキを行ったもの ・ ) 多雪地域の軒とい取付間隔 ・適用する ロックウール保温箔及びビーズ法ポリエチレンフォーム保温箔のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・ ) 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※図示 ・ ) 銅管製といの防露巻き ※改修標準仕様書 表3.8.4による ・ )  (表3.9.1)(3.9.2、3) 10 アルミニウム製笠木 種類 ・オープン形式(・押出250形 ・押出300形 ・押出350形) ・押出175形 ・板材折曲げ形(・オープン形式 ・シール形式) 本体幅( )mm 板厚(※2.0mm ・ mm) 表面処理 種別 ・AB-1種 ※BB-1種 ・BB-2種 着色 ・スタンカラー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ )  既存笠木等の撤去 ・行う(範囲) ・ 図示 ・ ) ・行わない 下地補修の工法 ※図示 ・ ) 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※図示 ・ ) 笠木の固定金具の工法等 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法 [13.2.2、3][表13.2.1~3] <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>板及びコイルの種類</th> <th>塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>屋根葺形式</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※JIS G 3322の屋根用コイル</td> <td></td> <td></td> <td>・心木なし瓦葺葺 ・立平葺 ・蟻掛葺 ・横葺</td> </tr> </table> 下葺材料 ・アスファルトルーフィング 940 ・改質アスファルトルーフィング下葺材 ・一般タイプ ・複層材タイプ ・粘着層付タイプ) 工法 建築基準法に基づき定まる(・1 ・1.15 ・1.3)の風圧力に対応した工法 雷止め ・設置する(施工箇所) ・ 図示 ・ )  工事名 可児市立兼山小学校トイレ大規模改修工事 種 別 改修工事特記仕様書-2 図面番号 A02 / 29 縮 尺 --- 作成年月 令和 7 年 10 月 設計者 株式会社 廣建築設備設計 氏名印 一級建築士 第311227号 野内雅仁	工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考	・POX	※X-1 ・X-2	図示	製造所	製造所	※有	※無	製造所の仕様による	製造所の仕様による			・L4X	・X-1 ※X-2		製造所	製造所	※有	※無								工法	種別	施工箇所	各工程数及び各工程の使用量	保護層	・PIY	※Y-2		※主材料の製造所の仕様による	・設ける ・設けない	・P2Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様による	・設ける ・設けない	施工箇所	シーリング材の種類(記号)	設備機器壁取合	・SR-1	種 別	材 種	張掛け幅	・ろく屋根用(・縦型 ・横型)		・100mm以上 ・50mm以上	・バルコニー用		・100mm以上 ・50mm以上	・バルコニー中継用		・100mm以上 ・50mm以上	施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式		※JIS G 3322の屋根用コイル			・心木なし瓦葺葺 ・立平葺 ・蟻掛葺 ・横葺
	工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率防水の適用[S]	備考																																																																				
	・POX	※X-1 ・X-2	図示	製造所	製造所	※有	※無																																																																			
				製造所の仕様による	製造所の仕様による																																																																					
・L4X	・X-1 ※X-2		製造所	製造所	※有	※無																																																																				
工法	種別	施工箇所	各工程数及び各工程の使用量	保護層																																																																						
・PIY	※Y-2		※主材料の製造所の仕様による	・設ける ・設けない																																																																						
・P2Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様による	・設ける ・設けない																																																																						
施工箇所	シーリング材の種類(記号)																																																																									
設備機器壁取合	・SR-1																																																																									
種 別	材 種	張掛け幅																																																																								
・ろく屋根用(・縦型 ・横型)		・100mm以上 ・50mm以上																																																																								
・バルコニー用		・100mm以上 ・50mm以上																																																																								
・バルコニー中継用		・100mm以上 ・50mm以上																																																																								
施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式																																																																						
	※JIS G 3322の屋根用コイル			・心木なし瓦葺葺 ・立平葺 ・蟻掛葺 ・横葺																																																																						

章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項																																																																																																								
3 防水改修工事	<p>12 折板葺</p> <p>[13.2.2][13.3.2、3][表13.2.1]</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形式</th> <th>山高、山ピッチによる区分</th> <th>耐力による区分</th> <th>材料による区分</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>軒先面戸板</th> <th>耐火性能</th> </tr> <tr> <td></td> <td>重ね形 はげ締め形 かん合形</td> <td>山高 山ピッチ</td> <td>( )種</td> <td>※鋼板製 アルミニウム合金板製</td> <td></td> <td>・有り ・無し</td> <td>・30分 ・無し</td> </tr> </table> <p>材料 板及びコイルの種類 ( ) 塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号 ( ) タイトフレームにJIS G 3302以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋内で使用する場合の表面処理 標準仕様書表14.2.2による ・ E種 ・ F種 断熱材 ・有り(種別: ) 厚さ(mm): 防火性能: (時間) 無し 工法 建築基準法に基づき定まる (・1 ・1.15 ・1.3) の風圧力に対応した工法 折板のけらば納め ※けらば包みによる方法</p>	施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能		重ね形 はげ締め形 かん合形	山高 山ピッチ	( )種	※鋼板製 アルミニウム合金板製		・有り ・無し	・30分 ・無し	4-2 3 浮き部改修工法	<p>(4.1.4)(4.2.2)(4.4.4)(4.4.4、10~15)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法の種類</th> <th colspan="2">アンカーピンの本数(本/m<sup>2</sup>)</th> <th colspan="2">注入口の箇所数(箇所/m<sup>2</sup>)</th> <th rowspan="2">注入量(mL/箇所)</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※16</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>・充填工法</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・モルタル塗替え工法</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>狭幅部のアンカーピン及び注入口は幅中央に各々5本/mとする</p>	工法の種類	アンカーピンの本数(本/m <sup>2</sup> )		注入口の箇所数(箇所/m <sup>2</sup> )		注入量(mL/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25	・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25	・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50	※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16	—	—	※25	・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25	・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50	・充填工法	—	—	—	—	—	・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—	4-3 外壁改修(タイル張り仕上げ外壁改修)	<p>※アンカーピンニング試験方法 引張試験: 1箇所/浮き部100m<sup>2</sup>かつ4面行うこと 引張強度: 1.2N/mm<sup>2</sup>以上とする</p> <p>アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm程度</p> <p>充填工法 (4.4.8) ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>モルタル塗替え工法 (4.4.9)(表4.4.1、2) 現場調査材料 ・既調査合材料 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示</p>	5 外壁改修(タイル張り仕上げ外壁改修)	<p>※アンカーピンニング試験方法 引張試験: 1箇所/浮き部100m<sup>2</sup>かつ4面行うこと 引張強度: 1.2N/mm<sup>2</sup>以上とする</p> <p>アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm程度</p> <p>充填工法 (4.4.8) ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>モルタル塗替え工法 (4.4.9)(表4.4.1、2) 現場調査材料 ・既調査合材料 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示</p>	5 ⑤ 1 改修工法	<p>(5.1.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>かぶせ工法</th> <th>撤去工法</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>○アルミニウム製建具</td> <td></td> <td></td> <td>※建具表による</td> </tr> <tr> <td>・樹脂製建具</td> <td></td> <td></td> <td>※建具表による</td> </tr> <tr> <td>・鋼製建具</td> <td>・外部</td> <td></td> <td>※建具表による</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・内部</td> <td></td> <td>※建具表による</td> </tr> <tr> <td>・鋼製軽量建具</td> <td></td> <td></td> <td>※建具表による</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製建具</td> <td></td> <td></td> <td>※建具表による</td> </tr> </table> <p>新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ※図示 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示 建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による</p> <p>※指定する 適用箇所 (※建具表による) ・指定しない (5.1.4) ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動 ※連動させる (※建具表による) ・連動させない</p> <p>3 見本の製作等 建具見本の製作 ・行う (建具符号: ) (5.1.5) 建具見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する 特殊な建具の仮組 ・行う (建具符号: ) ・納まり等がわかる程度のもの</p> <p>4 防犯建物部品 ・適用する 適用箇所 (※建具表による) (5.1.7)</p> <p>5 アルミニウム製建具 (5.2.2~5)(表5.2.1、2) 性能値等 外部に面する建具の種類 ・A種 (建具符号: ※建具表による) ( ) ・B種 (建具符号: ※建具表による) ( ) ・C種 (建具符号: ※建具表による) ( ) 枠の見込み寸法 ※建具表による</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ) ( ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) ( ) 耐震ドア 面内変形追随性の等級 ( ) ( )</p> <p>表面処理 外部に面する建具 ※B-1種 ・B-2種 ・ 着色 ・ステンカラー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ 屋内の建具 ※B-C-1種 ・B-C-2種 ・ 着色 ・ステンカラー ・ブロンズ ・ブラック系 ・</p> <p>ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 結露水の処理方法 ※図示 水切り板、ぜん板 ※図示</p>	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	○アルミニウム製建具			※建具表による	・樹脂製建具			※建具表による	・鋼製建具	・外部		※建具表による		・内部		※建具表による	・鋼製軽量建具			※建具表による	・ステンレス製建具			※建具表による
施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分	耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能																																																																																																								
	重ね形 はげ締め形 かん合形	山高 山ピッチ	( )種	※鋼板製 アルミニウム合金板製		・有り ・無し	・30分 ・無し																																																																																																								
工法の種類	アンカーピンの本数(本/m <sup>2</sup> )		注入口の箇所数(箇所/m <sup>2</sup> )		注入量(mL/箇所)																																																																																																										
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																											
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25																																																																																																										
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25																																																																																																										
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50																																																																																																										
※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16	—	—	※25																																																																																																										
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25																																																																																																										
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50																																																																																																										
・充填工法	—	—	—	—	—																																																																																																										
・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—																																																																																																										
建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所																																																																																																												
○アルミニウム製建具			※建具表による																																																																																																												
・樹脂製建具			※建具表による																																																																																																												
・鋼製建具	・外部		※建具表による																																																																																																												
	・内部		※建具表による																																																																																																												
・鋼製軽量建具			※建具表による																																																																																																												
・ステンレス製建具			※建具表による																																																																																																												
4 外壁改修(共通事項)	<p>1 可とう性エポキシ樹脂 (4.2.2) 建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂 (JIS A 6024) による</p> <p>2 バテ状エポキシ樹脂 (4.2.2) 建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂 (JIS A 6024) による</p> <p>3 エポキシ樹脂モルタル (4.2.2) 建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂 (JIS A 6024) による</p> <p>4 シーリング材 (4.2.2) 建築用シーリング材 (JIS A 5758) による</p> <p>5 ポリマーセメントモルタル (4.2.2) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業 (一般社団法人 公共建築協会) における「評価の内容」による</p> <p>6 ポリマーセメントスラリー (4.2.2) 試験方法・品質基準 (独立行政法人 都市再生機構) による</p> <p>7 既調査合モルタル (4.2.2) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業 (一般社団法人 公共建築協会) における「評価の内容」による</p>	4-3 1 ひび割れ部改修工法	<p>(4.1.4)(4.2.2)(4.5.2)(4.5.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(m<sup>3</sup>/m<sup>2</sup>)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>・120</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>・40</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.3以上~0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>・70</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上~1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>・130</td> </tr> </table> <p>エポキシ樹脂 ※低粘度形(0.5mm未満) ※中粘度形(0.5mm以上) 注入状況の確認方法 ※目視により充填状況を確認する</p> <p>・ウカットシール材充填工法 (4.5.6) ・シーリング材 充填材料の種類 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂</p>	種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> )	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40		0.3以上~0.5未満	100~200	・70	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	・130	4 目地改修工法	<p>(4.1.4)(4.2.2)(4.5.16)</p> <p>・目地ひび割れ部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.5.16) ・伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 ※図示 シーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による</p>	6 網戸等	<p>(5.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材種</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> <tr> <td>・防虫網</td> <td>※ステンレス(SUS316)製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製</td> <td>※0.25mm以上</td> <td>※16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>ステンレス(SUS304)線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法15mm</td> </tr> </table> <p>外部に面する窓の建具(枠見込み70mmのみ)には、脱着防止装置付又は完全内はずし式とし、見本品(模型など)又は施工図を提出して監督員の承認をうける。 (5.2.2)(5.3.2~5)</p> <p>性能値等 外部に面する建具の種類 ・A種 (建具符号: ※建具表による) ( ) ・B種 (建具符号: ※建具表による) ( ) ・C種 (建具符号: ※建具表による) ( ) 枠の見込み寸法 ・建具表による</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (・T-1 ・T-2) ( ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 (・H-4 ・H-5 ・H-6) ( )</p> <p>表面色 ※標準色 ・特注色 水切り板、ぜん板 ※図示 ガラス ※複層ガラス (5.2.2)(5.4.2~6)(表5.4.2~5)</p>	種類	材種	線径	網目	・防虫網	※ステンレス(SUS316)製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm																																																																								
種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> )																																																																																																												
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120																																																																																																												
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40																																																																																																												
	0.3以上~0.5未満	100~200	・70																																																																																																												
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	・130																																																																																																												
種類	材種	線径	網目																																																																																																												
・防虫網	※ステンレス(SUS316)製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・合成樹脂製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ																																																																																																												
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm																																																																																																												
4-1 外壁改修(コンクリート打放し仕上げ外壁改修)	<p>1 ひび割れ部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.3.2)(4.3.4)</p> <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(m<sup>3</sup>/m<sup>2</sup>)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>・120</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>・40</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.3以上~0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>・70</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上~1.0以下</td> <td>150~250</td> <td>・130</td> </tr> </table> <p>エポキシ樹脂 ※低粘度形(0.5mm未満) ※中粘度形(0.5mm以上) 注入状況の確認方法 ※目視により充填状況を確認する</p> <p>・ウカットシール材充填工法 (4.3.5) ・シーリング材 充填材料の種類 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>2 欠損部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.3.3)(4.3.7)</p> <p>・充填工法 (4.3.7) ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p>	工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> )	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40		0.3以上~0.5未満	100~200	・70	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0以下	150~250	・130	2 欠損部改修工法	<p>(4.1.4)(4.2.2)(4.5.3)(4.5.7)(4.5.8)</p> <p>・アンカーピンニング試験方法 引張試験: 1箇所/浮き部100m<sup>2</sup>かつ4面行うこと 引張強度: 1.2N/mm<sup>2</sup>以上とする</p> <p>アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm程度</p> <p>充填工法 (4.4.8) ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>モルタル塗替え工法 (4.4.9)(表4.4.1、2) 現場調査材料 ・既調査合材料 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示</p>	4-4 外壁改修(塗り仕上げ外壁改修)	<p>(4.6.3、4)</p> <p>※アンカーピンニング試験方法 引張試験: 1箇所/浮き部100m<sup>2</sup>かつ4面行うこと 引張強度: 1.2N/mm<sup>2</sup>以上とする</p> <p>アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm程度</p> <p>充填工法 (4.4.8) ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>モルタル塗替え工法 (4.4.9)(表4.4.1、2) 現場調査材料 ・既調査合材料 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示</p>	7 樹脂製建具	<p>(5.2.2)(5.3.2~5)</p> <p>性能値等 外部に面する建具の種類 ・A種 (建具符号: ※建具表による) ( ) ・B種 (建具符号: ※建具表による) ( ) ・C種 (建具符号: ※建具表による) ( ) 枠の見込み寸法 ・建具表による</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (・T-1 ・T-2) ( ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 (・H-4 ・H-5 ・H-6) ( )</p> <p>表面色 ※標準色 ・特注色 水切り板、ぜん板 ※図示 ガラス ※複層ガラス (5.2.2)(5.4.2~6)(表5.4.2~5)</p>																																																																																				
工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> )																																																																																																												
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120																																																																																																												
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40																																																																																																												
	0.3以上~0.5未満	100~200	・70																																																																																																												
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0以下	150~250	・130																																																																																																												
4-2 外壁改修(モルタル塗り仕上げ外壁改修)	<p>1 ひび割れ部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.4.2)(4.4.5)</p> <table border="1"> <tr> <th>種 類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(m<sup>3</sup>/m<sup>2</sup>)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>・120</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>・40</td> </tr> <tr> <td></td> <td>0.3以上~0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>・70</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上~1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>・130</td> </tr> </table> <p>エポキシ樹脂 ※低粘度形(0.5mm未満) ※中粘度形(0.5mm以上) 注入状況の確認方法 ※目視により充填状況を確認する</p> <p>・ウカットシール材充填工法 (4.4.6) ・シーリング材 充填材料の種類 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>2 欠損部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.4.3)(4.4.8)</p> <p>・充填工法 (4.4.8) ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>・モルタル塗替え工法 (4.4.9)(表4.4.1、2) 現場調査材料 ・既調査合材料 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示</p>	種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> )	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40		0.3以上~0.5未満	100~200	・70	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	・130	3 浮き部改修工法	<p>(4.1.4)(4.2.2)(4.5.4)(4.5.9~15)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法の種類</th> <th colspan="2">アンカーピンの本数(本/m<sup>2</sup>)</th> <th colspan="2">注入口の箇所数(箇所/m<sup>2</sup>)</th> <th rowspan="2">注入量(mL/箇所)</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※25</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※13</td> <td>※20</td> <td>※12</td> <td>※20</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※16</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※25</td> </tr> <tr> <td>・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※9</td> <td>※16</td> <td>※50</td> </tr> <tr> <td>※注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法</td> <td>※16</td> <td>※16</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>※25</td> </tr> </table> <p>狭幅部のアンカーピン及び注入口は幅中央に各々5本/mとする</p>	工法の種類	アンカーピンの本数(本/m <sup>2</sup> )		注入口の箇所数(箇所/m <sup>2</sup> )		注入量(mL/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25	・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25	・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50	※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16	—	—	※25	・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25	・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50	※注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法	※16	※16	—	—	※25	4 マスチック塗材塗り	<p>(4.1.5)(4.2.2)(4.6.5)</p> <p>※アンカーピンニング試験方法 引張試験: 1箇所/浮き部100m<sup>2</sup>かつ4面行うこと 引張強度: 1.2N/mm<sup>2</sup>以上とする</p> <p>アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>注入口付アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm程度</p> <p>充填工法 (4.4.8) ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル</p> <p>モルタル塗替え工法 (4.4.9)(表4.4.1、2) 現場調査材料 ・既調査合材料 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示</p>	8 鋼製建具	<p>(5.2.2)(5.4.2~6)(表5.4.2~5)</p> <p>性能値等 外部に面する建具の種類 ・A種 (建具符号: ※建具表による) ( ) ・B種 (建具符号: ※建具表による) ( ) ・C種 (建具符号: ※建具表による) ( ) 枠の見込み寸法 ・建具表による</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 (・T-1 ・T-2) ( ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 (・H-4 ・H-5 ・H-6) ( )</p> <p>表面色 ※標準色 ・特注色 水切り板、ぜん板 ※図示 ガラス ※複層ガラス (5.2.2)(5.4.2~6)(表5.4.2~5)</p>																																
種 類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(m <sup>3</sup> /m <sup>2</sup> )																																																																																																												
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120																																																																																																												
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40																																																																																																												
	0.3以上~0.5未満	100~200	・70																																																																																																												
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	・130																																																																																																												
工法の種類	アンカーピンの本数(本/m <sup>2</sup> )		注入口の箇所数(箇所/m <sup>2</sup> )		注入量(mL/箇所)																																																																																																										
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																											
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25																																																																																																										
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25																																																																																																										
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※13	※20	※12	※20	※50																																																																																																										
※注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※16	—	—	※25																																																																																																										
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25																																																																																																										
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50																																																																																																										
※注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法	※16	※16	—	—	※25																																																																																																										
						9 鋼製軽量建具	<p>(5.2.2)(5.5.2~6)(表5.5.1、2)</p> <p>性能値等 外部に面する建具の種類 ・A種 (建具符号: ※建具表による) ( ) ・B種 (建具符号: ※建具表による) ( ) ・C種 (建具符号: ※建具表による) ( ) 枠の見込み寸法 ・建具表による</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ) ( ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) ( ) 耐震ドア 面内変形追随性の等級 ( ) ( )</p> <p>鋼板の厚さ ※改修標準仕様書 表5.4.2による mm ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1</p> <p>性能値等 外部に面する建具の種類 ・A種 (建具符号: ※建具表による) ( ) ・B種 (建具符号: ※建具表による) ( ) ・C種 (建具符号: ※建具表による) ( ) 枠の見込み寸法 ・建具表による</p> <p>防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級 ( ) ( ) 断熱ドア・断熱サッシ 断熱性の等級 ( ) ( ) 耐震ドア 面内変形追随性の等級 ( ) ( )</p> <p>鋼板の種類 ○亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被膜鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 鋼板の厚さ ※改修標準仕様書 表5.4.2による mm ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 召合せ、縦小口包み板の材質 ※鋼板 ・ステンレス鋼板 ・アルミニウム合金の押出材</p>																																																																																																								
							<p>工事名 可児市立兼山小学校トイレ大規模改修工事</p> <p>種 別 改修工事特記仕様書-3 図面番号 A03 / 29</p> <p>縮 尺 --- 作成年月 令和 7 年 10 月</p> <p>設計者 株式会社 廣建築設備設計</p> <p>氏名印 一級建築士 第311227号 野内雅仁</p>																																																																																																								





⑧ ユニット及びその他工事	1 フリーアクセスフロア [20. 2. 2]	<p>特記事項</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>構法</th> <th>寸法(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>耐震性能</th> <th>所定荷重</th> <th>表面仕上材</th> </tr> <tr> <td>・置敷式 ・支柱調整式</td> <td>・500×500</td> <td></td> <td>・1.0G ・0.6G</td> <td>・3000N ・5000N</td> <td>・帯電防止床タイル ・タイルカーペット</td> </tr> </table> <p>寸法精度 ※標準仕様書20.2.2(2)(f)(a)～(c)による</p> <p>パネルの長さ ※各辺の長さが500mmを超える場合 ±0.1%以内 500mm以下の場合 ±0.5mm以内</p> <p>パネルの平面形状(角度) ※各辺の長さが500mmを超える場合 ±0.1%以内 500mm以下の場合 ±0.5mm以内</p> <p>フリーアクセスフロアの高さ ※±0.5mm以内</p> <p>(品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3000N ・5000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット		
	施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材										
	・置敷式 ・支柱調整式	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3000N ・5000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット											
	2 可動間仕切 [20. 2. 3]	<table border="1"> <tr> <th>構造形式による種類</th> <th>構成基材の種類</th> <th>パネル表面仕上げ</th> <th>遮音性 (db/500Hz)</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式</td> <td>スタッド パネル</td> <td>・メラミン樹脂焼付 又はアクリル樹脂焼付 ・壁紙張り</td> <td>・0 ・12 ・20 ・28 ・36</td> <td>・不燃</td> </tr> </table> <p>パネル内に取付ける建具・あり(※図示)・なし ドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。</p> <p>表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による パネル材料のホルムアルデヒド放散量 JIS A 6512によるF☆☆☆☆以上</p>	構造形式による種類	構成基材の種類	パネル表面仕上げ	遮音性 (db/500Hz)	防火性能	・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式	スタッド パネル	・メラミン樹脂焼付 又はアクリル樹脂焼付 ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃					
構造形式による種類	構成基材の種類	パネル表面仕上げ	遮音性 (db/500Hz)	防火性能													
・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式	スタッド パネル	・メラミン樹脂焼付 又はアクリル樹脂焼付 ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃													
3 移動間仕切 [20. 2. 4]	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">走行方向</th> <th rowspan="2">操作方法による種類</th> <th rowspan="2">パネル圧接装置の操作方法</th> <th rowspan="2">総厚さ(mm)</th> <th colspan="2">パネル表面材</th> <th rowspan="2">遮音性 (db/500Hz)</th> </tr> <tr> <th>材質</th> <th>仕上げ</th> </tr> <tr> <td>・平行方向 移動式 ・二方向 移動式</td> <td>・手動式 ・電動式 ・部分電動式</td> <td>・プッシュ式 ・ハンドル式</td> <td></td> <td>・鋼板 ・壁紙張り</td> <td>・焼付塗装 ・</td> <td>・36未満 ・36以上</td> </tr> </table> <p>パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による 遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする ハンガーレールの取付け下地の補強 ※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。</p> <p>ランナー ※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないものとする。</p> <p>(品質・性能) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	走行方向	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面材		遮音性 (db/500Hz)	材質	仕上げ	・平行方向 移動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式		・鋼板 ・壁紙張り	・焼付塗装 ・	・36未満 ・36以上
走行方向	操作方法による種類					パネル圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)		パネル表面材		遮音性 (db/500Hz)						
		材質	仕上げ														
・平行方向 移動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式		・鋼板 ・壁紙張り	・焼付塗装 ・	・36未満 ・36以上											
④ トイレブース [20. 2. 4]	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">表面材の材料</th> <th colspan="2">脚部</th> <th rowspan="2">ドアエッジ</th> </tr> <tr> <th>形状</th> <th>材質</th> </tr> <tr> <td>○メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>○幅木タイプ ・アジャスター</td> <td>・標準 ※R</td> <td>○アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材</td> </tr> </table> <p>パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	表面材の材料	脚部		ドアエッジ	形状	材質	○メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	○幅木タイプ ・アジャスター	・標準 ※R	○アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材						
表面材の材料	脚部		ドアエッジ														
	形状	材質															
○メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	○幅木タイプ ・アジャスター	・標準 ※R	○アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材														

⑧ ユニット及びその他工事	8 表示 [20. 2. 10]	<p>・衝突防止表示 形状・寸法 ( ・30φ ) 材質 ( ・ステンレス製 )</p> <p>案内用図記号はJIS Z 8210による。 誘導標識、非常用進入口等の表示 ・適用する(※消防法に適合する市販品) ・適用しない 色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 ※図示 その他の表示 ※図示</p>																												
	9 煙突ライニング [20. 2. 11]	<p>煙突用成形ライニング材 種類 ・ゾノトライト系けい酸カルシウムライニング材 適用安全使用温度(上限温度) ・400℃ ・650℃ 適用安全使用温度(下限温度) ・ (適用安全使用温度(上限温度)が400℃又は650℃の場合) 品質・性能及び試験方法 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による (適用安全使用温度(上限温度)が400℃又は650℃以外の場合) 品質・性能等</p>																												
	10 ブラインド [20. 2. 12]	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>スラット幅(mm)</th> <th>バック・レールの材質</th> <th>幅・高さ</th> </tr> <tr> <td>・横形</td> <td>・手動</td> <td>※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>※アルミニウム合金製</td> <td>※25</td> <td>※鋼製</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・縦形</td> <td>・手動</td> <td>※2本操作コード式 ・1本操作コード式</td> <td>・アルミスラット ・クロススラット</td> <td>・80 ・100</td> <td>アルミニウム合金製</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・電動</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>スラットの材質 ・アルミスラット 焼付け塗装仕上げ ・クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工 ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は ☒ とする。</p> <p>操作方式 ・スプリング式 ・コード式 ・電動式 幅・高さ ※図示 材質 ・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製 品質等 その他の材料 ※ロールスクリーンの製造所の仕様による</p>	形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅(mm)	バック・レールの材質	幅・高さ	・横形	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	※鋼製	・図示	・縦形	・手動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	アルミニウム合金製	・図示		・電動	—	—	—	—	—
	形式	操作方法	種類	スラットの材質	スラット幅(mm)	バック・レールの材質	幅・高さ																							
・横形	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製	※25	※鋼製	・図示																								
・縦形	・手動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	アルミニウム合金製	・図示																								
	・電動	—	—	—	—	—																								
11 ロールスクリーン ☒ [20. 2. 13]	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>きれ地の種類、品質、特殊加工等</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・シングル ・ダブル</td> <td>・手引き ・ひも引き ・電動</td> <td>・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ</td> <td></td> <td>・図示</td> <td>(暗幕)</td> </tr> </table> <p>ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は ☒ とする。 暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上</p>	形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所	備考	・シングル ・ダブル	・手引き ・ひも引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ		・図示	(暗幕)																	
形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種類、品質、特殊加工等	取付箇所	備考																									
・シングル ・ダブル	・手引き ・ひも引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ		・図示	(暗幕)																									

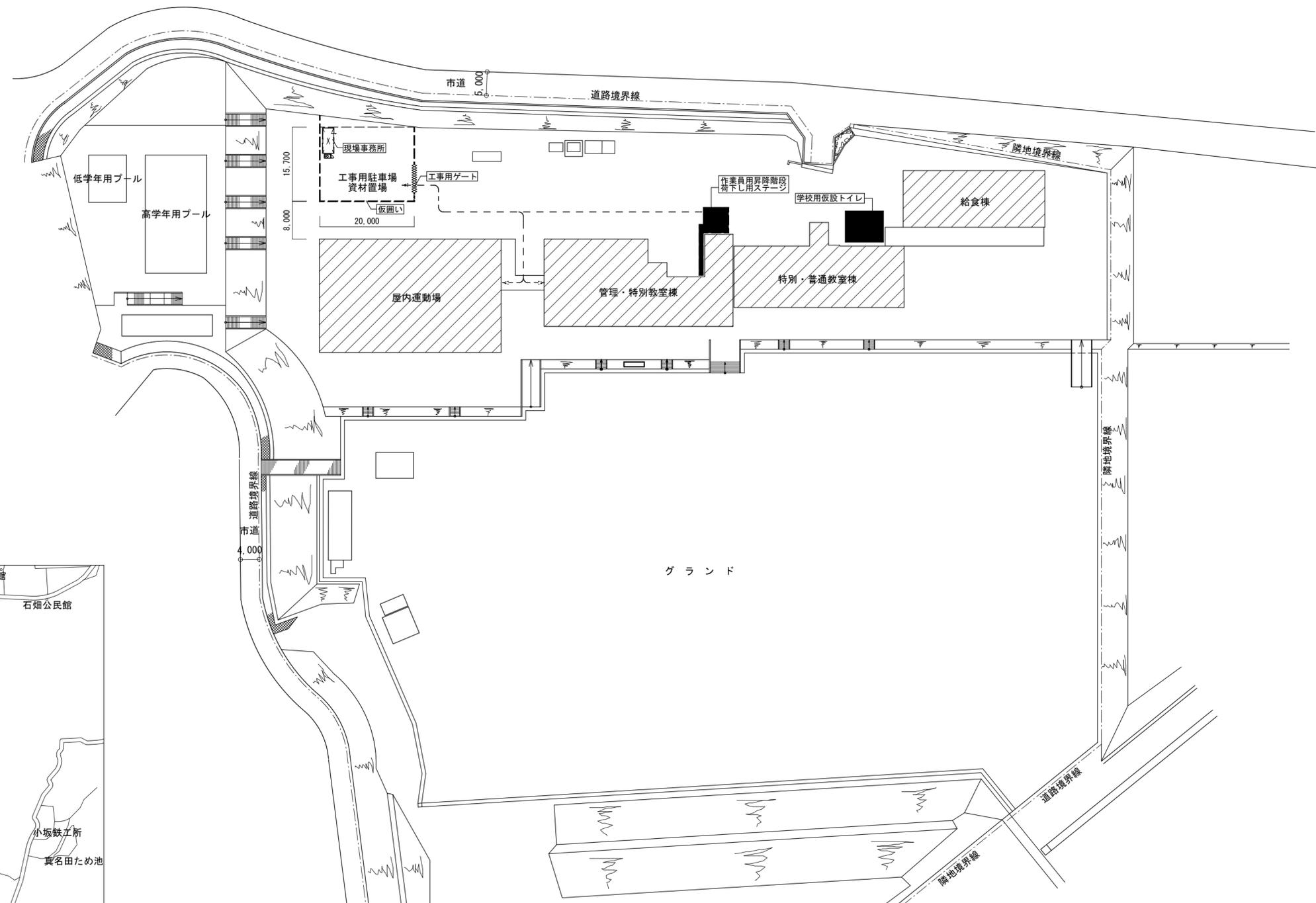
⑧ ユニット及びその他工事	17 止水板 [21. 2. 1]	<p>形状 ・差込式 ・据置式 ・壁張り式 施工箇所 ※図示</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>クリアランス(mm)</th> <th>耐火性能</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製</td> <td>・50 ・100 ・150</td> <td>・有り ・無し</td> <td></td> </tr> </table> <p>外部は防水型とする</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>受け枠</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製</td> <td>・ステンレス鋼(SUS304) ・硬質アルミニウム合金</td> <td></td> </tr> </table>	材種	クリアランス(mm)	耐火性能	備考	・アルミニウム製 ・ステンレス製	・50 ・100 ・150	・有り ・無し		材種	受け枠	備考	・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製	・ステンレス鋼(SUS304) ・硬質アルミニウム合金	
	材種	クリアランス(mm)	耐火性能	備考												
	・アルミニウム製 ・ステンレス製	・50 ・100 ・150	・有り ・無し													
	材種	受け枠	備考													
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製	・ステンレス鋼(SUS304) ・硬質アルミニウム合金															
18 エキスパンションジョイント金物 [21. 2. 1]	<p>品質・性能 (1) 外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.11による。 (2) 構成材は、JIS A 4420の8により試験を行ったとき、表1の規定による。 形状 ※図示</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>形式</th> <th>高さ(mm)</th> <th>操作方法</th> <th>固定方法</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム合金製</td> <td>・チーバー式 ・同一断面式</td> <td></td> <td>・ハンドル式 ・ロープ式</td> <td>・埋込式 ・ベース式 ・バンド式</td> <td></td> </tr> </table>	材種	形式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考	・アルミニウム合金製	・チーバー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式				
材種	形式	高さ(mm)	操作方法	固定方法	備考											
・アルミニウム合金製	・チーバー式 ・同一断面式		・ハンドル式 ・ロープ式	・埋込式 ・ベース式 ・バンド式												
19 くつふきマット [21. 2. 1]	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>材質</th> <th>柱径、肉厚(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・上下式傾内蔵式 ・標準品 ・スプリング式</td> <td>・ステンレス製</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	形式	材質	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)	・上下式傾内蔵式 ・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製									
形式	材質	柱径、肉厚(mm)	高さ(mm)													
・上下式傾内蔵式 ・標準品 ・スプリング式	・ステンレス製															
20 流し台ユニット [21. 2. 1]	<p>品質・性能 (1) 外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.11による。 (2) 構成材は、JIS A 4420の8により試験を行ったとき、表1の規定による。 形状 ※図示</p>															

⑧ ユニット及びその他工事	3 グレーチング [21. 2. 1]	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>用途</th> <th>適用荷重</th> <th>メインバーピッチ</th> <th>垂鉛めつき(付着量)</th> <th>上面形状</th> </tr> <tr> <td>・鋼製</td> <td>・受枠付き、ボルト固定</td> <td>・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用</td> <td>・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td> <td>・細目 ・普通目 ・細目</td> <td></td> <td>・凹凸形 ・平形</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製</td> <td>・受枠付き、ボルト固定</td> <td>・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用</td> <td>・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>・凹凸形 ・平形</td> </tr> </table> <p>(品質・性能及び荷重試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	垂鉛めつき(付着量)	上面形状	・鋼製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・細目 ・普通目 ・細目		・凹凸形 ・平形	・ステンレス製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	—	—	・凹凸形 ・平形
	材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	垂鉛めつき(付着量)	上面形状																
	・鋼製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・細目 ・普通目 ・細目		・凹凸形 ・平形																
	・ステンレス製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・樹ふた用 ・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	—	—	・凹凸形 ・平形																
4 街きよ、縁石、及び側溝 [21. 3. 1. 2][表21. 3. 1]	<p>街きよ、縁石、側溝</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状、寸法</th> </tr> <tr> <td>・縁石</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・L形側溝</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・U形側溝</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・U形側溝ふた</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※図示</td> </tr> </table> <p>砂利地業に用いる材料 ・再生クラッシュラン ☒ ・切込砂利又は切込砕石 砂利地業の厚さ ※100(mm) ※図示 ・現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ※18N/mm<sup>2</sup> 凍上抑制層に用いる材料 砂の粒度試験 ・行う ・行わない</p>	種類	形状、寸法	・縁石	※図示	・L形側溝	※図示	・U形側溝	※図示	・U形側溝ふた	※図示		※図示										
種類	形状、寸法																						
・縁石	※図示																						
・L形側溝	※図示																						
・U形側溝	※図示																						
・U形側溝ふた	※図示																						
	※図示																						
5 埋戻し土 [21. 2. 1]	<p>※B種</p>																						
⑩ その他(舗装工事)	1 路床 [22. 2. 2, 3, 5][表22. 2. 1]	<p>路床の材料</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種 ・B種 ・C種 ・D種</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>・普通ポルトランドセメント ・建設汚泥から再生した処理土 ・再生クラッシュラン ・クラッシュラン</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>・切込み砂利 ・砂</td> <td>※図示</td> </tr> </table> <p>・路床安定処理 安定処理の方法 ・置換え工法 ・安定処理工法 路床安定化処理用添加材料 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 ☒ ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰 ( ) ・消石灰 ( ) 添加量 ・ kg/m<sup>3</sup> (目標CBR ・3以上 ) ・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・ 60g/m<sup>2</sup>以上 厚さ(mm) ・ 0.5~1.0 引張強度 ・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 ・ 1.5×10<sup>-6</sup>cm/sec以上</p> <p>試験 砂の粒度試験 ・行う ・行わない 路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う ・行わない 路床締め度の試験 ・行う ・行わない 現場CBR試験 ・行う ・行わない</p>	種別	材料	厚さ(mm)	・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種	※図示	・凍上抑制層	・普通ポルトランドセメント ・建設汚泥から再生した処理土 ・再生クラッシュラン ・クラッシュラン	※図示	・フィルター層	・切込み砂利 ・砂	※図示									
種別	材料	厚さ(mm)																					
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種	※図示																					
・凍上抑制層	・普通ポルトランドセメント ・建設汚泥から再生した処理土 ・再生クラッシュラン ・クラッシュラン	※図示																					
・フィルター層	・切込み砂利 ・砂	※図示																					
2 路盤 [22. 2. 2, 3, 5][表22. 3. 1]	<p>路盤の厚さ ※図示</p> <p>路盤材料</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">種類</th> </tr> <tr> <td>砕石</td> <td>・クラッシュラン ・粒度調整砕石</td> </tr> <tr> <td>再生材</td> <td>・クラッシュラン ☒ ・粒度調整砕石 ☒ ・クラッシュラン鉄鋼スラグ ☒ ・粒度調整鉄鋼スラグ ☒ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ ☒</td> </tr> </table> <p>[22. 4. 2~6][表 22. 4. 4]</p> <p>アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示 材料及び種類 アスファルト ○再生アスファルト ☒ ( ・60~80 ・80~100 ) ・ストレートアスファルト 骨材 ○アスファルトコンクリート再生骨材 ☒</p> <p>加熱アスファルト混合物の種類 ○密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13) ・密粒度アスファルト混合物(13F) シールコートの乳剤の種類 ・PK-1 ・PK-2 試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ○行わない 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p>	種類		砕石	・クラッシュラン ・粒度調整砕石	再生材	・クラッシュラン ☒ ・粒度調整砕石 ☒ ・クラッシュラン鉄鋼スラグ ☒ ・粒度調整鉄鋼スラグ ☒ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ ☒																
種類																							
砕石	・クラッシュラン ・粒度調整砕石																						
再生材	・クラッシュラン ☒ ・粒度調整砕石 ☒ ・クラッシュラン鉄鋼スラグ ☒ ・粒度調整鉄鋼スラグ ☒ ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ ☒																						
3 アスファルト舗装 [22. 2. 2, 3, 5][表22. 3. 1]	<p>工事名 可児市立兼山小学校トイレ大規模改造工事</p> <p>種別 改修工事特任仕様書-6 図面番号 A06 / 29</p> <p>縮尺 --- 作成年月 令和 7 年 10 月</p> <p>設計者 株式会社 廣建築設備設計</p> <p>氏名印 一級建築士 第31127号 野内雅仁</p>																						

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																																																									
12	1 石綿含有建材の除去工事	<p>(9.1.1、3~5)</p> <p>施工調査 ※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する 調査範囲 (○) 内部改修範囲 (●) 図示 貸与資料 (なし)</p> <p>分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アソフィライト、クリソタイル、クロソドライト、トレモライト 分析方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">材 料 名</th> <th colspan="2">定性分析方法</th> <th colspan="2">定量分析方法</th> </tr> <tr> <th>JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2</th> <th>JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4</th> <th>計 点</th> <th>計 点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・箇所数( )</td> <td>・箇所数( )</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・箇所数( )</td> <td>・箇所数( )</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・箇所数( )</td> <td>・箇所数( )</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・箇所数( )</td> <td>・箇所数( )</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 図示</p> <p>石綿粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定箇所数 (各施工箇所ごと)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定2</td> <td></td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定4</td> <td></td> <td>セキュリティゾーン入口</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定5</td> <td></td> <td>集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)</td> <td>出口吹出し風速 1 m/s以下の位置 計 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定6</td> <td></td> <td>処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定7</td> <td>処理作業後 (シート養生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定8</td> <td>処理作業後 (シート撤去後)</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定9</td> <td>1週間以降</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法 ・自動測定器による測定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th colspan="3">測定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定4</td> <td colspan="3">粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> <tr> <td colspan="4">・JIS K 3850-11に基づいた測定</td> </tr> <tr> <th>測定名称</th> <th>メンブレンフィルタ直径(mm)</th> <th>試料の吸引流量 (L/min)</th> <th>試料の吸引時間 (min)</th> </tr> <tr> <td>測定4</td> <td>25</td> <td>5</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>測定5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>47</td> <td>10</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td></td> <td>47</td> <td>10</td> <td>240</td> </tr> </tbody> </table> <p>石綿含有建材の処理 ・石綿含有吹付け材の除去 除去対象範囲 図示 除去工法 ※9.1.3 (2) (7)による</p> <p>除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※湿潤化・固形化 除去した石綿含有吹付け材等の処分 ・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>・石綿含有保温材等の除去 除去対象範囲 図示 除去工法 ・破碎して除去 ・手ばらし 除去した石綿含有保温材等の飛散防止 ※湿潤化・固形化 除去した石綿含有保温材等の処分 ・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>○石綿含有成型板の除去 除去対象範囲 図示 除去した石綿含有成型板の処分 ・石綿含有せっこうボード ※埋立処分 (管理型最終処分場) ○石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成型板 ○埋立処分 (安定型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ○図示</p>	材 料 名	定性分析方法		定量分析方法		JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4	計 点	計 点		・箇所数( )	・箇所数( )				・箇所数( )	・箇所数( )				・箇所数( )	・箇所数( )				・箇所数( )	・箇所数( )			適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)		測定1	処理作業前	処理作業室内	計 点		測定2		調査対象室外部の付近	計 点		測定3	処理作業中	処理作業室内	計 点		測定4		セキュリティゾーン入口	計 点		測定5		集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹出し風速 1 m/s以下の位置 計 点		測定6		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界			測定7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計 点		測定8	処理作業後 (シート撤去後)	処理作業室内	計 点		測定9	1週間以降	調査対象室外部の付近	計 点	測定名称	測定方法			測定4	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定			・JIS K 3850-11に基づいた測定				測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)	測定4	25	5	30	測定5					47	10	120		47	10	240	2 断熱アスファルト防水改修工事 (9.2.2~3)	改修特記仕様書3章による	3 外断熱改修工事 (9.3.2~4)	<p>断熱材 断熱材の種類 断熱材の厚さ (mm) 施工箇所 図示 ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>鋼材 改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・鋼材による</p> <p>笠木 改修特記仕様書第3章 ・アルミニウム製笠木による</p> <p>既存外壁の処置 既存外壁仕上材の撤去 ・あり ・なし 下地面の清掃 ・行う ・行わない 欠損部の改修工法 ・改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 不陸等の下地調整 断熱材の施工 ・断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ・外装材製造所の仕様による 通気層の有無 ・あり ( mm) ・なし 外装材の外壁への取付け 図示 笠木の施工 ・改修特記仕様書第3章 アルミニウム笠木による</p>	種類	防火性能	備考				6 透水性アスファルト舗装改修工事 (9.7.2~5、9)	<p>既存舗装の撤去及び再利用 ※図示</p> <p>路床 路床の材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 [G]</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>・再生クラッシュヤラン [G] ・クラッシュヤラン ・切込み砂利</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>・砂</td> <td>・図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>路床安定処理 ・適用する ・適用しない 路床安定処理の方法 ・添加材料による安定処理 ・添加材料による安定処理 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰 (・特号 ・1号) ・消石灰 (・特号 ・1号) ・ 添加量 ・ kg (目標CBR ・ 3以上 ) 目標CBRを満足する添加量の確認方法 ・安定処理土のCBR試験</p> <p>・ジオテキスタイル 単位面積質量 ・60g/m<sup>2</sup>以上 厚さ(mm) ・0.5~1.0 引張強さ ・98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 透水係数 ・1.5×10<sup>-2</sup> cm/sec以上</p> <p>試験 砂の粒度試験 ・行う ・行わない 路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・行う ・行わない 現場CBR試験 ・行う ・行わない 路床締固め度の試験 ・行う ・行わない</p> <p>路盤 路盤の厚さ 図示 路盤材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砕石</td> <td>・クラッシュヤラン ・粒度調整砕石</td> </tr> <tr> <td>再生材</td> <td>・クラッシュヤラン [G] ・粒度調整砕石 [G]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・クラッシュヤラン鉄鋼スラグ [G] ・粒度調整鉄鋼スラグ [G] ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]</td> </tr> </tbody> </table> <p>舗装の構成 ・図示 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない 舗装の平たん性 ※著しい不陸がないもの</p>	種別	材料	厚さ(mm)	・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 [G]	・図示	・凍上抑制層	・再生クラッシュヤラン [G] ・クラッシュヤラン ・切込み砂利	・図示	・フィルター層	・砂	・図示	種 類		砕石	・クラッシュヤラン ・粒度調整砕石	再生材	・クラッシュヤラン [G] ・粒度調整砕石 [G]		・クラッシュヤラン鉄鋼スラグ [G] ・粒度調整鉄鋼スラグ [G] ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]
材 料 名	定性分析方法			定量分析方法																																																																																																																																													
	JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4	計 点	計 点																																																																																																																																													
	・箇所数( )	・箇所数( )																																																																																																																																															
	・箇所数( )	・箇所数( )																																																																																																																																															
	・箇所数( )	・箇所数( )																																																																																																																																															
	・箇所数( )	・箇所数( )																																																																																																																																															
適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)																																																																																																																																													
	測定1	処理作業前	処理作業室内	計 点																																																																																																																																													
	測定2		調査対象室外部の付近	計 点																																																																																																																																													
	測定3	処理作業中	処理作業室内	計 点																																																																																																																																													
	測定4		セキュリティゾーン入口	計 点																																																																																																																																													
	測定5		集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹出し風速 1 m/s以下の位置 計 点																																																																																																																																													
	測定6		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界																																																																																																																																														
	測定7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計 点																																																																																																																																													
	測定8	処理作業後 (シート撤去後)	処理作業室内	計 点																																																																																																																																													
	測定9	1週間以降	調査対象室外部の付近	計 点																																																																																																																																													
測定名称	測定方法																																																																																																																																																
測定4	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																																																																																
・JIS K 3850-11に基づいた測定																																																																																																																																																	
測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)																																																																																																																																														
測定4	25	5	30																																																																																																																																														
測定5																																																																																																																																																	
	47	10	120																																																																																																																																														
	47	10	240																																																																																																																																														
種類	防火性能	備考																																																																																																																																															
種別	材料	厚さ(mm)																																																																																																																																															
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 [G]	・図示																																																																																																																																															
・凍上抑制層	・再生クラッシュヤラン [G] ・クラッシュヤラン ・切込み砂利	・図示																																																																																																																																															
・フィルター層	・砂	・図示																																																																																																																																															
種 類																																																																																																																																																	
砕石	・クラッシュヤラン ・粒度調整砕石																																																																																																																																																
再生材	・クラッシュヤラン [G] ・粒度調整砕石 [G]																																																																																																																																																
	・クラッシュヤラン鉄鋼スラグ [G] ・粒度調整鉄鋼スラグ [G] ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]																																																																																																																																																
			3 ガラス改修工事 (9.4.2、3)	<p>複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ・建具表による 断熱性による区分 ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6 日射取得性、日射遮蔽性による区分 ・G ・S 乾燥気体の種類 ・空気 ・アルゴン</p> <p>上記以外は、改修特記仕様書5章 建具改修工事による</p>																																																																																																																																													
			4 断熱・防露改修工事 (9.5.2~4)	<p>フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 厚さ (mm) 施工箇所 ・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ・A種 1 H 吹き付け厚さ (mm) ・25 ・30 施工箇所 図示 (品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業 (一般社団法人 公共建築協会) における「評価の内容」による</p>																																																																																																																																													
			5 屋上緑化改修工事 (9.6.2、3)	<p>植栽基盤及び材料 屋上緑化軽量システム ・適用する ・適用しない 芝及び地被類の種類等 ※図示 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※図示 (品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業 (一般社団法人 公共建築協会) における「評価の内容」による</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 かん水装置 ・設置する (種類 ) 既存保護層の撤去 ・行う ・行わない 新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※引き渡しの日から1年</p>																																																																																																																																													

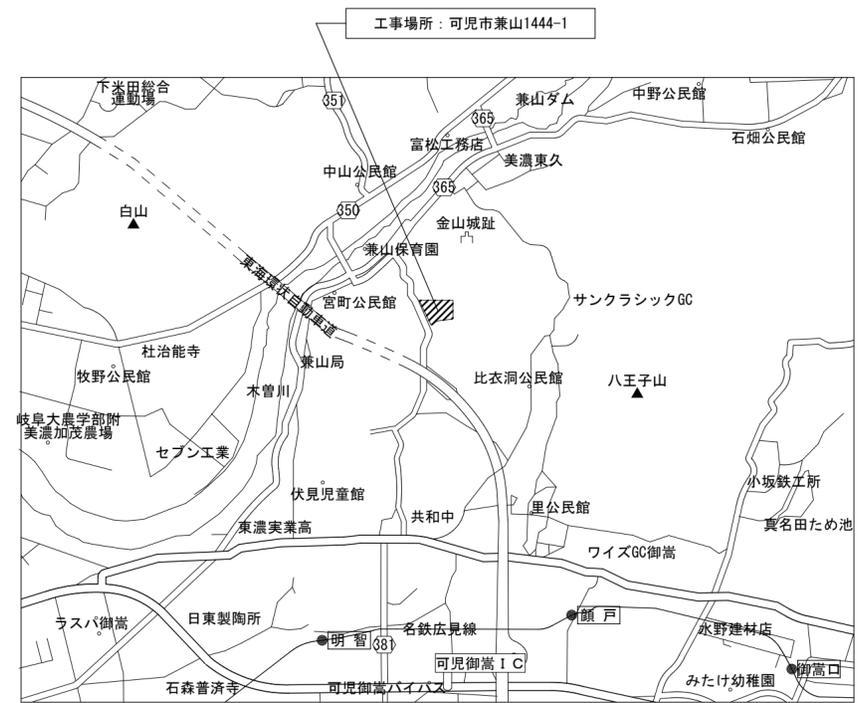
工事名	可見市立兼山小学校トイレ大規模改修工事		
種 別	改修工事特記仕様書-7	図面番号	A07 / 29
縮 尺	---	作成年月	令和 7 年 10 月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		





配置図 S=1/700

**特記事項**  
 ※ 仮設物の設置に先立ち、仮設計画提出の上、監督員と協議・承認後施工を行うこと。  
 ※ 工事用大型車両の出入り等必要に応じて交通誘導員を配置し安全に配慮すること。  
 ※ 工事中必要な場合は監督員の指示に従い、案内看板等を請負者の負担により設置すること。  
 ※ 監督員と協議の上、マンホール等には敷き鉄板等必要な養生を行うこと。  
 ※ 工事進捗状況に合わせ簡易バリアード等を設置し安全を確保すること。  
 ※ 工事範囲内に存する既設仕上面及び備品等は必要に応じて養生を行い、損傷を与えた場合は請負者の負担にて現況復旧を行うこと。  
 ※ 仮設計画・工程計画等については学校運営・地域行事及び同一敷地内の別途工事と調整を図り、円滑に工事を進めること。  
 ※ 作業日時・工事導線等については監督員・学校と協議調整を行い計画を行うこと。

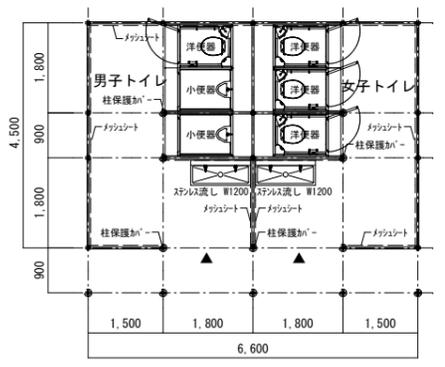
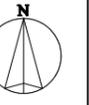


付近見取図

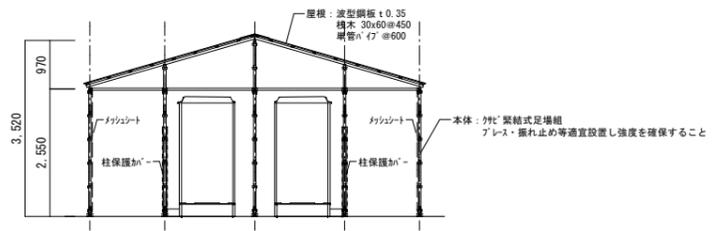
凡例		工事対象建物を示す 仮囲い 成形鋼板 H=2000 工事用ゲート キャスターゲート W=6000×H=1800	

工事名	可児市立兼山小学校トイレ大規模改修工事		
種別	付近見取図 配置図兼仮設計画図	図面番号	A09 / 29
縮尺	1/700	作成年月	令和 7 年 10 月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		

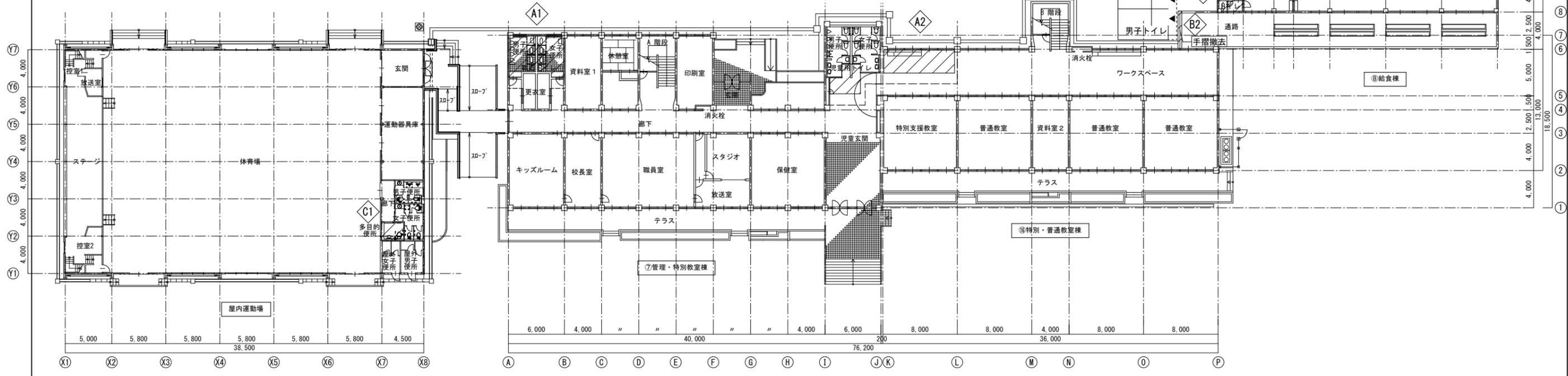




仮設トイレ仕様  
 水洗式、段差ステップ付き  
 LED照明、W<sup>h</sup>-V<sup>h</sup>-88<sup>h</sup>、便座除菌クリナー  
 コントラ、化粧鏡、鏡、他付属品一式  
 ※快便トイレ適合品  
 (可変式マットステップ共)



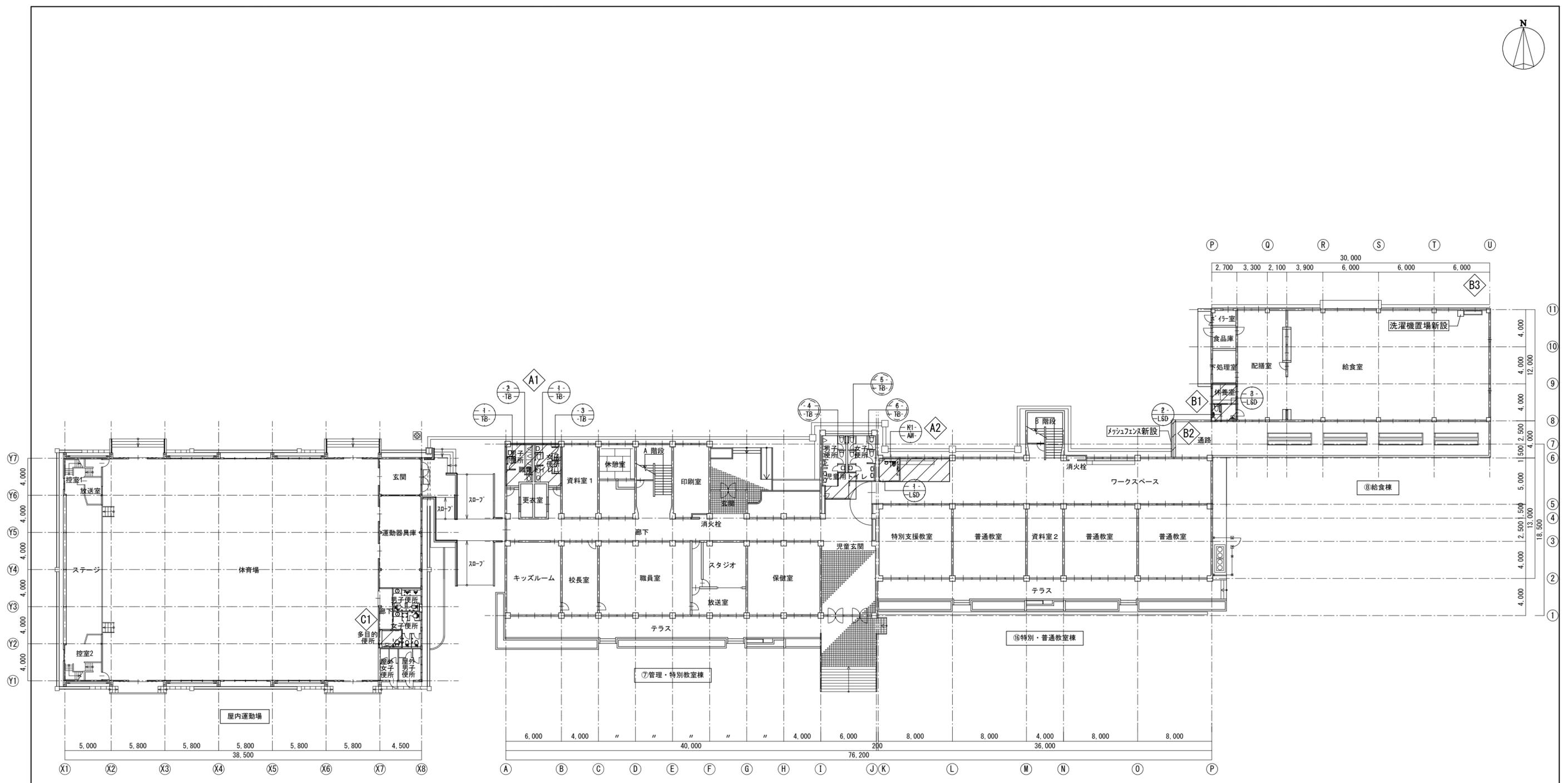
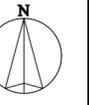
仮設トイレ参考図 S=1/100



改修前 1階平面図 S=1/300

凡例		工事名	
	工事番号を示す	可児市立兼山小学校トイレ大規模改修工事	
	工事範囲を示す	種別	改修前 1階平面図・仮設計画図
	仮間仕切・養生 ビニルシート張り程度	図面番号	A11 / 29
	サッシ養生 ベニア張り程度	縮尺	1/300
		作成年月	令和 7 年 10 月
		設計者	株式会社 廣建築設備設計
		氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁

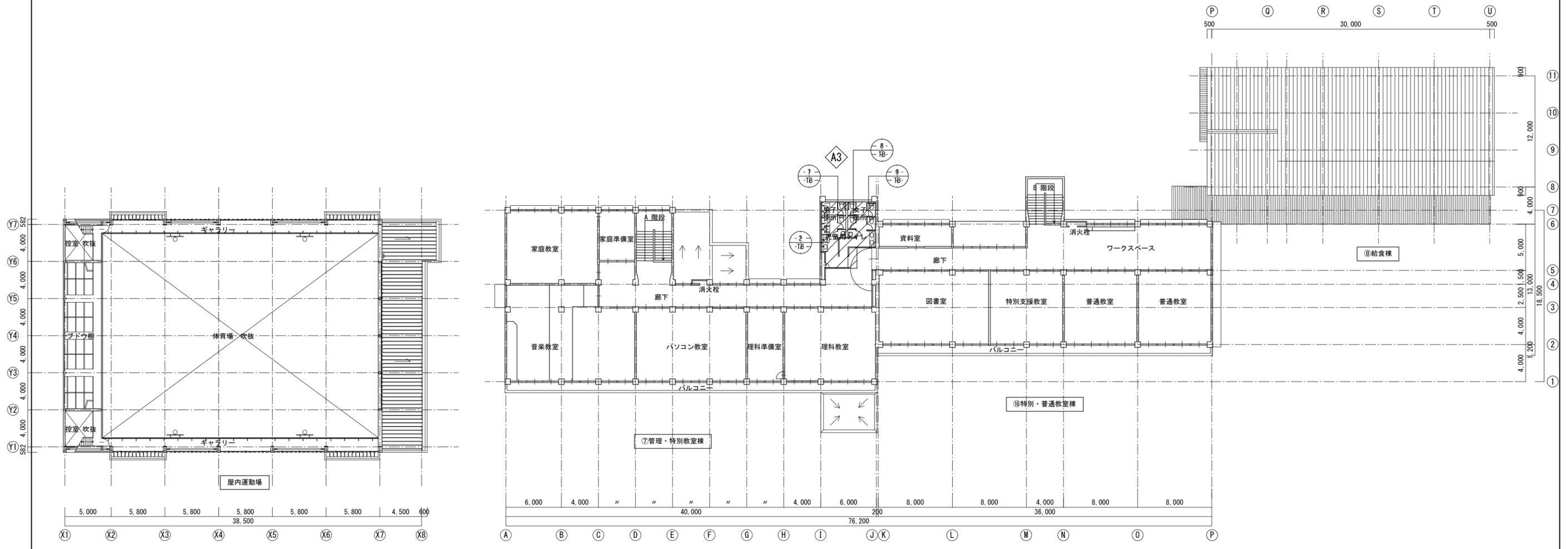
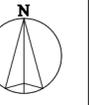




改修後 1階平面図 S=1/300

凡例			
	工事番号を示す		：(新設) 建具符号
			：(改修) 建具符号
			：(既存) 建具符号

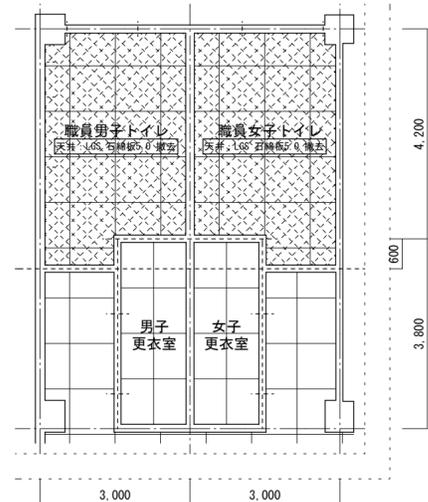
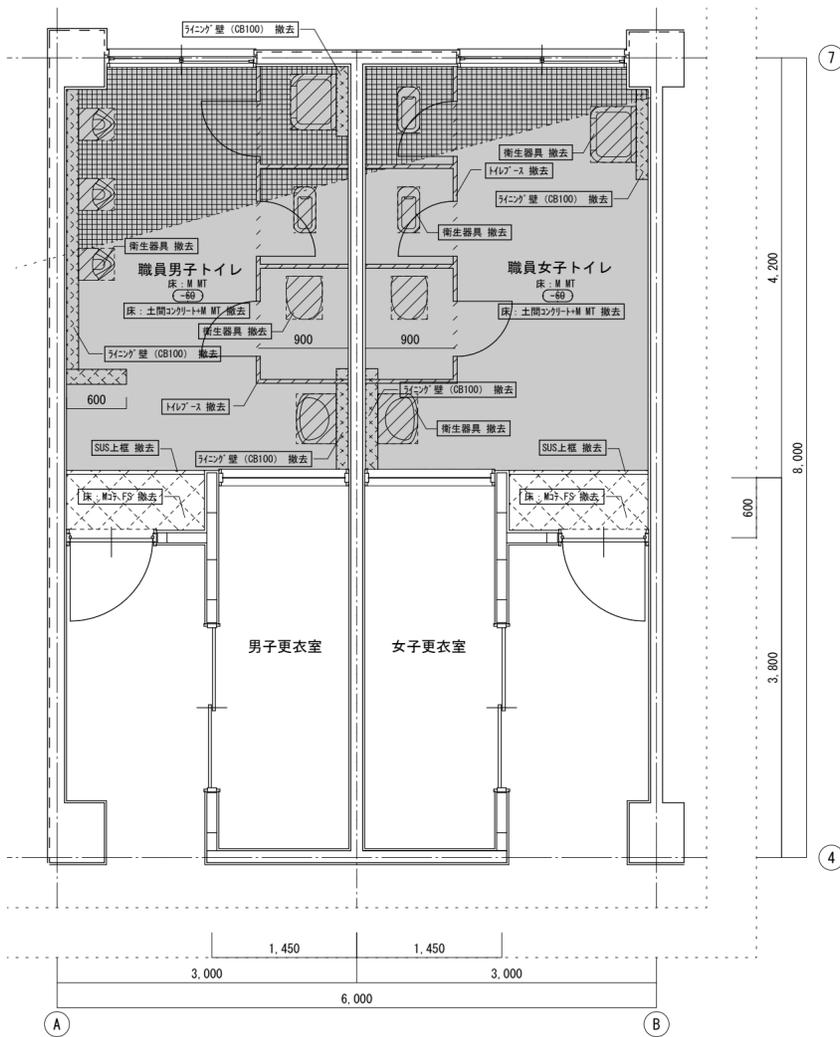
工事名	可児市立兼山小学校トイレ大規模改修工事		
種別	改修後 1階平面図・建具配置図	図面番号	A13 / 29
縮尺	1/300	作成年月	令和 7 年 10 月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		



改修後 2階平面図 S=1/300

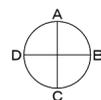
凡例			
	工事番号を示す		： (新設) 建具符号
			： (改修) 建具符号
			： (既存) 建具符号

工事名	可見市立兼山小学校トイレ大規模改造工事		
種別	改修前 2階平面図・建具配置図	図面番号	A14 / 29
縮尺	1/300	作成年月	令和 7 年 10 月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		

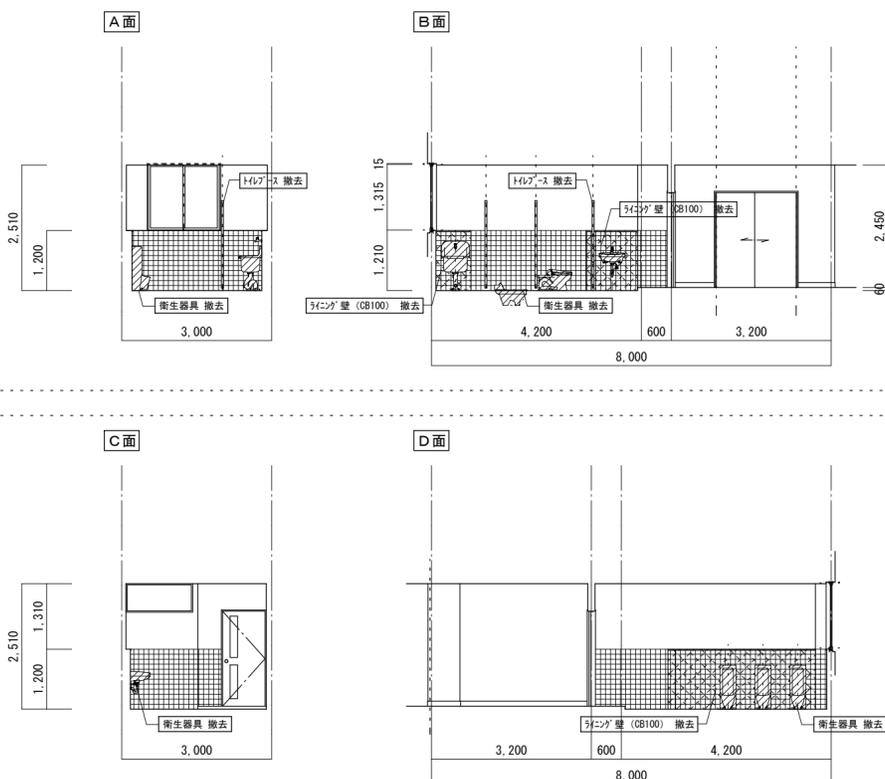


天井伏図 S=1/100

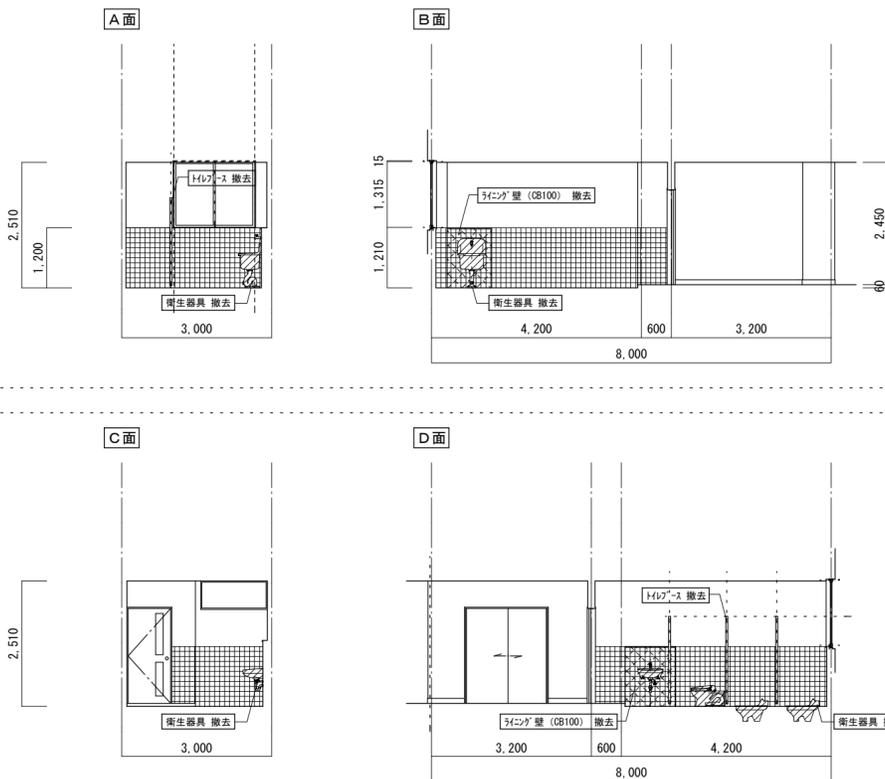
平面詳細図 S=1/50



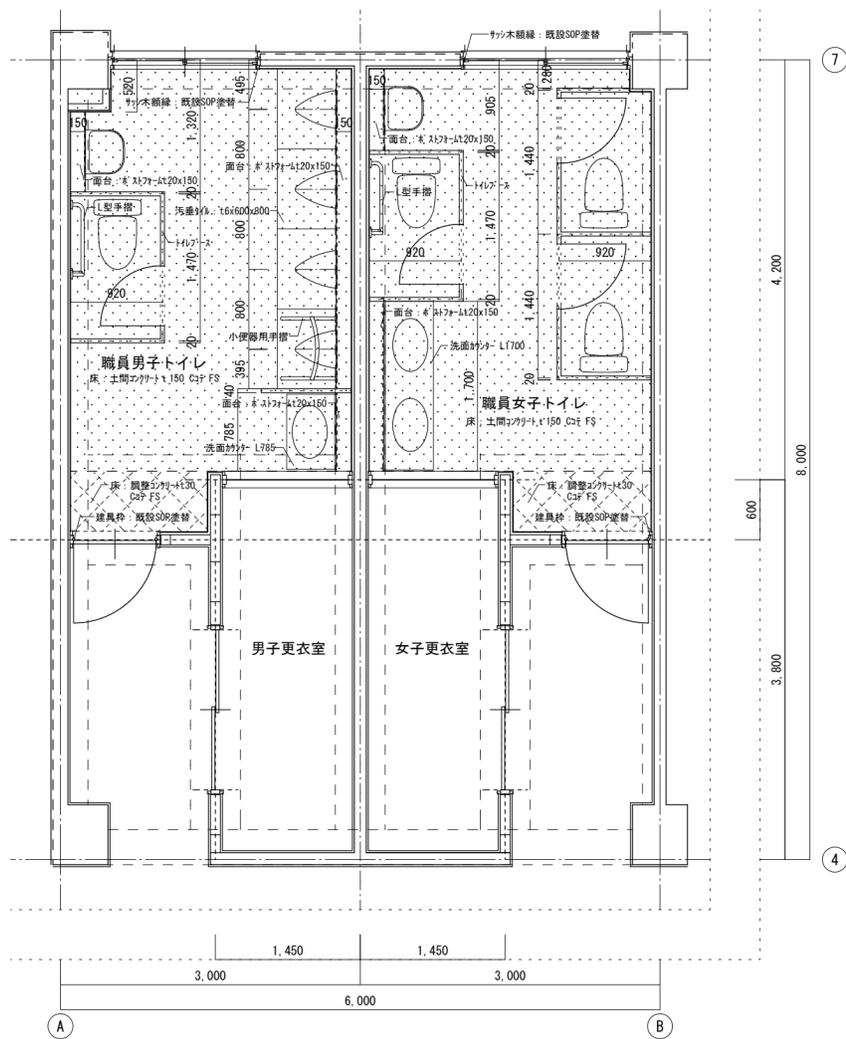
展開図 男子トイレ



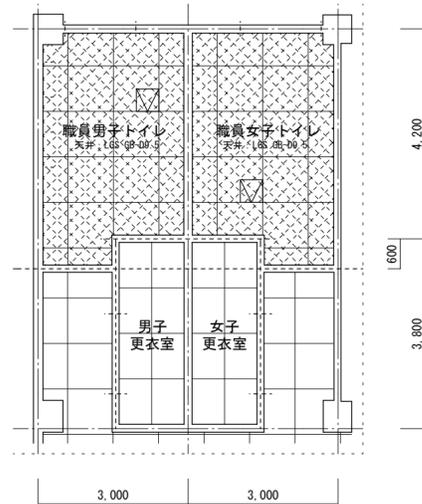
女子トイレ



凡例								工事名		可児市立兼山小学校トイレ大規模改修工事	
	(現況) 取壊し・撤去概要を示す		(現況) 撤去範囲を示す: 間仕切壁、建具、衛生器具等					種別	改修前 平面詳細図・展開図 管理特別棟 1階 職員男女トイレ	図面番号	A15 / 29
	(現況) 取外し・撤去概要を示す ※再使用品		(現況) 取外し・撤去範囲を示す: 建具、衛生器具等 ※再使用品					縮尺	1/50, 100	作成年月	令和 7 年 10 月
	(現況) 撤去範囲を示す: 床スラブ・土間コンクリート		(現況) 部分撤去範囲を示す: 仕上・下地共					設計者	株式会社 廣建築設備設計		
			(現況) 部分撤去範囲を示す: 仕上のみ					氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		
			(現況) 部分撤去範囲を示す: 仕上のみ						±0	床高を示す (基準: 各階 F.L.) ※特記なき床高は F.L. ±0	

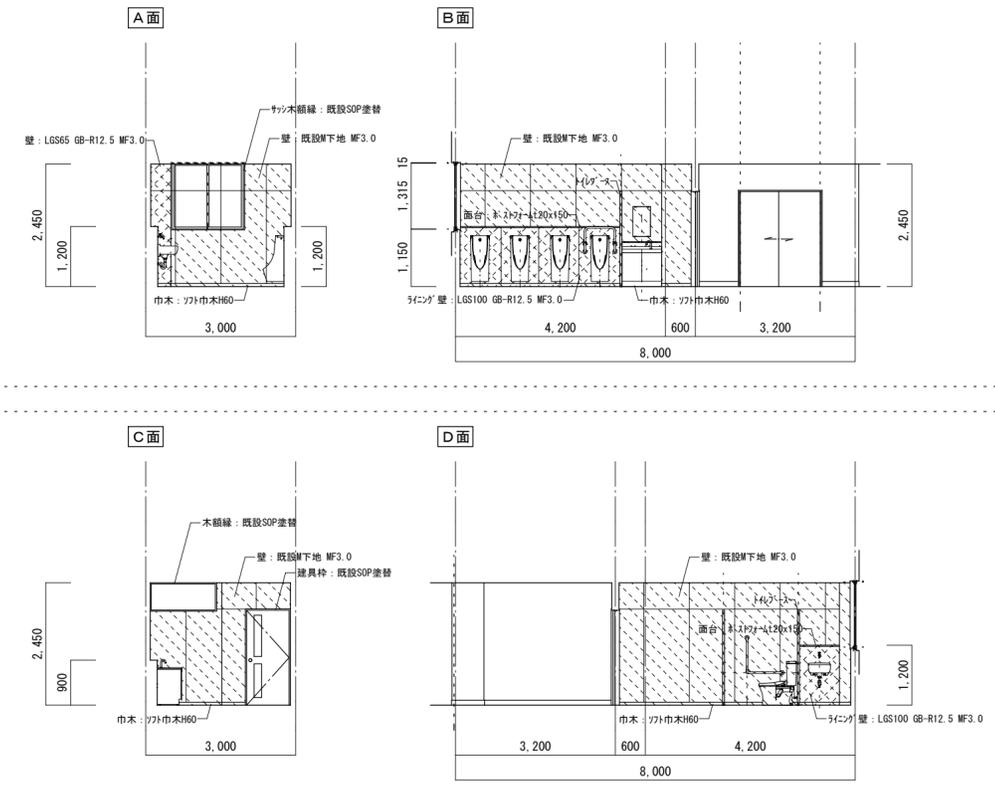


平面詳細図 S=1/50

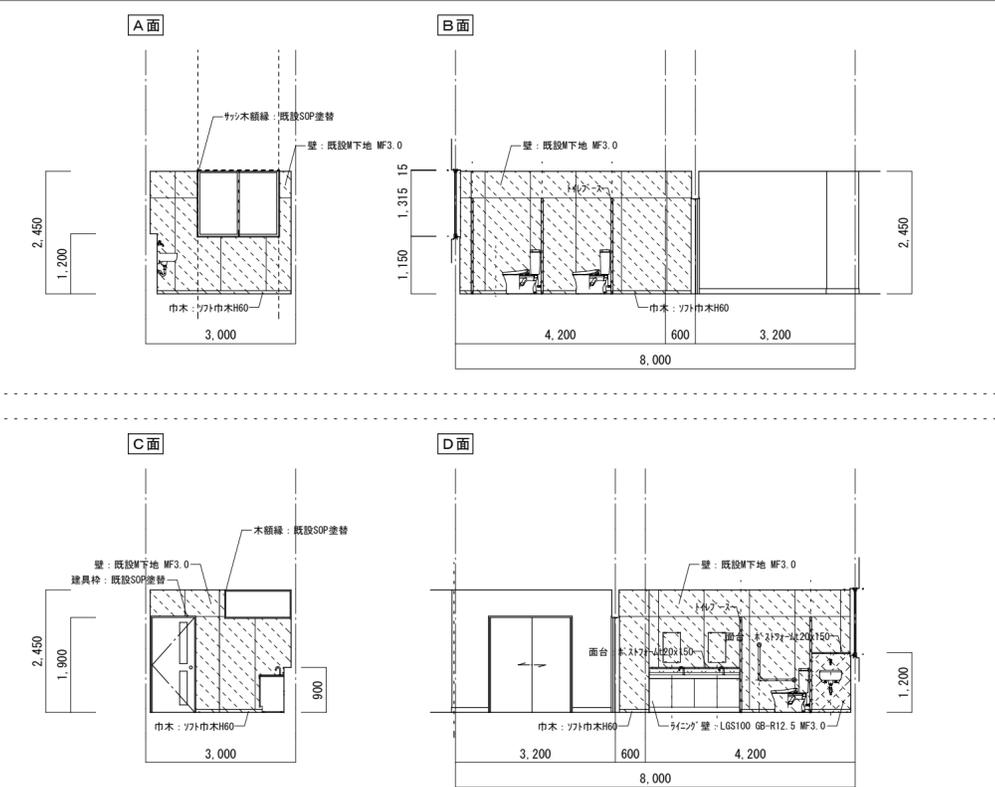


天井伏図 S=1/100

展開図 男子トイレ



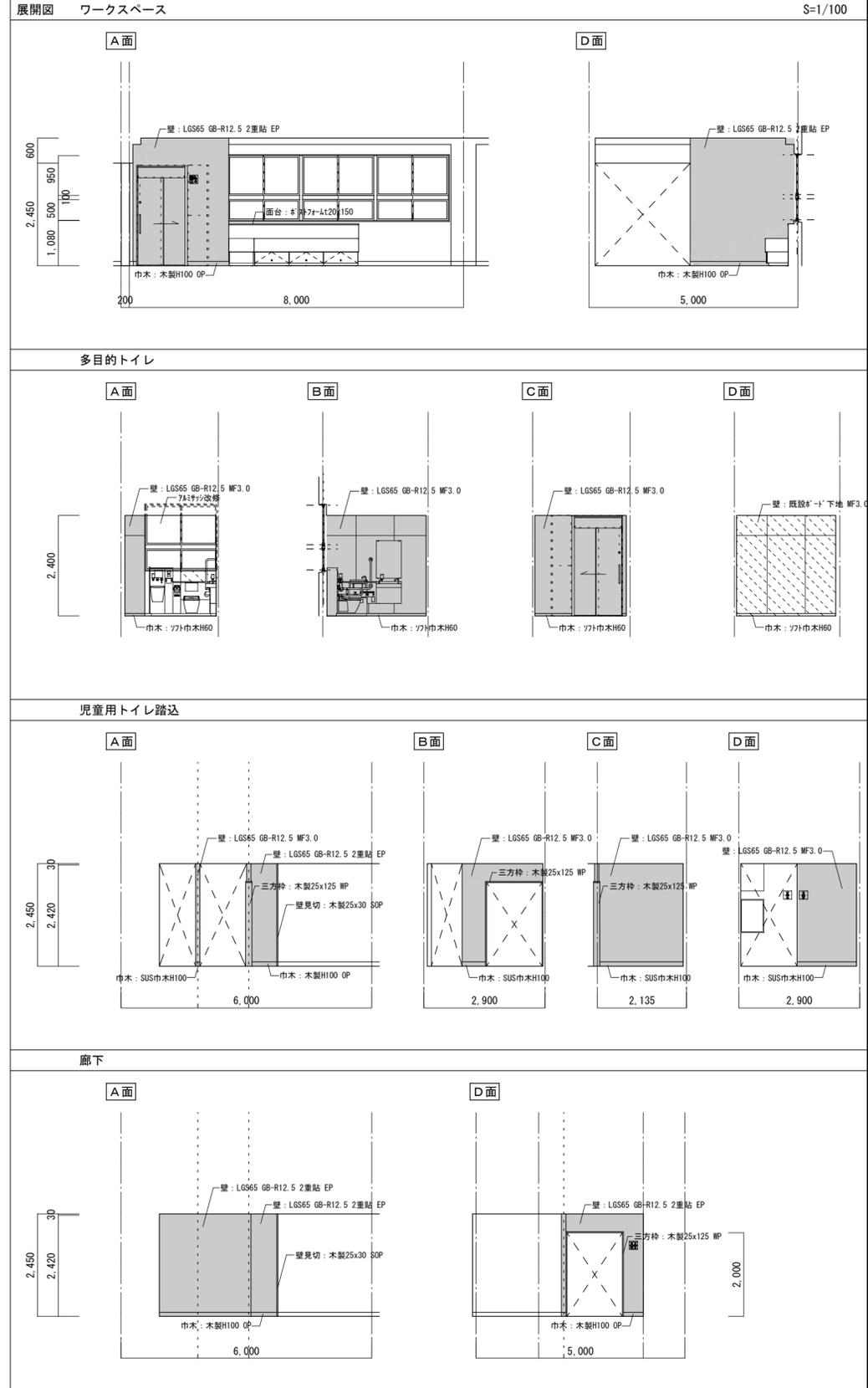
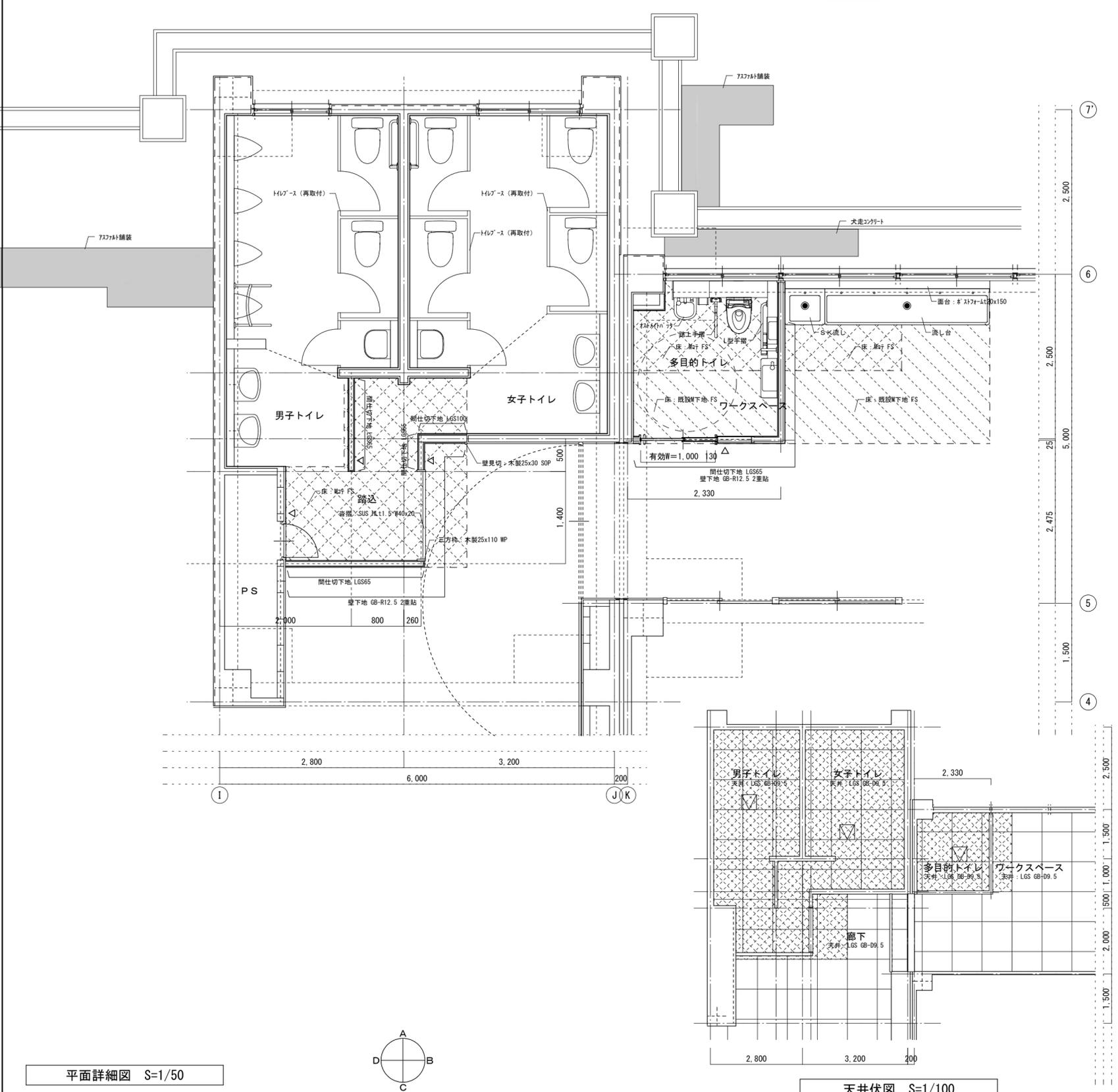
女子トイレ



凡例			
	(改修) 改修範囲を示す: 新設間仕切壁・建具設置等	▼	室名札 亚克力製 250×250 平付タイプ
	(改修) 改修範囲を示す: 床スラブ・土間コンクリート復旧	▽	室名札 亚克力製 200×200 平付タイプ
	(改修) 改修範囲を示す: 仕上・下地共	◇	室名表示 カッティングシート貼 50角/文字程度
	(改修) 改修範囲を示す: 仕上のみ		
			天井点検口 450角 アルミ製 額縁枠 (内外) ※設置位置は監督員と協議の上決定
			天井点検口 600角 アルミ製 額縁枠 (内外) ※設置位置は監督員と協議の上決定
			±0 床高を示す (基準: 各階FL) ※特記なき床高はFL±0

工事名	可児市立兼山小学校トイレ大規模改修工事		
種別	改修後 平面詳細図・展開図 管理特別棟 1階 職員男女トイレ	図面番号	A16 / 29
縮尺	1/50, 100	作成年月	令和 7 年 10 月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		



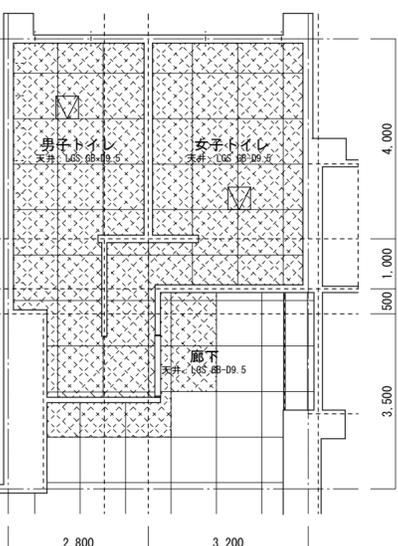
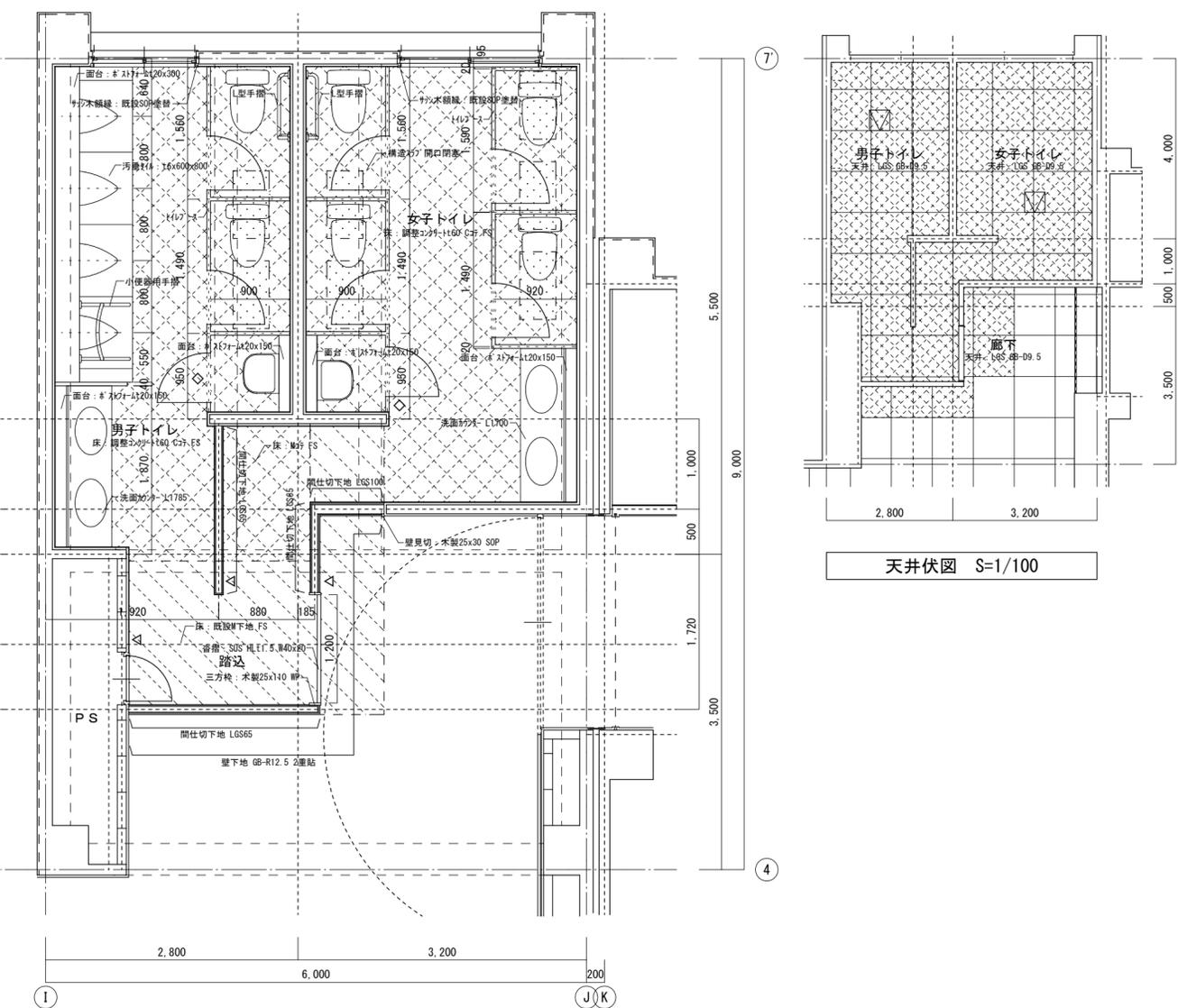


平面詳細図 S=1/50

天井伏図 S=1/100

<p>凡例</p> <p>(改修) 改修範囲を示す: 新設間仕切壁・建具設置等 ▼</p> <p>(改修) 改修範囲を示す: 床スラブ・土間コンクリート復旧 ▽</p> <p>(改修) 改修範囲を示す: 仕上・下地共 ◇</p> <p>(改修) 改修範囲を示す: 仕上のみ</p>		<p>室名札 アクリル製250×250 平付タイプ</p> <p>室名札 アクリル製200×200 平付タイプ</p> <p>室名表示 カッティングシート貼 50角/文字程度</p>	<p>天井点検口 450角 アルミ製 額縁枠(内外) ※設置位置は監督員と協議の上決定</p> <p>天井点検口 600角 アルミ製 額縁枠(内外) ※設置位置は監督員と協議の上決定</p>	<p>±0</p> <p>床高を示す(基準:各階FL) ※特記なき床高はFL±0</p>	<p>工事名 可児市立兼山小学校トイレ大規模改修工事</p> <p>種別 改修後 平面詳細図・展開図 特別普通棟 1階 児童用男女トイレ 図面番号 A18 / 29</p> <p>縮尺 1/50, 100 作成年月 令和7年10月</p> <p>設計者 株式会社 廣建築設備設計 氏名印 一級建築士 第311227号 野内雅仁</p>
--	--	---	---	--	---

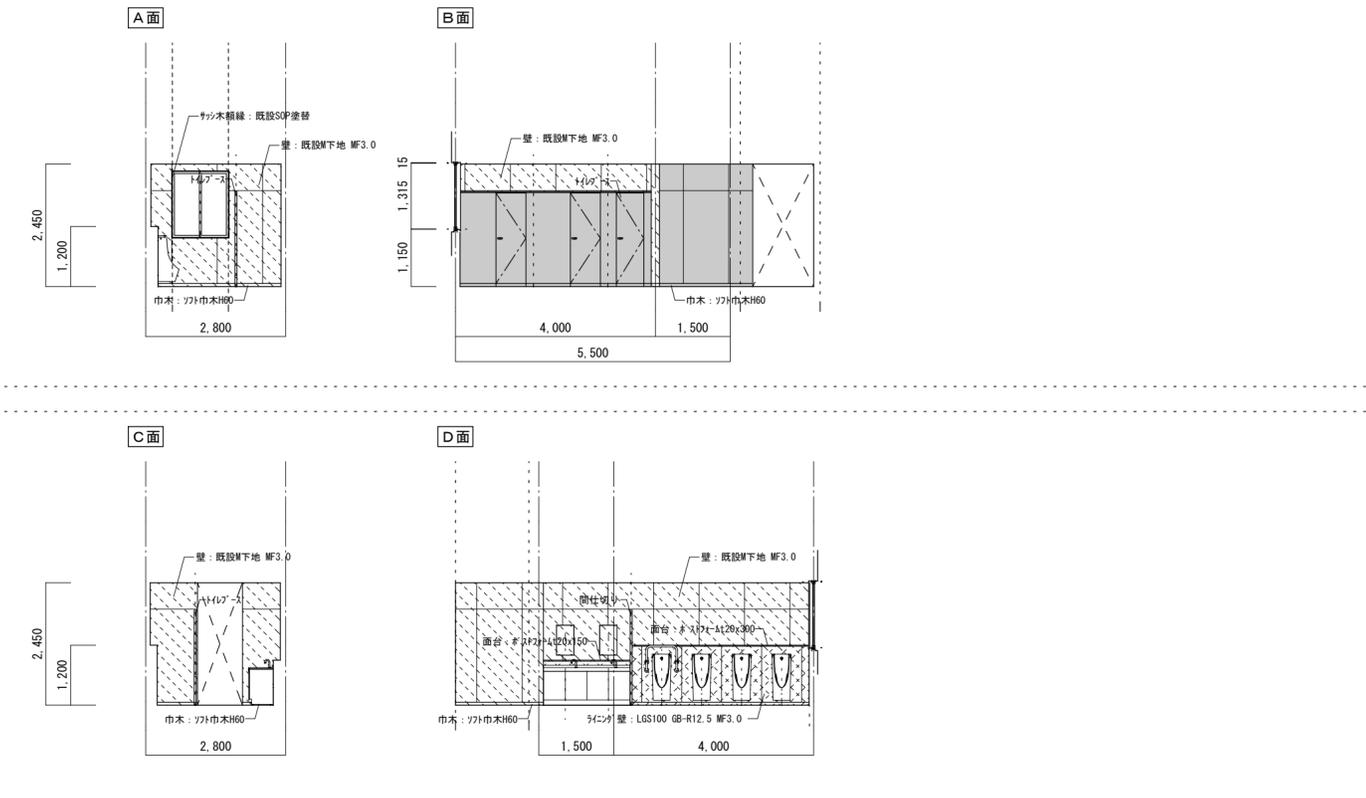




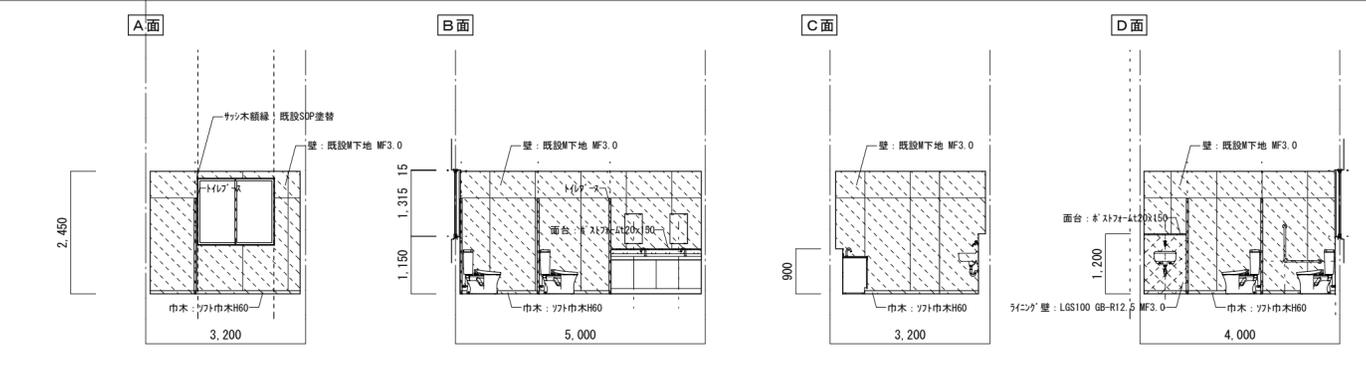
天井伏図 S=1/100

平面詳細図 S=1/50

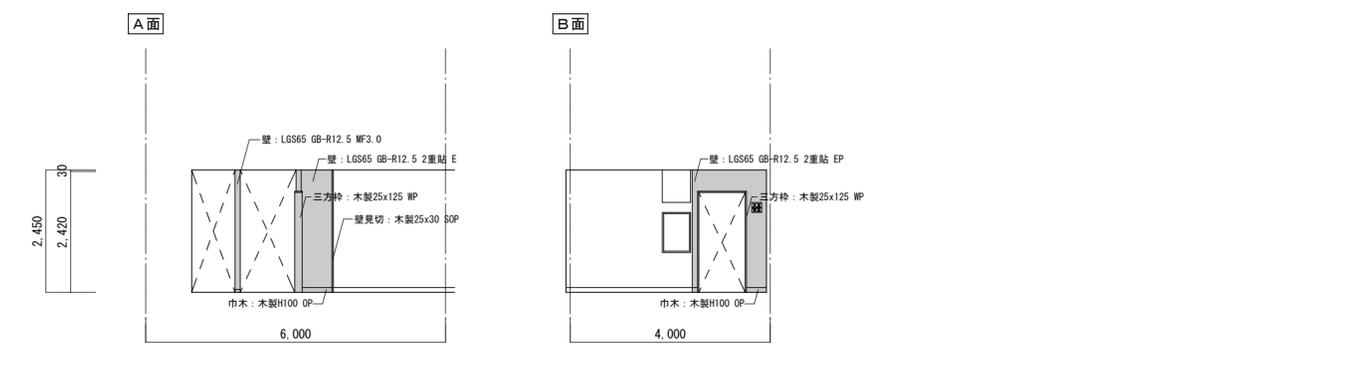
展開図 男子トイレ



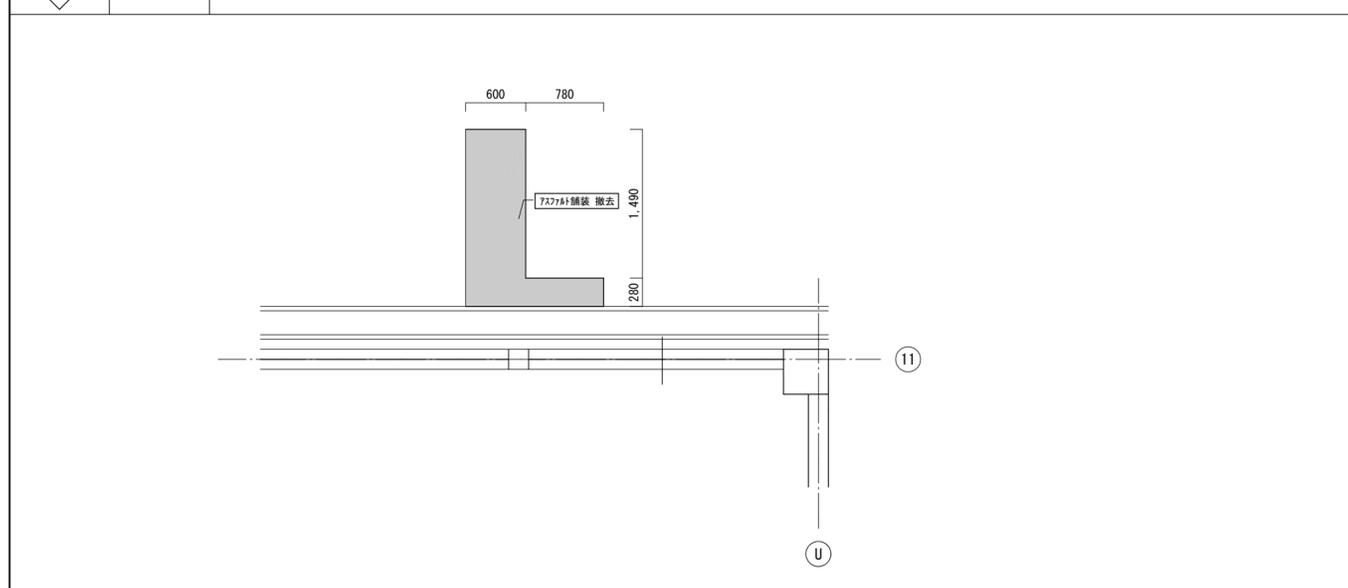
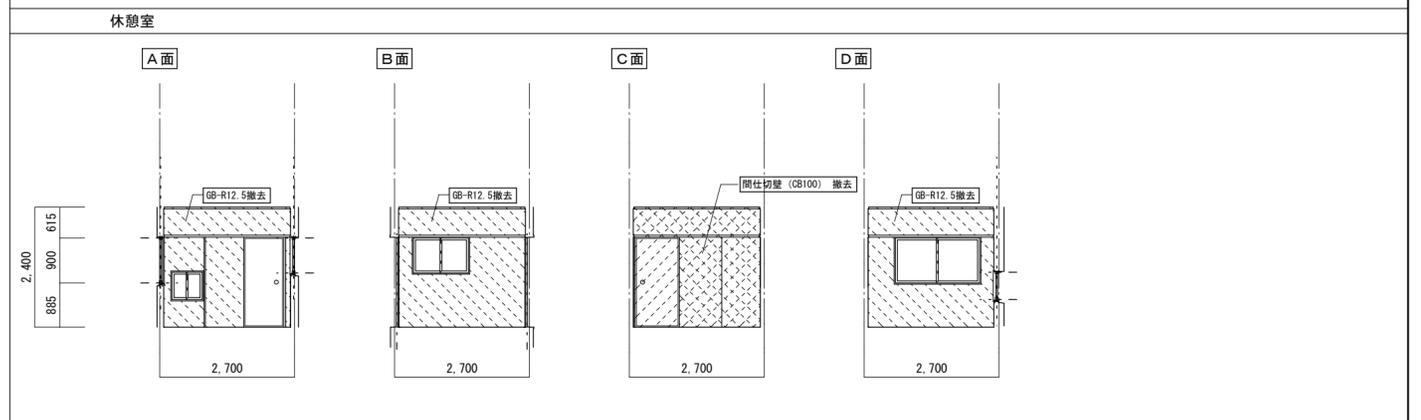
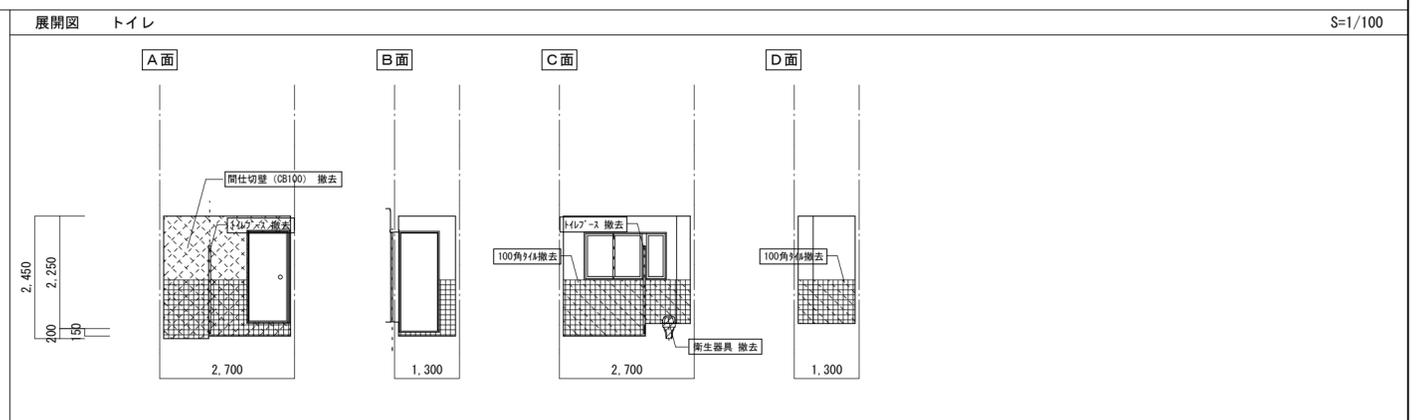
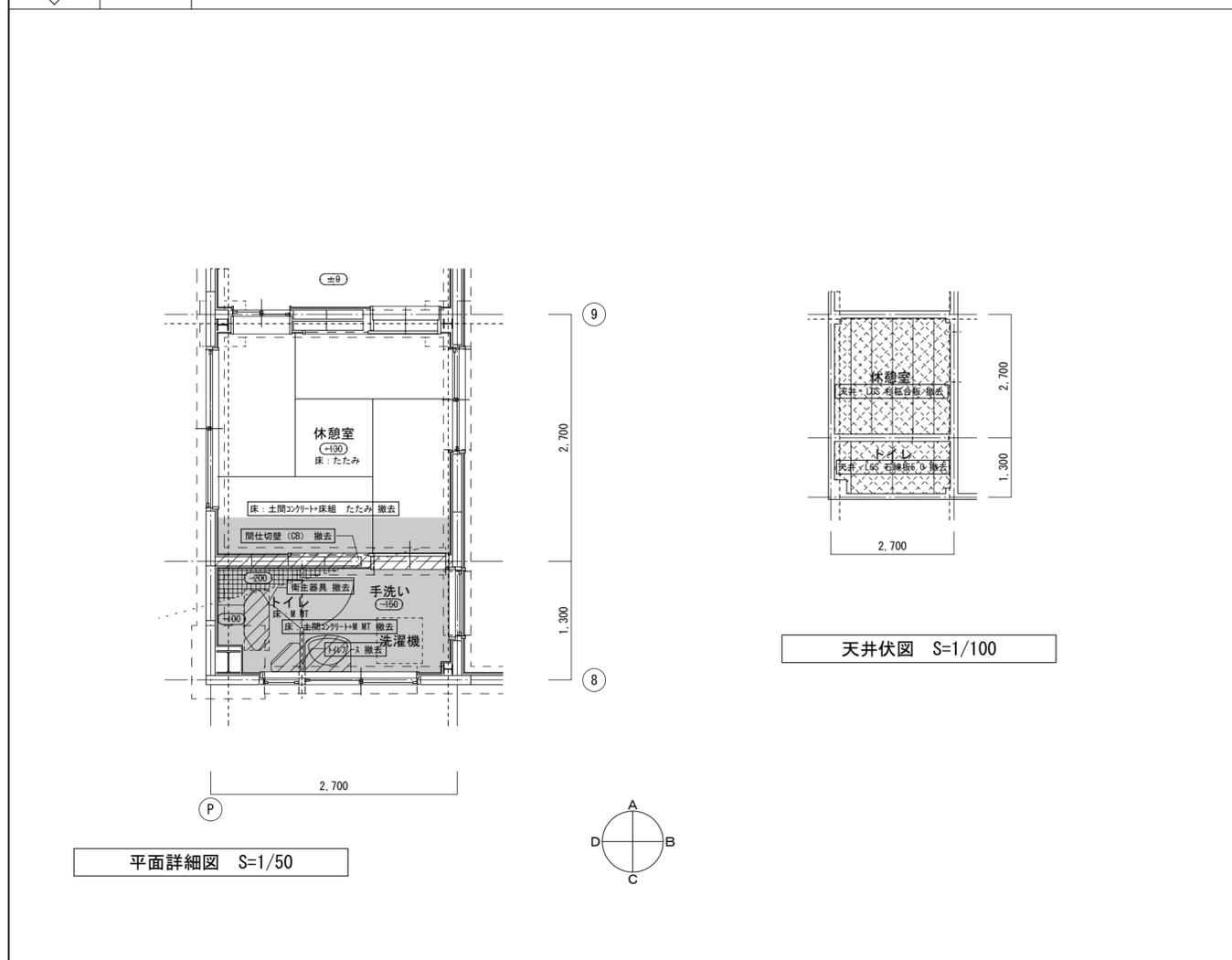
女子トイレ



廊下

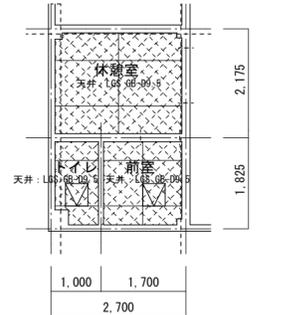
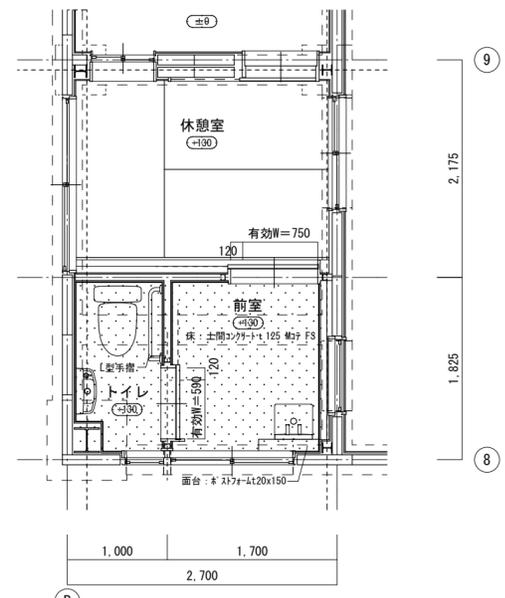


<p>凡例</p> <p>(改修) 改修範囲を示す: 新設間仕切壁・建具設置等</p> <p>(改修) 改修範囲を示す: 床スラブ・土間コンクリート復旧</p> <p>(改修) 改修範囲を示す: 仕上・下地共</p> <p>(改修) 改修範囲を示す: 仕上のみ</p>				<p>室名札</p> <p>▼ アクリル製250×250 平付タイプ</p> <p>▽ 室名札</p> <p>◇ 室名表示</p> <p>カッティングシート貼 50角/文字程度</p>				<p>天井点検口 450角</p> <p>アルミ製 額縁枠 (内外) ※設置位置は監督員と協議の上決定</p> <p>天井点検口 600角</p> <p>アルミ製 額縁枠 (内外) ※設置位置は監督員と協議の上決定</p>				<p>工事名 可児市立兼山小学校トイレ大規模改修工事</p> <p>種別 改修後 平面詳細図・展開図 特別普通棟 2階 児童男女トイレ</p> <p>縮尺 1/50, 100 作成年月 令和7年10月</p> <p>設計者 株式会社 廣建築設備設計</p> <p>氏名印 一級建築士 第311227号 野内雅仁</p>	
				<p>±0</p> <p>床高を示す (基準: 各階F.L.) ※特記なき床高はF.L.±0</p>									



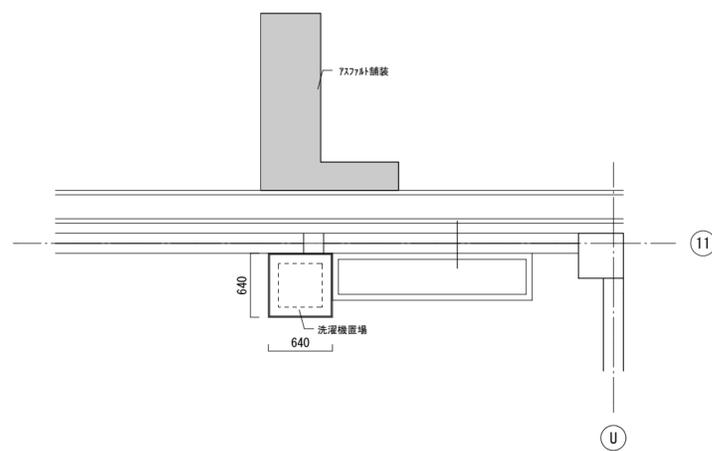
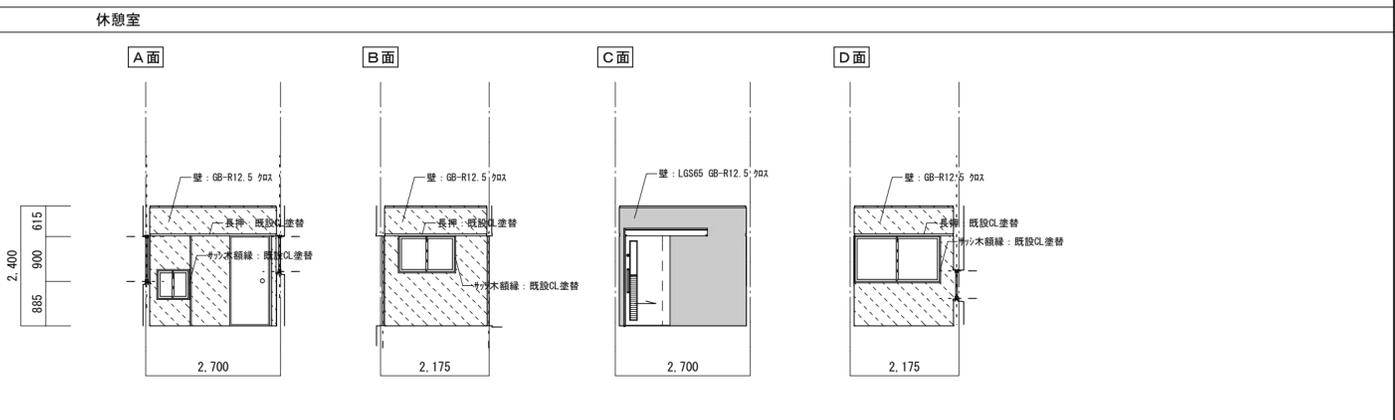
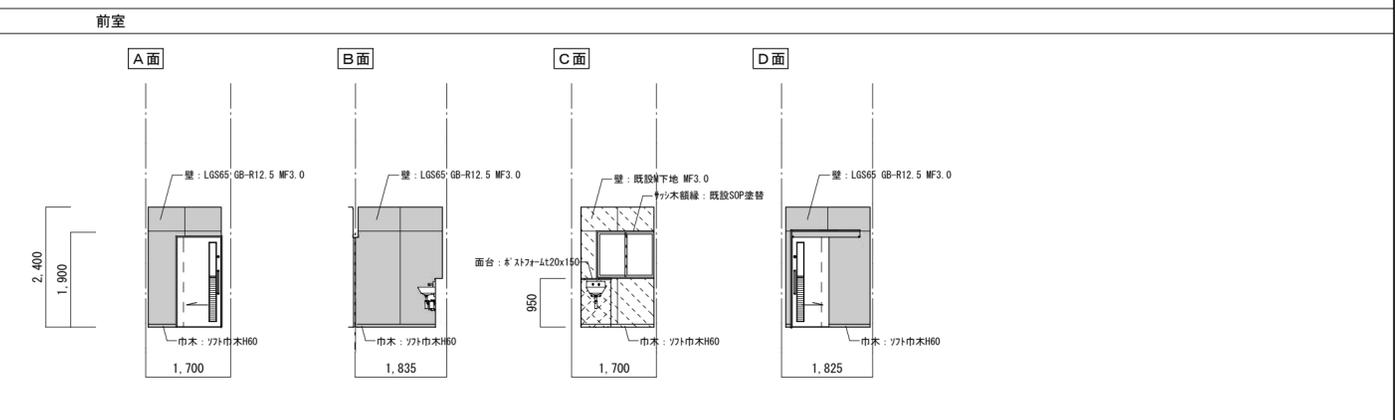
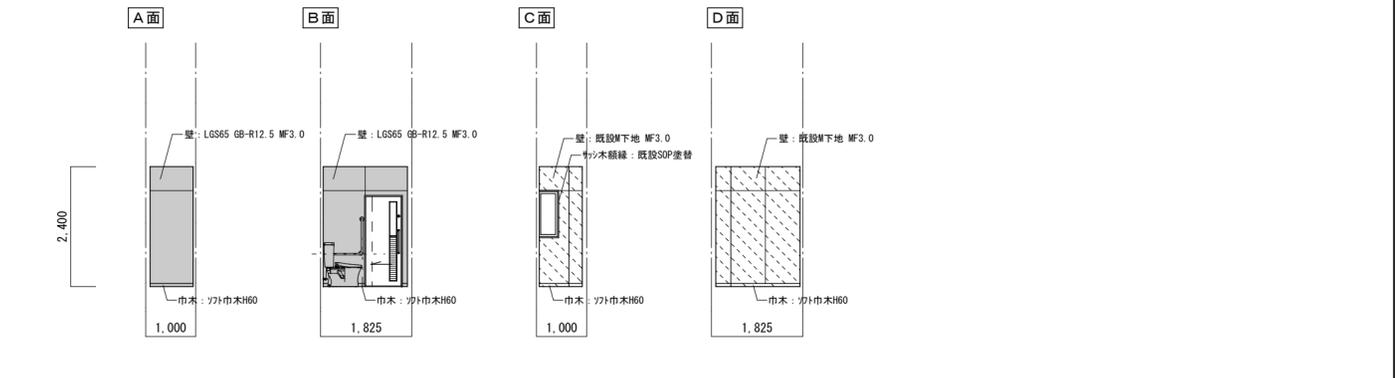
凡例				工事名	可児市立兼山小学校トイレ大規模改造工事		
	(現況) 取壊し・撤去概要を示す		(現況) 撤去範囲を示す: 間仕切壁、建具、衛生器具等	種別	改修前 平面詳細図・展開図 給食棟 トイレ・休憩室・給食室	図面番号	A21 / 29
	(現況) 取外し・撤去概要を示す ※再使用品		(現況) 取外し・撤去範囲を示す: 建具、衛生器具等 ※再使用品	縮尺	1/50, 100	作成年月	令和 7 年 10 月
	(現況) 撤去範囲を示す: 床スラブ・土間コンクリート		(現況) 部分撤去範囲を示す: 仕上・下地共	設計者	株式会社 廣建築設備設計		
	(現況) 部分撤去範囲を示す: 仕上のみ		(現況) 部分撤去範囲を示す: 仕上のみ	氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		

±0 床高を示す (基準: 各階 F.L.)  
※特記なき床高は F.L. ± 0



天井伏図 S=1/100

平面詳細図 S=1/50

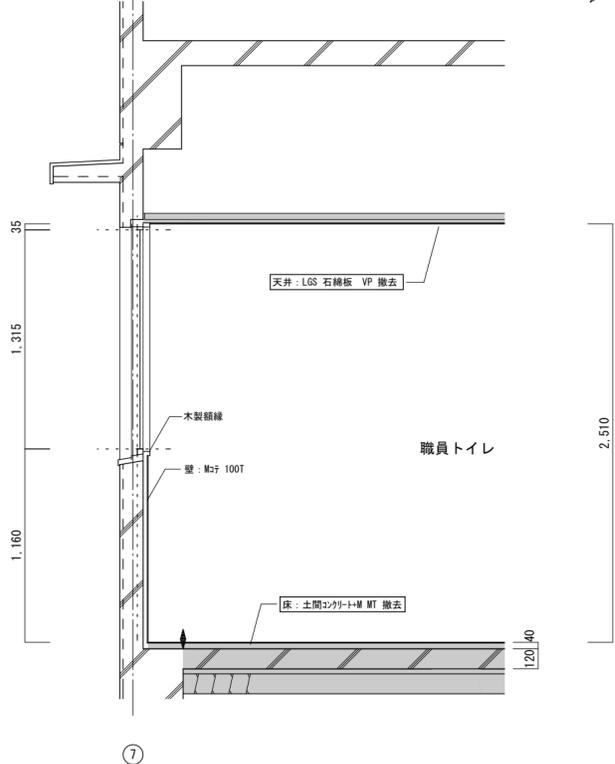


凡例				工事名		可児市立兼山小学校トイレ大規模改造工事	
	(改修) 改修範囲を示す: 新設間仕切壁・建具設置等	▼	室名札 アクリル製250×250 平付タイプ		天井点検口 450角 アルミ製 額縁枠 (内外) ※設置位置は監督員と協議の上決定		種別
	(改修) 改修範囲を示す: 床スラブ・土間コンクリート復旧	▽	室名札 アクリル製200×200 平付タイプ		天井点検口 600角 アルミ製 額縁枠 (内外) ※設置位置は監督員と協議の上決定		改修後 平面詳細図・展開図 給食棟 トイレ・休憩室・給食室
	(改修) 改修範囲を示す: 仕上・下地共	◇	室名表示 カッティングシート貼 50角/文字程度				図面番号 A22 / 29
	(改修) 改修範囲を示す: 仕上のみ						縮尺 1/50,100 作成年月 令和7年10月
							設計者 株式会社 廣建築設備設計 氏名印 一級建築士 第311227号 野内雅仁
							縮尺 1/50,100 作成年月 令和7年10月
							設計者 株式会社 廣建築設備設計 氏名印 一級建築士 第311227号 野内雅仁

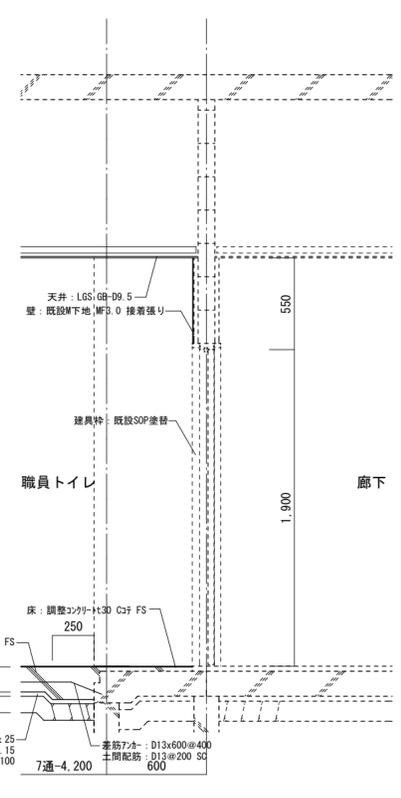
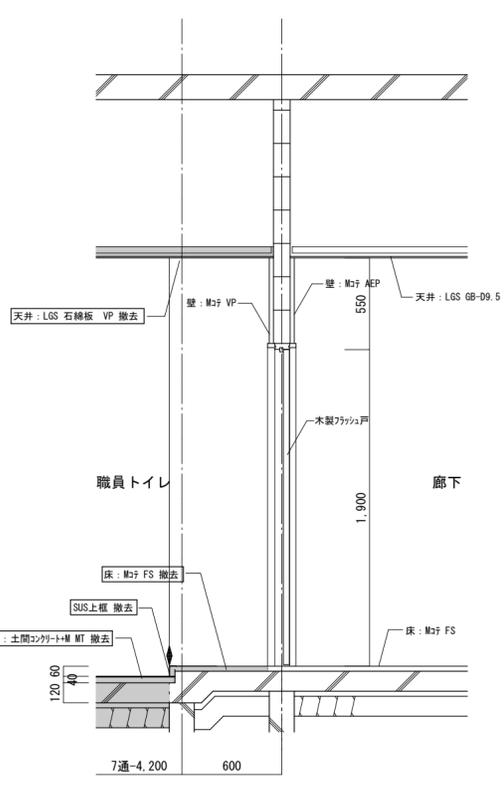
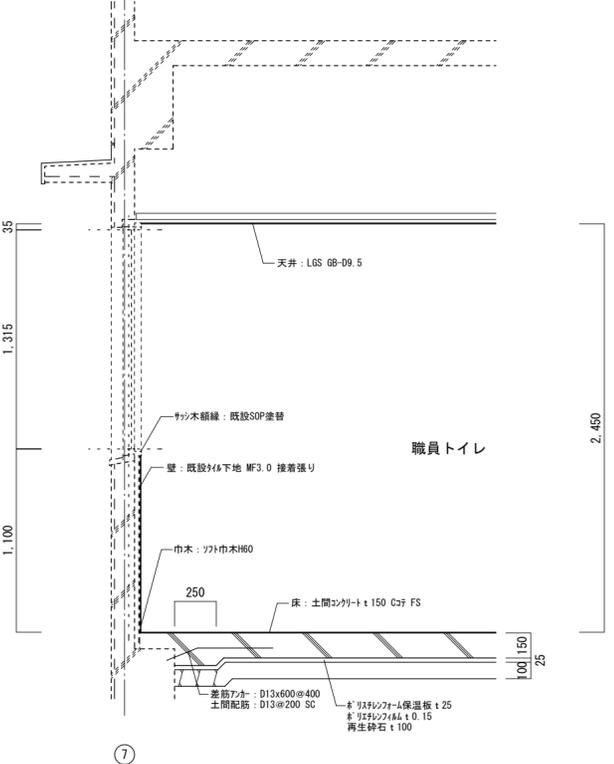


管理・特別教室棟 1階 職員-男女トイレ

改修前

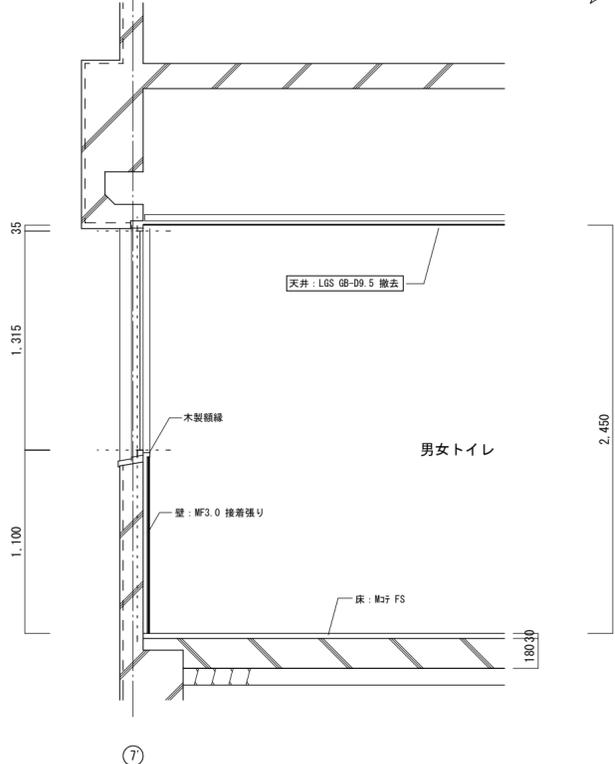


改修後

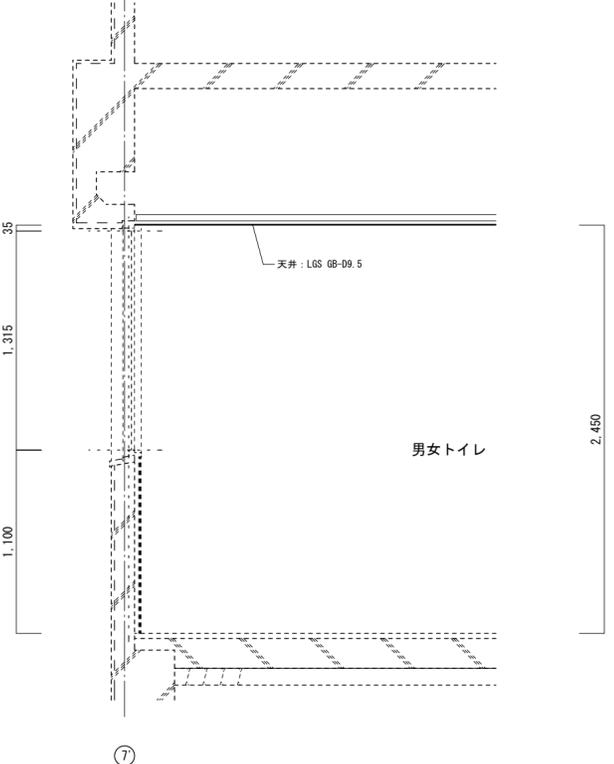


特別・普通教室棟 1階 児童-男女トイレ

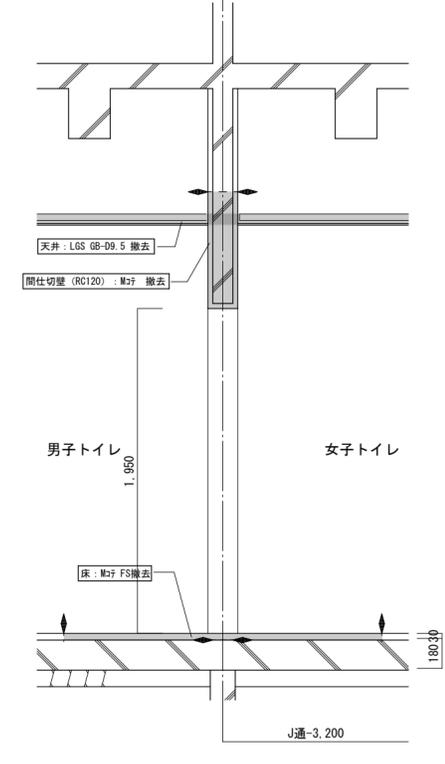
改修前



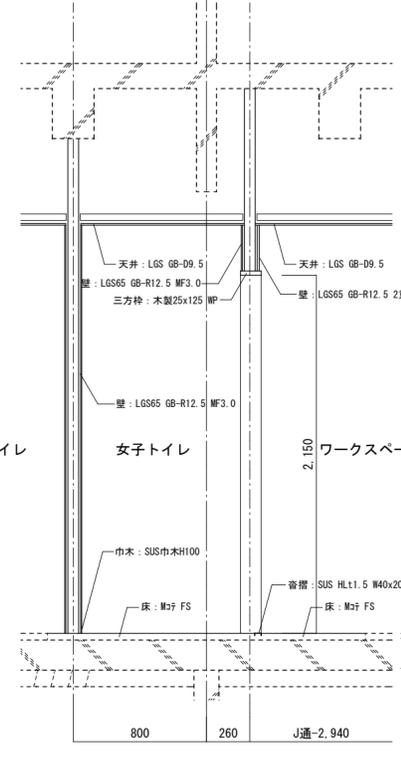
改修後



改修前



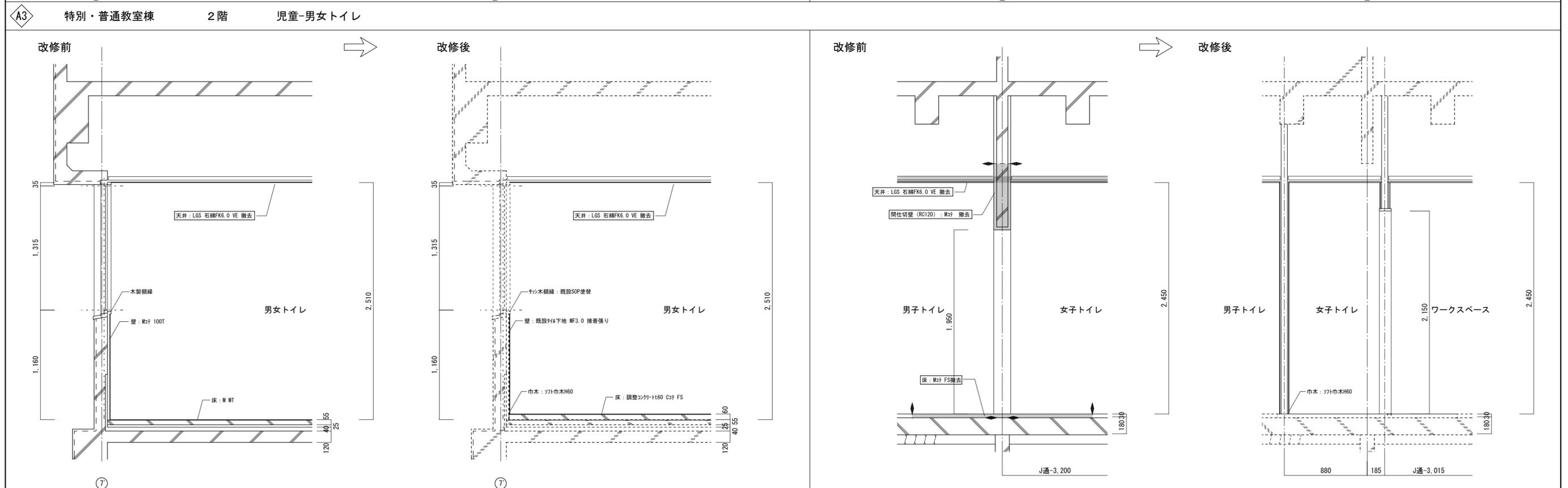
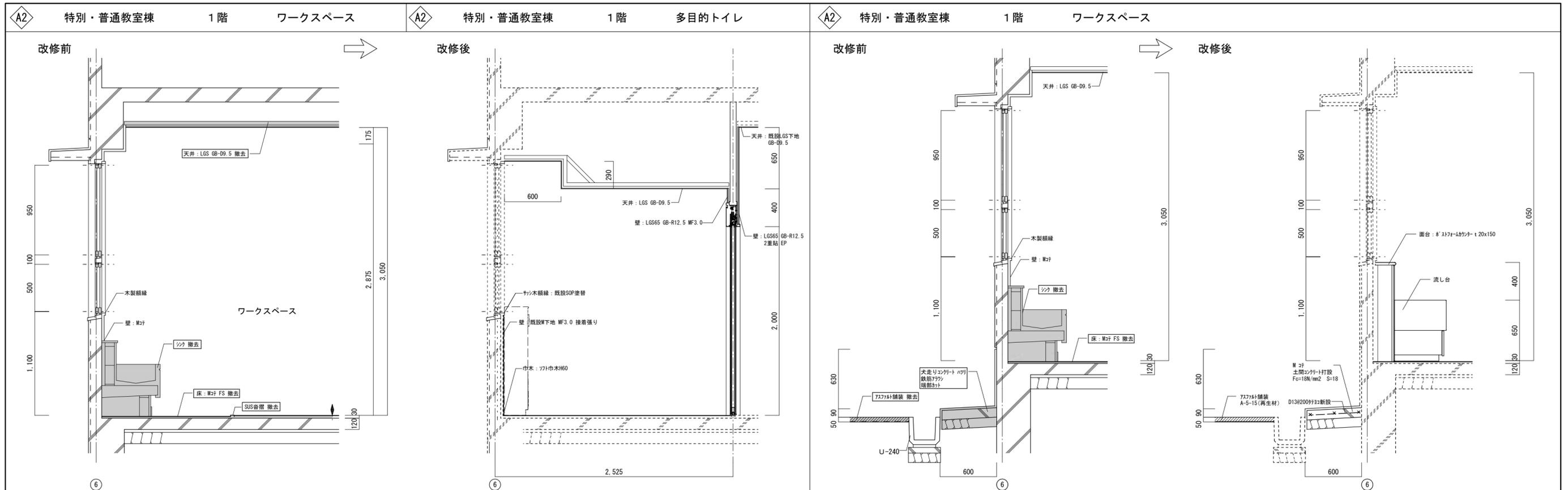
改修後



凡例

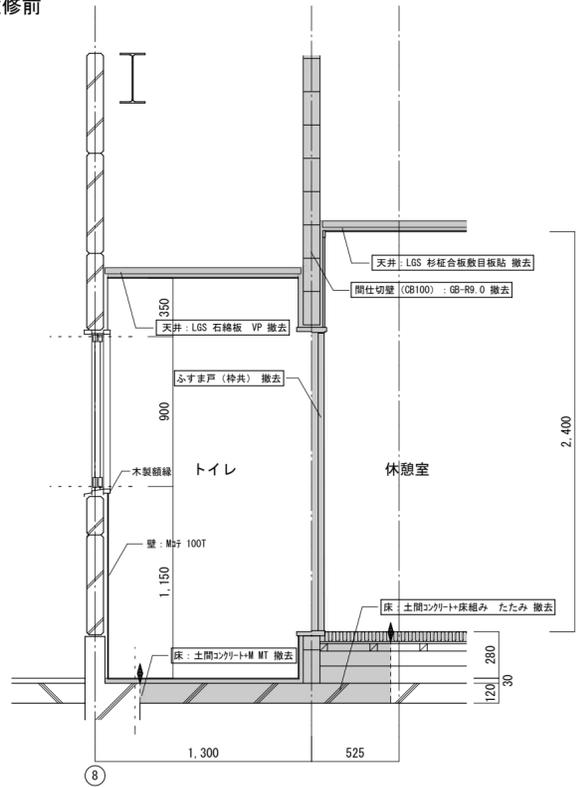
	(現況) 取壊し・撤去概要を示す		(改修) 既設部分を示す
	(現況) 撤去範囲を示す		(改修) シーリングを示す
	(現況) カッター入れを示す		

工事名	可児市立兼山小学校トイレ大規模改修工事		
種別	各部詳細図-1	図面番号	A24 / 29
縮尺	1/30	作成年月	令和 7 年 10 月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		

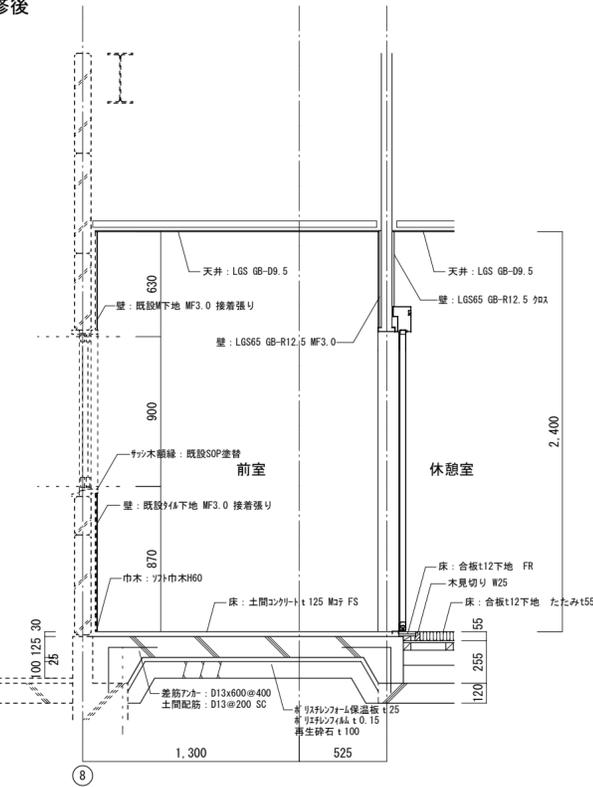


凡例			
	(現況) 取壊し・撤去概要を示す		(改修) 既設部分を示す
	(現況) 撤去範囲を示す		(改修) シーリングを示す
	(現況) カッター入れを示す		
工事名		可児市立兼山小学校トイレ大規模改修工事	
種別	各部詳細図-2	図面番号	A25 / 29
縮尺	1/30	作成年月	令和 7 年 10 月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		

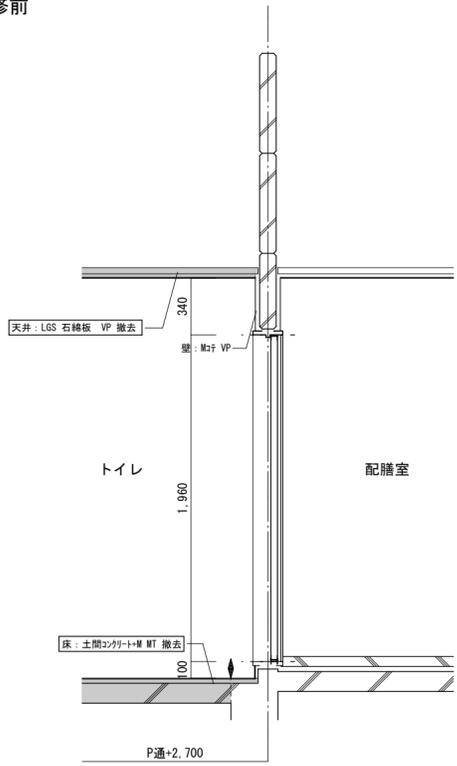
改修前



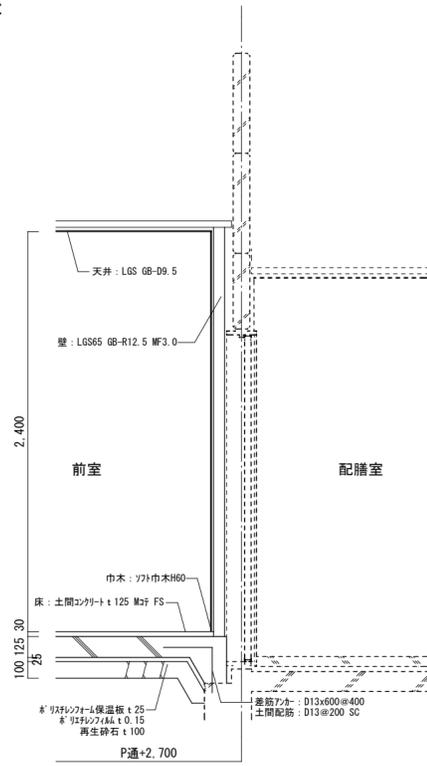
改修後



改修前

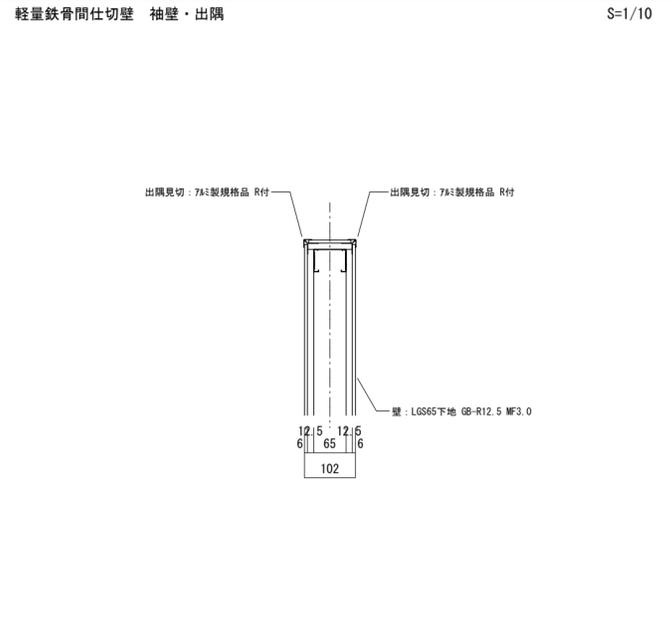
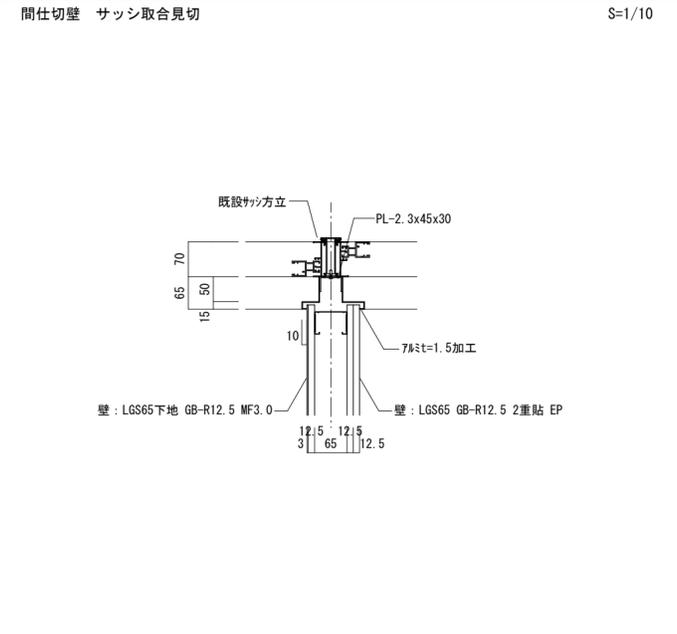
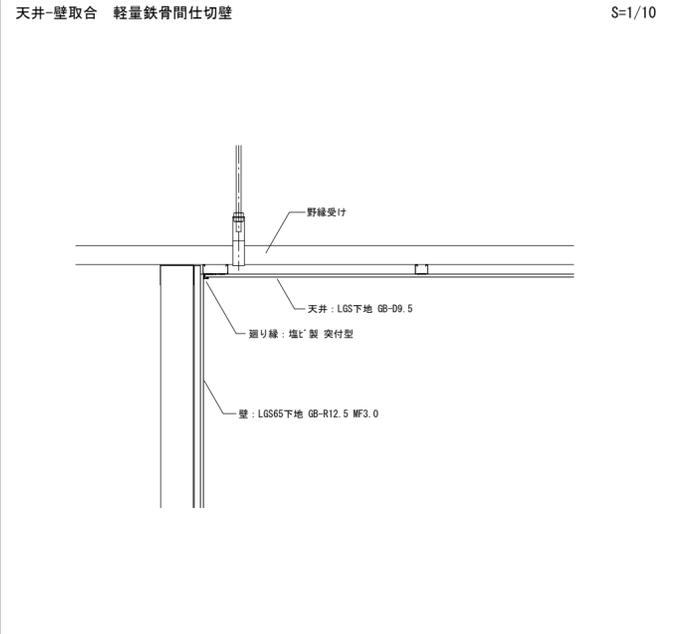
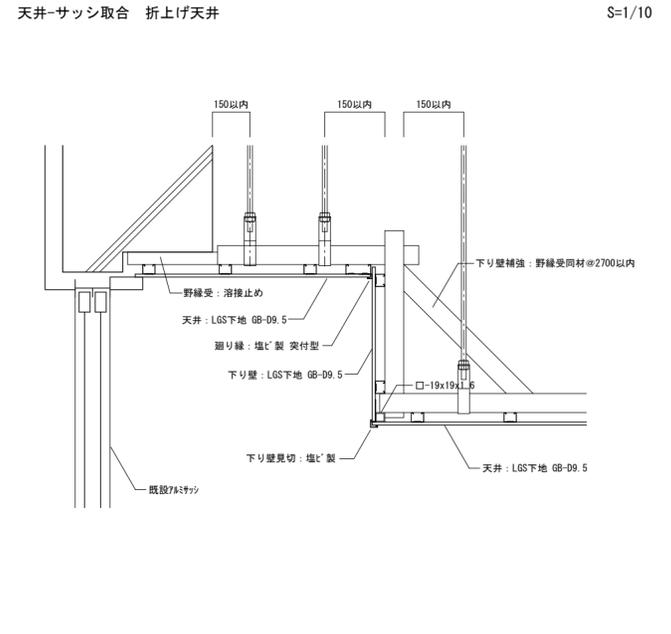
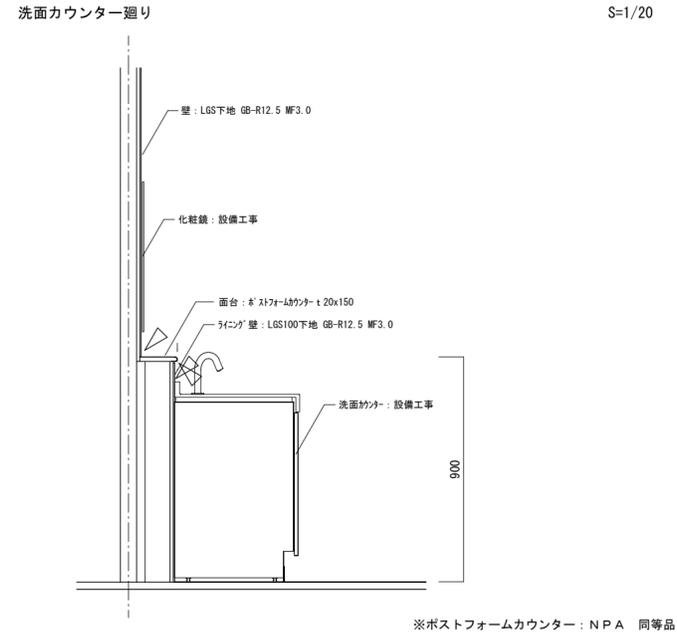
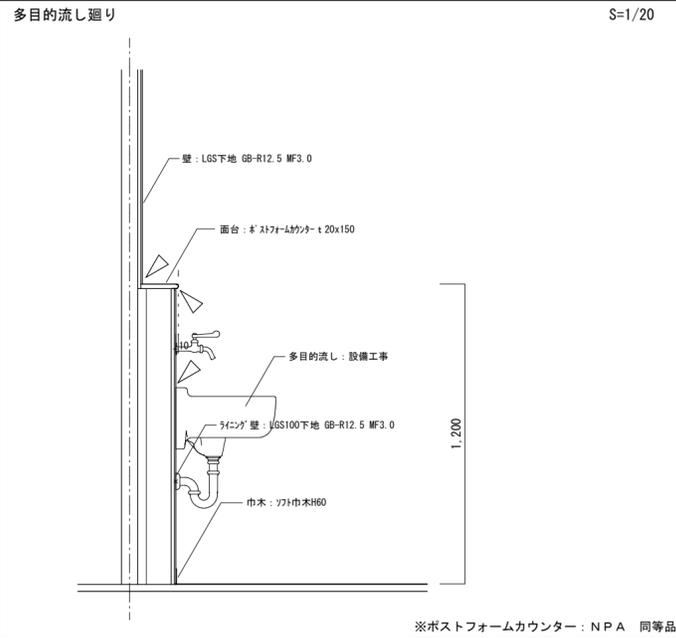
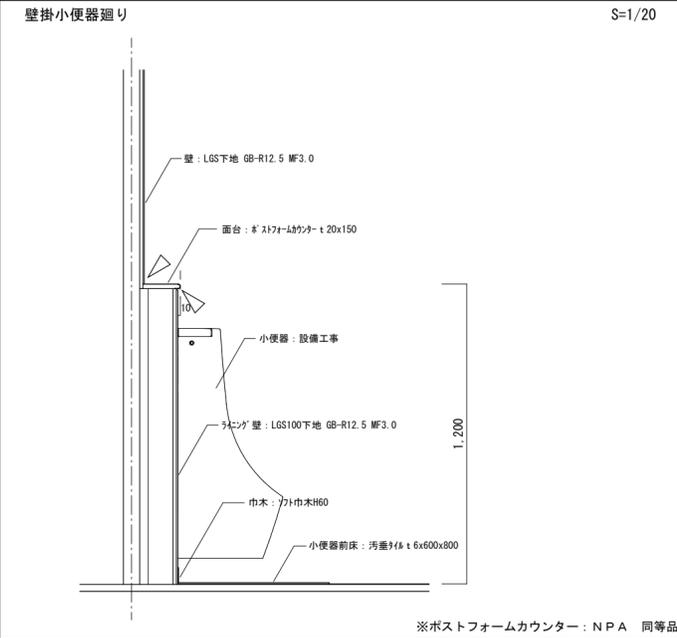
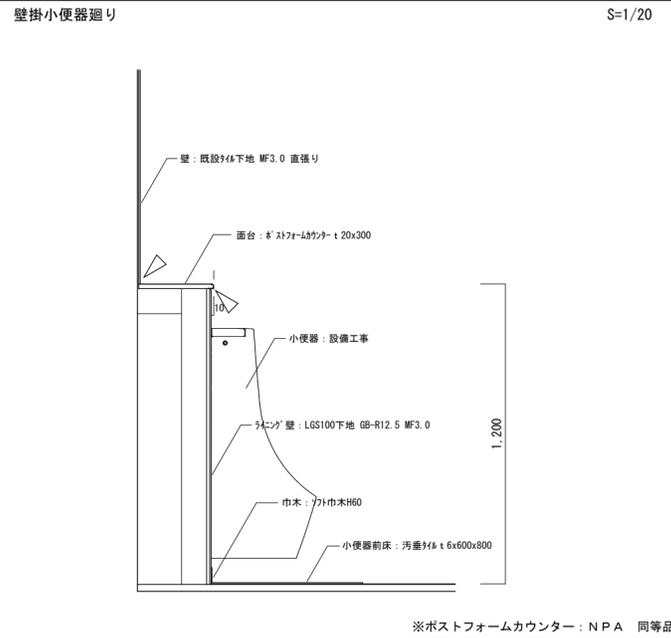
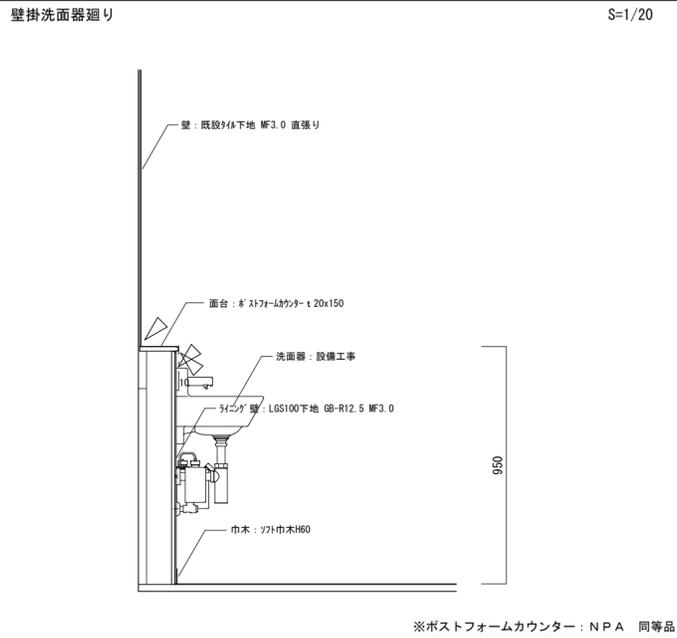


改修後



凡例				工事名	可児市立兼山小学校トイレ大規模改造工事		
○○○○	(現況) 取壊し・撤去概要を示す	-----	(改修) 既設部分を示す	種別	各部詳細図-3	図面番号	A26 / 29
■	(現況) 撤去範囲を示す	▽	(改修) シーリングを示す	縮尺	1/30	作成年月	令和 7 年 10 月
↑	(現況) カッター入れを示す			設計者	株式会社 廣建築設備設計		
				氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		

各部詳細図

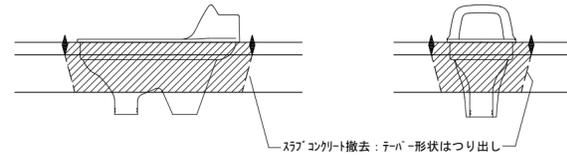
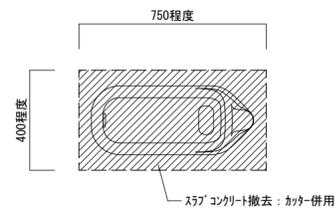


工事名	可児市立兼山小学校トイレ大規模改造工事		
種別	各部詳細図-4	図面番号	A27 / 29
縮尺	1/10, 20	作成年月	令和 7 年 10 月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		

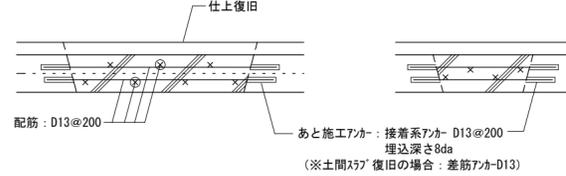
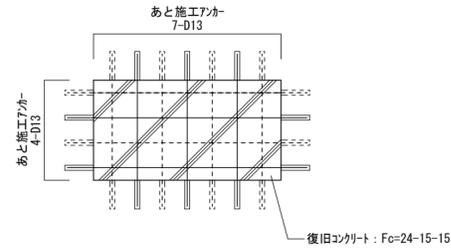
和便器開口閉塞要領

S=1/20

改修前



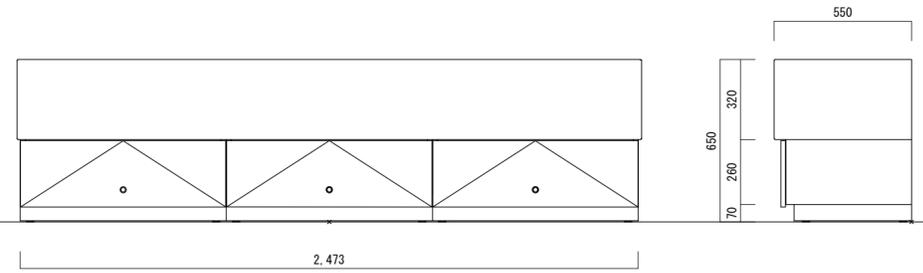
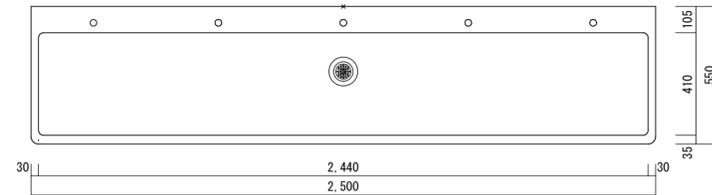
改修後



(※土間スリット 復旧の場合：差筋アール-D13)

流し台

S=1/20

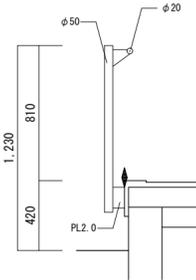
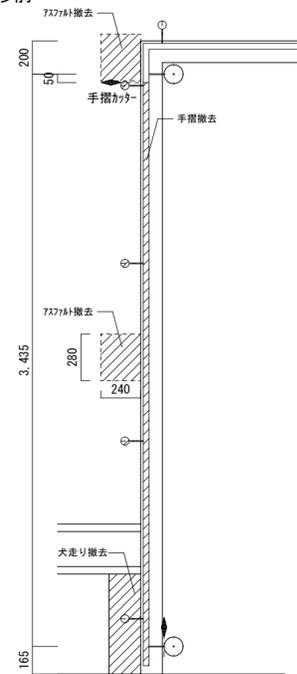


名称	材質・仕様
作業天板	アクリル系人工大理石製
流し	アクリル系人工大理石製 大型排水トラップ (ゴミカゴ付)
外装	ポリエステル樹脂合板
扉	t20 ポリエステル樹脂合板 ケンドン式 木口：樹脂エッジ (ABS樹脂)
給水栓	回転規制機能付立水栓

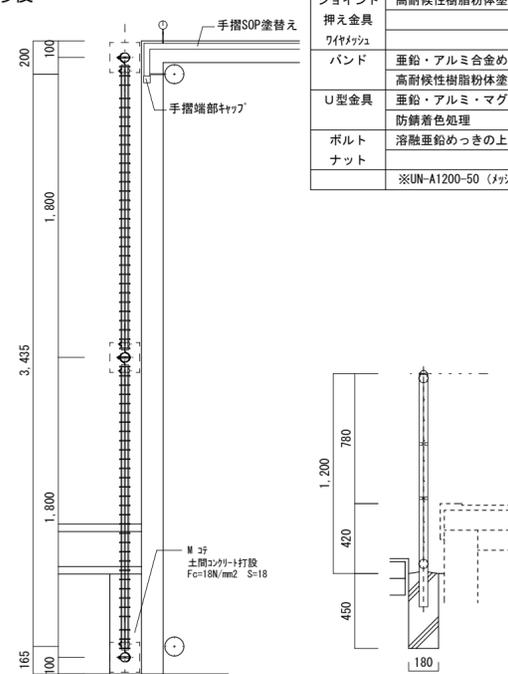
B2 手摺部

S=1/30

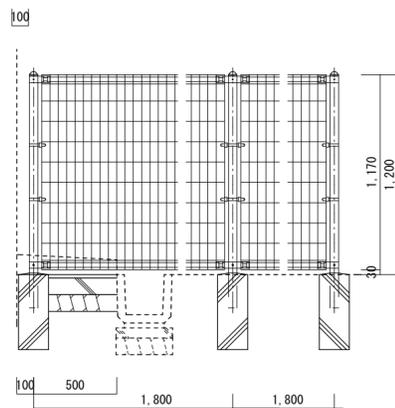
改修前



改修後

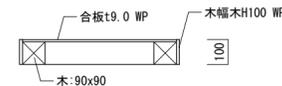
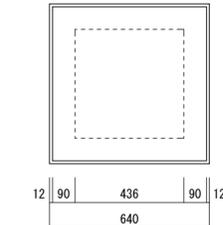


名称	材質・仕様
主柱	亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上
ジョイント	高耐候性樹脂粉末塗装
押え金具	ワザメッシュ
バンド	亜鉛・アルミ合金めっきの上 高耐候性樹脂粉末塗装
U型金具	亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上 防錆着色処理
ボルト	溶融亜鉛めっきの上防錆着色処理
ナット	
	※UN-A1200-50 (メッシュメス) 同等品



B3 洗濯機置き場

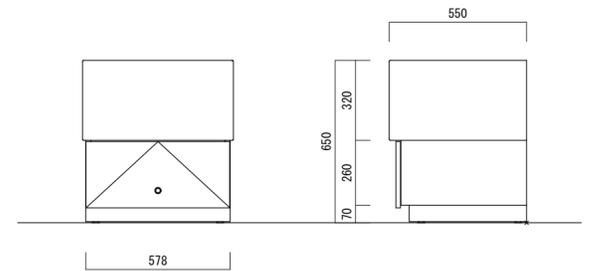
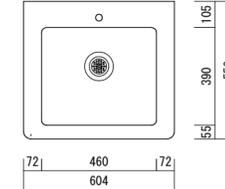
S=1/20



S=1/20

SK流し

名称	材質・仕様
作業天板	アクリル系人工大理石製
流し	ステンレス304 t1.0 大型排水トラップ (ゴミカゴ付)
外装	ポリエステル樹脂合板
扉	t20 ポリエステル樹脂合板 ケンドン式 木口：樹脂エッジ (ABS樹脂)
給水栓	回転規制機能付立水栓



工事名	可見市立兼山小学校トイレ大規模改修工事		
種別	各部詳細図-5	図面番号	A28 / 29
縮尺	1/10,20	作成年月	令和7年10月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		

室名札 S=1/5

名称	材質・仕様
フレーム	アルミ型材 アルマイト仕上
表示基板	アクリル板 t5.0
表示方法	UV印刷
※FA250-SV (正面型) 同等品	

※表示内容・取付位置は監督員と協議の上決定

室名札 S=1/5

名称	材質・仕様
フレーム	アルミ型材 アルマイト仕上
表示基板	アクリル板 t5.0
表示方法	UV印刷
※FA200-SV (正面型) 同等品	

※表示内容・取付位置は監督員と協議の上決定

室名表示 S=1/5

名称	材質・仕様
表示	カッティングシート切文字貼
※表示内容・取付位置は監督員と協議の上決定	

※表示内容・取付位置は監督員と協議の上決定

サイン姿図 S=1/5

案内図 男子便所

案内図 女子便所

案内図 多目的トイレ

案内図 室名札

室名札仕様  
 本体：アクリル板 厚5.0 つや消し  
 表示：インクジェット印刷  
 枠材：アルミ型材 (シルバー)  
 ※表示する案内用図記号はJIS Z 8210による。  
 ※案内用図記号の色彩はJIS Z 9101-1995による。  
 ※多目的トイレ用の表示マークは設置する設備による。

※表示内容・取付位置は監督員と協議の上決定

工事名	可児市立兼山小学校トイレ大規模改造工事		
種別	各部詳細図-6	図面番号	A29 / 29
縮尺	1/5	作成年月	令和 7 年 10 月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		

電気設備工事特記仕様書				
<h2>I. 工事概要</h2>				
1	工事名称	可児市立兼山小学校トイレ大規模改造工事		
2	工事場所	可児市兼山1444-1		
3	建物概要			
	建物名称	管理・特別教室棟	特別・普通教室棟	給食棟
	施設台帳棟番号	⑦	⑩	⑧
	構造・階数	RC造2階建	RC造2階建	S造平屋建
	延面積	2,237㎡		499.68㎡
	消防法施行令(別表第一)	7項	7項	7項

- 4 工事項目 (○印の付いたものを適用する)

建物別及び屋外工事種目	工事種別				備考
	管理・特別教室棟	特別・普通教室棟	給食棟	屋内運動場	
・受変電設備					
・幹線設備					
・動力設備					
○電灯設備	改修	改修	改修		
○コンセント設備	改修	改修	改修		
・構内情報通信網					
・構内交換設備					
・情報表示設備					
・映像・音響設備					
・拡声設備					
・テレビ共同受信設備					
・監視カメラ設備					
・防犯・入退室管理設備					
・自動火災報知設備					
・雷保護設備					
・ブラインド電源設備					

- 5 別途工事
- 建築工事
  - 機械設備工事


## II. 工事仕様

1. 共通仕様 (○印のみ適用する)
- 特記仕様及び図面に記載なき事項は、全て下記仕様による。
- 工事請負契約書
  - 公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)最新版 (国土交通大臣官房官庁宮繕部監修)
  - 公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)最新版 (国土交通大臣官房官庁宮繕部監修)
  - 公共建築改修工事標準仕様書 最新版 (国土交通大臣官房官庁宮繕部監修)
  - ・公共住宅建設工事共通仕様書最新版 (公共住宅事業者等連絡協議会監修)
  - 可児市建築工事共通仕様書 最新版 (可児市)
  - 内線規程 最新版 (電気技術基準調査委員会編集)
  - 放送機器、通信機器、その他弱電機器等の仕様は、各機材メーカー標準と読み替える。
2. 特記仕様 (項目は番号に○印記入のもの。選択式の特記事項は○印のみ摘要する)

項目	特記事項
① 適用範囲(1)	この特記仕様書、図面及び現場説明書(質疑応答書を含む)に記載されていない事項は全て国土交通大臣官房官庁宮繕部監修の公共建築工事標準仕様書(最新版)、公共建築改修工事標準仕様書(最新版)による。設計図書間等に相違がある場合の優先順位は下記の通りとする。1) 質疑応答書 2) 現場説明書 3) 工事仕様書 4) 標準特記仕様書(添付された場合に限る) 5) 図面 6) 公共建築改修工事標準仕様書 7) 公共建築工事標準仕様書 8) 可児市建築工事共通仕様書
② 適用範囲(2)	本工事に係る法律、政令、省令、告示、条令、各地方公共団体の内規基準、指針、指導等に準拠する。
③ 法規等の事項	受注者は、公共建築工事標準仕様書に基づき施工するものとする。公共建築工事標準仕様書第1編第1章1-1-4工事実績情報の登録により、工事受注代金額500万円以の工事について「CORINS」を作成、登録することとする○
④ 工事実績情報の作成・登録	手続きの流れは別紙のとおりとする。
⑤ 提出書類	本工事の施工に関して提出書類は、可児市建築工事における取扱い書類一覧に基づき作成し提出または提示とする。また、工事着工時に工事用製本(A3二つ折り)3部を提出とする。
⑥ 完成時の提出書類	工事完成時には可児市建築工事における取扱い書類一覧に基づき書類を整理し完成図書としてまとめ監督員に提出とする。完成図は施工図も含め完成製本(A2二つ折り、A3二つ折り)各2部提出とする。また、CADデーター(JWW又はDXF及びPDF)を提出とする。
⑦ 工事書類の簡素化	提出・指示書類は可児市建築工事における取扱い書類一覧に基づき実施するものとする。また、工事打合簿(指示・協議・承諾は除く)、材料確認簿、段階確認簿、確認・立会願、夜間・休日作業届の書類を提出する場合は、所定様式に基づき電子メールにて提出するものとし、書面には署名又は押印する必要は無いものとする。これらに定めない事項については、監督員と協議とする。
⑧ 事故報告	工事施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督員に通報するとともに、事故発生報告書を監督員に提出する。
9 建設工事保健(火災保険含む)	工事にあたり建設工事保険または相当する保険に加入し、加入を証する書面の写しを工事着手後14日以内に提出すること。加入期間は工事着手より、完成検査引渡しまでの期間を満足すること。
10 損害保険	工事中出来高部分と工事現場に搬入した工事材料・建築設備の機器などに火災保険または建設工事保険を付し、その証巻の写しを監督職員に提出する。
⑪ 質 疑	本工事の設計図書に関する質疑は、工事着手前に確かめておかなければならない。設計図書に記載がなくとも、外観上、構造工、当然必要と認められるものは、監督員の指示に従い施工しなければならない。建築主の希望、その他により設計変更が生じる時は、原則として当該工事の見積書を予め提出し、承認を受けた後変更工事に着手する。尚この場合の見積単価については契約時のものとする。但し、本工事施工において工術上必要な微細なる工事変更については、監督員の指示に従い受注者の工事費負担により施工する。
⑫ 設計変更	現場の納まり、取り合い等の関係による協議の中で、形状、寸法等の軽微な変更は、監督員の指示による。なお、この場合の請負金額の変更は行わない
⑬ 実施状況の提出について	受注者は、工事施工において自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は地域社会への貢献として評価できる項目について工事完了時までに所定の様式により提出することが出来る。
⑭ 立会検査	下記の項目については、監督員の立会検査を受け、検査立合記録書に監督員の了承を得るものとする。
⑮ 使用材料	○各種製品検査 ○各種仕上検査 ○工事中間検査及び竣工検査
⑯ 材料試験	○本工事使用資材については、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンの含まれる量等に充分注意し資材の選定を行うこと。
⑰ 既存との取合い	○上記が含まれる資材を使用する場合は監督員と協議し、指定濃度となるよう枯らし期間を充分取り施工を行うこと。
⑱ 撤去工事	本工事に使用する材料の内、監督員より指示あるものに関してはその成績表を提出するか、又は監督員の承認する試験所で試験を行い、承認を受けなくてはならない。尚試験に要する費用は全て受注者の負担とする
⑳ 再利用機器	本工事施工に伴う既存設備の軽微な加工、改造は、本工事とする。
㉑ 発生材の処理	撤去及び破壊し工事は、事前に既存設備の概要を把握し、他に影響が及ばないよう充分検討した上で着工する。
㉒ 産業廃棄物の適正処理	撤去した後再利用する機器は、清掃及び絶縁測定の上、良品のみ使用する。但し、機器品質の良否判定は、監督員の指示に従う。
㉓ 新築時廃棄物	引渡しを要するものは監督員の指定する場所に整理しリストを作成の上施設管理者へ引渡す。又引渡しを要しないものは全て場外に搬出し下記の産業廃棄物適正処理の項及び関係法令等に従い適正に処理する。受注者は、産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い産業廃棄物関連書類の提出並び確認及び処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物が最終処分に至るまで適正に処理されている事を確認しなければならない。廃棄物 manifests 票を一覧にし提出する。
	処理については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」及び「岐阜県廃棄物の適正処理に関する条例」「岐阜県建設廃棄物適正処理の三原則」の規定を遵守し適正に処理する。
	混合物の処理については管理型最終処分場に持ち込むものとする。

共通事項	<p>㉔ 再生資源化施設への搬出</p> <p>○コンクリート塊 ・アスファルトコンクリート塊 ○木屑 ・繊維屑 ・プラスチック屑 ○石膏ボード ○鉄、アルミ、ステンレス屑</p> <p>○ガラス ・陶磁器屑</p> <p>建設工事リサイクル法の実施に係る岐阜県指針に基づき、工事着手前に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を、また工事完了後に同計画書の実施報告書を提出とする。</p> <p>下記の資材については再生資材を使用する。</p> <table border="1"> <tbody><tr> <th>資材名</th> <th>規格</th> <th>使用場所</th> </tr> <tr> <td>再生加熱アスファルト混合物</td> <td>プラント再生舗装技術指針</td> <td>場内アスファルト</td> </tr> <tr> <td>再生クラッシュラン</td> <td>(日本道路協会)</td> <td>アスファルト舗装下</td> </tr> </tbody></table>	資材名	規格	使用場所	再生加熱アスファルト混合物	プラント再生舗装技術指針	場内アスファルト	再生クラッシュラン	(日本道路協会)	アスファルト舗装下
資材名	規格	使用場所								
再生加熱アスファルト混合物	プラント再生舗装技術指針	場内アスファルト								
再生クラッシュラン	(日本道路協会)	アスファルト舗装下								
27 残土処分	場外処分とする。									
㉕ はつり	既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、図面に特記のない場合はダイヤモンドカッターによる。穴開けを行う際は、電磁誘導等の機器で鉄筋・電線管の探査を行う。穴開け箇所が既設の鉄筋と干渉する場合は、工事監理者と対応を協議すること。									

- ㉚ 耐震施工
- 設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針2005年版」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。
- 1) 設計用水平地震力
- 機器の重量[kg f]に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。
- なお、特記なき場合、設計用標準水平震度は、次による。

1) 設計用水平震力

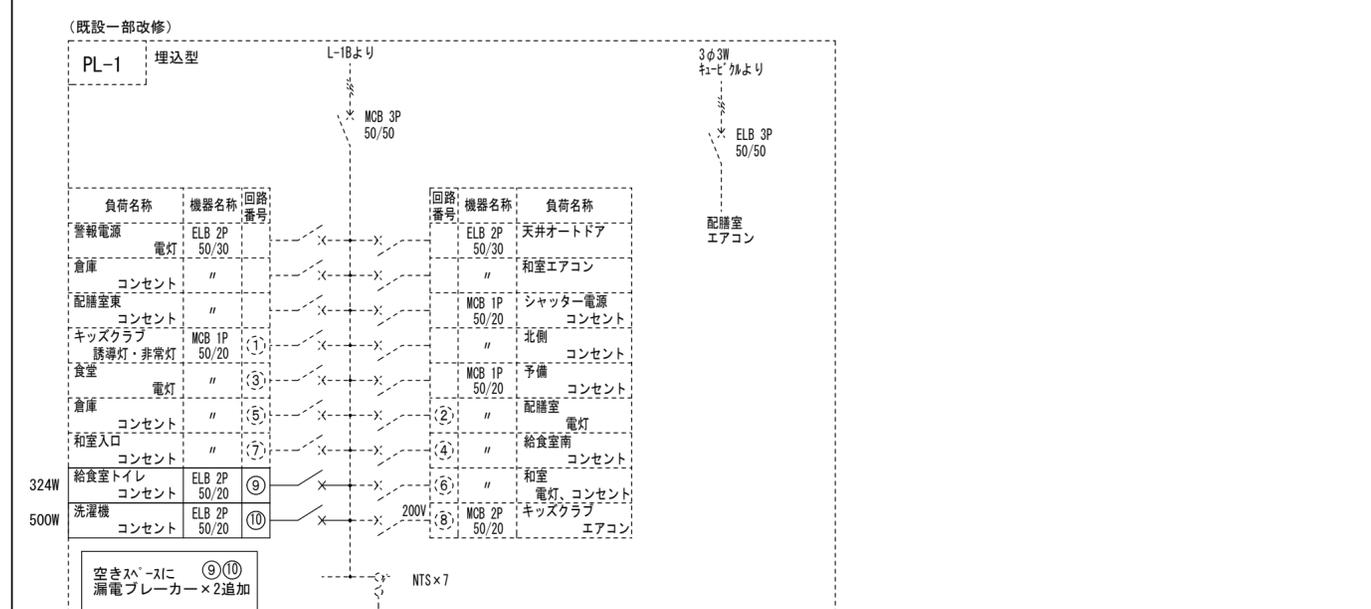
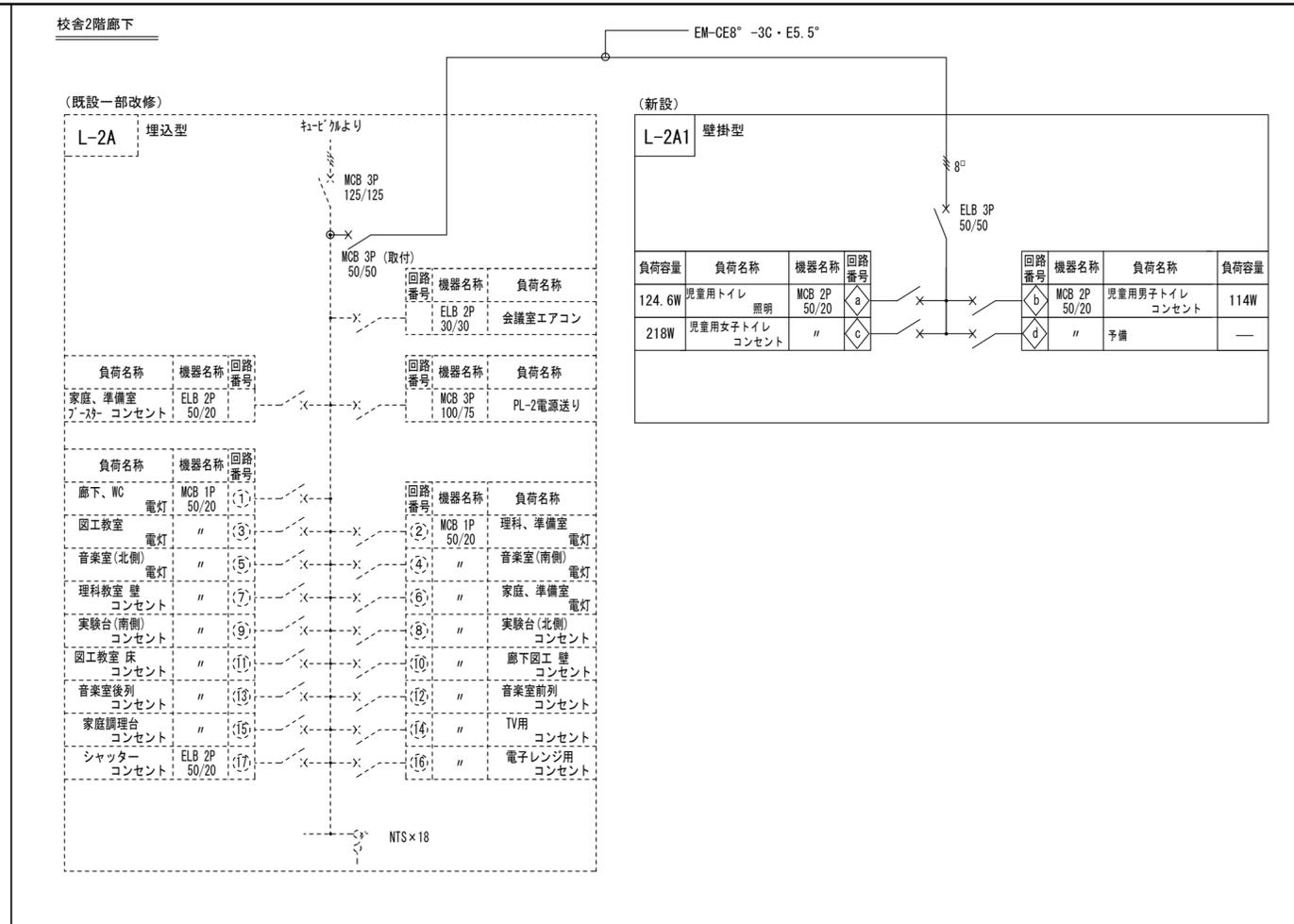
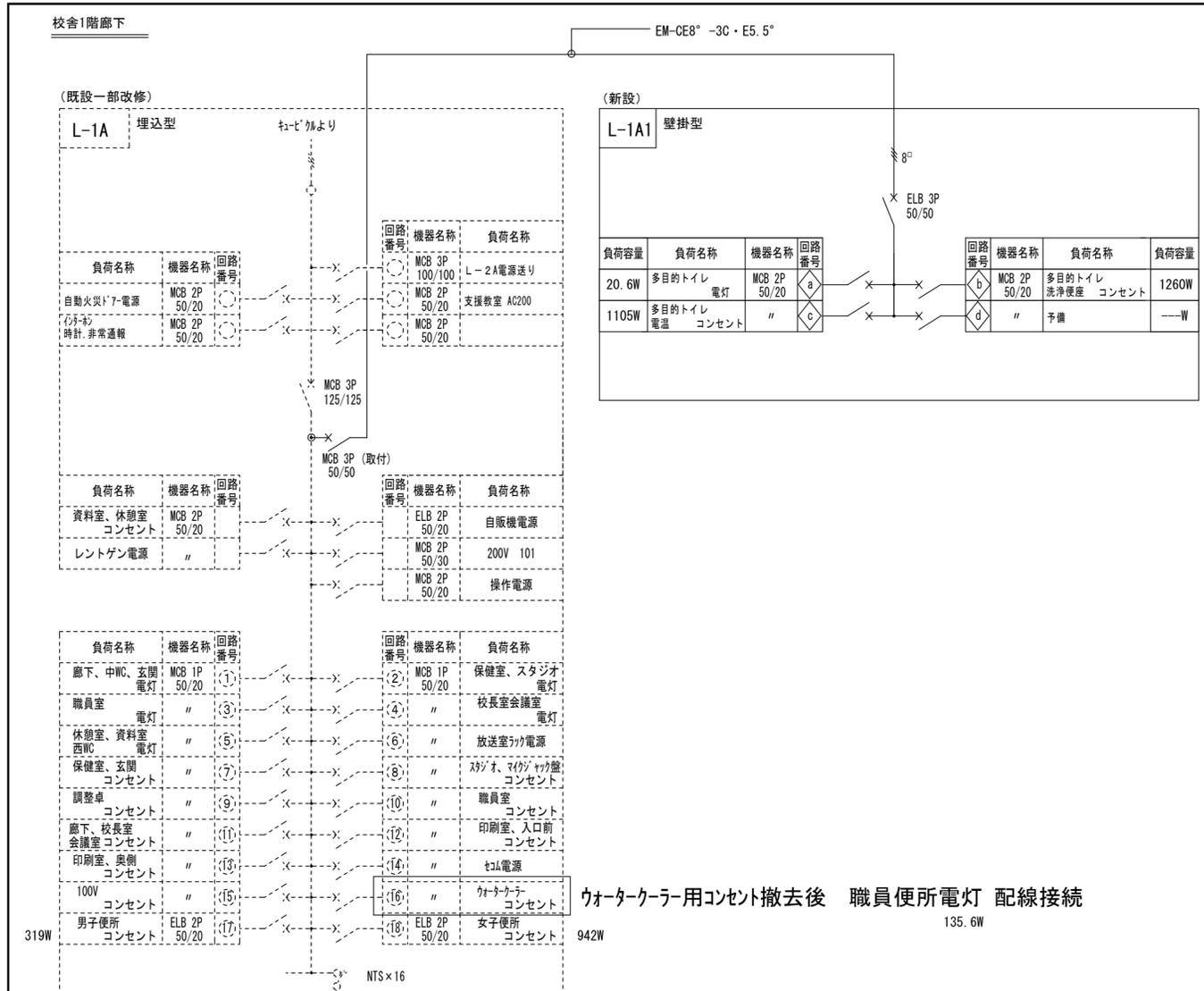
設置場所	耐震安全性の分類			
	一般の施設(乙類)		特定の施設(甲類)	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階・屋外及び塔屋	1. 0<2. 0>(2. 0)<1. 5>[1. 5]	1. 0<(1. 5)><1. 0>[1. 5]	2. 0<(2. 0)><2. 0>[2. 0]	1. 5<(2. 0)><1. 5>[2. 0]
中間階	1. 0<(1. 5)><1. 0>[－]	0. 6<(1. 0)><0. 6>[－]	1. 5<(1. 5)><1. 5>[1. 5]	1. 0<(1. 5)><1. 0>[1. 5]
地下階・1階	0. 6<(1. 0)><1. 0>[－]	0. 4<(0. 6)><0. 6>[－]	1. 0<(1. 0)><1. 5>[1. 0]	0. 6<(1. 0)><1. 0>[1. 0]

- (注) 1. ( )内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。
2. < >内の数値は水槽類に適用する。
3. [ ]内の数値は横引き配管、ケーブルラック、ダクト類に適用する。
4. 上層階の定義は次による。
- 2～6階建の場合は上層階、7～9階建の場合は上層2階、10～12建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階
5. 重要機器、重要水槽とは下記に示すものをいう。
- 重要機器(・防災機器 ・配電盤 ・自家発電機 ・燃料タンク)重要水槽( )
- 2) 設計用鉛直地震力
- 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に動くものとする。
- 配線器具は、下記を標準とする。

- 大角形連用型 ○アイドハンドル型
- プレートは、下記を標準とする。
- ・樹脂製(洋風モダン)
  - 新金属製
  - ・電気会社外線工事負担金。
  - ・電話機器納入、取付
  - ・光ケーブル(CATV)引込工事
  - ・警備保障配線工事及び機器納入、取付

- 電力、電話等の引込方法、位置については、関係会社等と打合せの上、監督員の指示に従う。
- 建築基準法及び消防法で定められた非常用電源回路には、赤色で用途を明記する。
- 分電盤からの立上り予備配管として、予備の配線用遮断器が4個以下の場合はPF-S22を1本、5個以上の場合は2本以上天井裏まで立上げる。(露出配管の場合は屋内：E-25、屋外：G-22とする)
- 配管工事のみで電線を入線しない場合は、導入線(1.2m/mビニル被覆鉄線)を挿入する。
- 鋼製電線管の露出部分の塗装箇所は、監督員の指示による。(エッチングプライマー下処理の後、指定色0P2回塗り)
- 位置ボックスは、原則としてアウトレットボックスとする。
- 建物内で、配管の1区間が30m以上となる場合は、途中にプルボックス又はジョイントボックスを設ける。
- FP板(スタyroフォーム等)打込みの部分に取付ける位置ボックスには、保温及び結露防止処置を施す。(外壁部のみ)
- ジョイントボックス等、配線器具を突装しない位置ボックスに取付けるプレートには、用途を明記する。
- 分電盤、制御盤及び端子盤には、盤名称を記したネームプレート(樹脂製、エッチング文字)を設ける。
- 防火区画貫通部の耐火処置の仕様は下記とする。
- (イ)建築基準法告示第3183号に準拠
- (ロ)(財)日本建築センター(BOJ)防災評定品の使用

共通事項	<p>㉔ 照明器具の吊ボルト</p> <p>○ガラス</p> <p>㉕ 工事保障</p> <p>㉖ 経年検査</p> <p>㉗ 施工調査</p> <p>㉘ 工事着手前協議</p> <p>㉙ ディーゼルエンジン車両の適性燃料の使用について</p> <p>㉚ 改修工事注意事項</p> <p>㉛ 撤去工事注意事項</p> <p>㉜ 工事中の既設設備</p> <p>㉝ その他</p>																				
	<p>(イ)吊りボルトを必要とする機種及び施工方法は「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)」及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)」によりものとする。</p> <p>改修工事に於いて吊りボルト用あと施工用アンカーは本工事とする</p> <p>(ロ)その他の照明器具は、上記による他、位置ボックスにネジ止め、又はフィックスチュアスタッド等を使用し支持する。</p> <p>(ハ)特殊な照明器具は、上記による他、監督員の指示による。</p> <p>建築竣工引渡し後、原則として5年以内(特に指定のある工種を除く)において、工事不良の為生じたと認められる境害等については、受注者の費用負担にて最速工率に改修しなければならない。ただし工事不良が故意又は重大な過失により生じた場合は10年間とする。</p> <p>建築竣工引渡後1年が経過した時点において監督員立合のもとで1年検査を行い、工事不良の為生じたと認められる提害等についても、監督員の指示に従い改修しなければならない。尚、その費用については受注者の負担とする。</p> <p>○事前調査 (○本工事 ・別途 )</p> <p>○調査項目 (○既存資料調査 ○既設配線ルート )</p> <p>○事前調査 ( ・図示 ・工事範囲 )</p> <p>○事前調査 (○図示 ・目視 )</p> <p>1) 本工事の受注者は、契約後1～2週間以内に設計書内容等について、監督員と工事着手前協議を行うこと。</p> <p>2) 協議に当たっては、別に定める「施工打ち合わせ記録簿」に協議事項を記入し、打ち合わせに参照すること。なお、協議日の設定については、受注者側が事前に監督員と連絡をとり設定しておくこと。</p> <p>3) 協議に当たって、発注者側は監督員及び係長又は課長、受注者側は現場代理人及び主任技術者が出席するものとする。</p> <p>4) 協議時、「施工打ち合わせ記録簿」の回答(その他)欄は監督員が記入し、最後に確認を行い監督員・係長又は課長の確認印を押し、写しを現場代理人(主任技術者)が受け取ること。</p> <p>1) ディーゼルエンジンを動力とする車両にはIS規格の軽油を使用すること。</p> <p>2) ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には協力すること。</p> <p>○本設計図書は、既存建物の新築時に於ける設計図に基づいて作成されている。従って新築時の納まり、取合い等による変更、又は竣工後に行われた増改築及び設備の増設等により、既存の状態と既存回面との間に差異が生じ、本設計図書によることが困難な場合は、監督員と打合せの上、その指示に従う。</p> <p>○撤去工事に於いて、事前に工事前施工調査を行い既設設備の状況把握した上で施工するものとする。</p> <p>○図印明記無き場合でも建築工事又は機械設備工事に於いて、天井張替え、壁張替え及び機器取り外し一再取付等に伴う既設電気設備機器の取外し一再取付、配線の再接続等は本工事とする。</p> <p>○図面明記無き場合でも改修工事に於いて不要となる機器は監督員と協議の上、原則撤去処分とする。</p> <p>○不要となる隠蔽部既設配管を利用し、新設配線を施工出来る部分については積極的に利用とする。</p> <p>○図面上、配管及び線び施工表記の部分も調査の上、ケーブル隠蔽施工が可能な場合はケーブル隠蔽施工とする。</p> <p>○上記、2項目に於いて金額の増減は無いものとする。</p> <p>○既設配管は改修工事に支障無き場合を除き原則として現状のまま廃止する。建築工事において天井撤去、壁撤去に伴い一緒に撤去される配管は建築工事に於いて処分とする。</p> <p>○既設配線は改修工事に支障無き場合を除き原則として現状のまま廃止する。建築工事において天井撤去、壁撤去に伴い一緒に撤去される配線は建築工事に於いて処分とする。</p> <p>○上記に於いて廃止となる配線は端末処理の工、「未使用」表記を行うものとする。</p> <p>○上記配管配線撤去は隠蔽部における注記事項であり、露出配管及び露出配線は本工事にて全て撤去とする。</p> <p>○工事範囲外の部屋は工事期間内も使用する為、機器及び配線撤去の際には事前に施工前調査で既設配線ルート等の調査を行い、工事範囲外の部屋の電気設備に影響が有無を確認の事とする○既設電気設備に影響が有る場合は監督員と協議の上、配線迂回、仮電源の準備等の必要と思われる仮設備工事を行う事とする。</p> <p>○別途機器への接続は、本工事とする。</p> <p>○盗図の寸法、形状は参考とする。</p>																				
	<table border="1"> <tbody><tr> <td>工事名</td> <td colspan="3">可児市立兼山小学校トイレ大規模改造工事</td> </tr> <tr> <td>種 別</td> <td>電気設備工事特記仕様書</td> <td>図面番号</td> <td>E01 / 11</td> </tr> <tr> <td>縮 尺</td> <td>-</td> <td>作成年月</td> <td>令和 7 年 10 月</td> </tr> <tr> <td>設計者</td> <td colspan="3">株式会社 廣建築設備設計</td> </tr> <tr> <td>氏名印</td> <td colspan="3">一級建築士 第311227号 野内雅仁</td> </tr> </tbody></table>	工事名	可児市立兼山小学校トイレ大規模改造工事			種 別	電気設備工事特記仕様書	図面番号	E01 / 11	縮 尺	-	作成年月	令和 7 年 10 月	設計者	株式会社 廣建築設備設計			氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		
工事名	可児市立兼山小学校トイレ大規模改造工事																				
種 別	電気設備工事特記仕様書	図面番号	E01 / 11																		
縮 尺	-	作成年月	令和 7 年 10 月																		
設計者	株式会社 廣建築設備設計																				
氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁																				

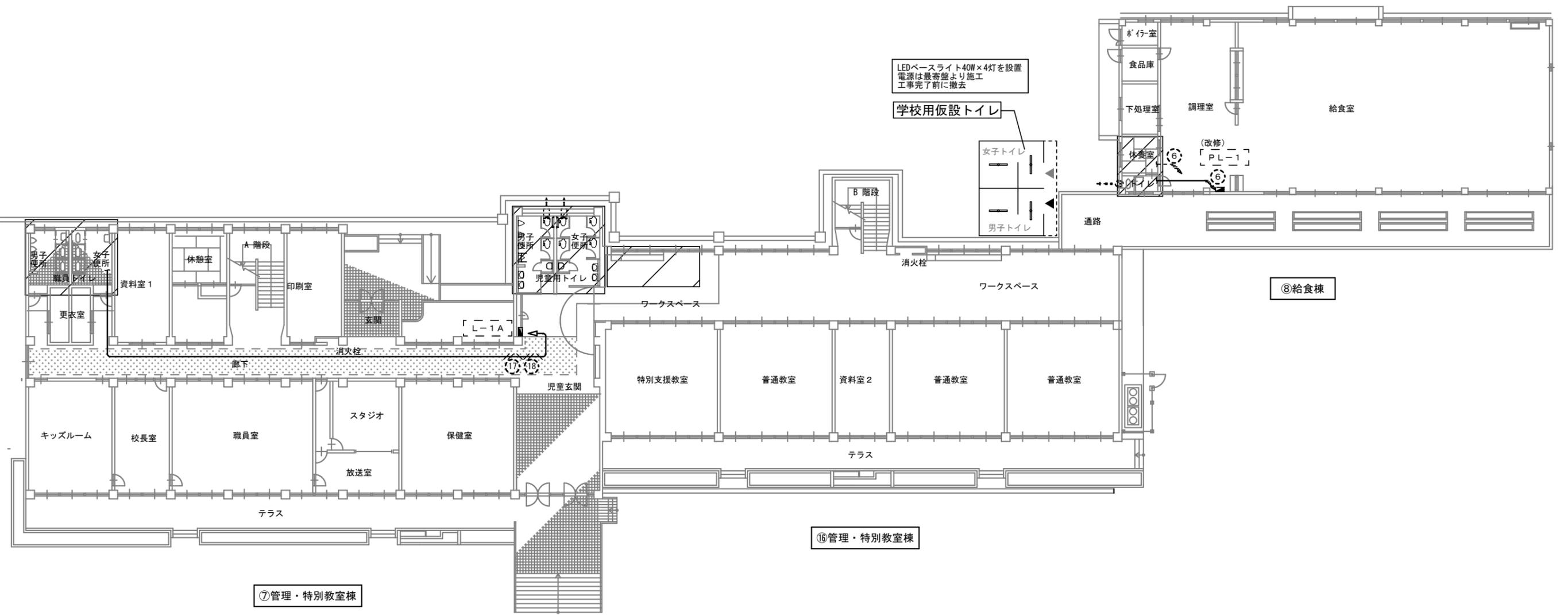
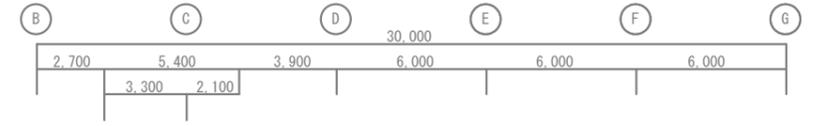


工事名	可児市立兼山小学校トイレ大規模改造工事		
種別	分電盤単線結線図	図面番号	E02 / 11
縮尺	-	作成年月	令和7年10月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		

凡例		備考	
新設			
記号	名称	備考	
	LED下面開放型照明器具	姿図 参照	
	LED下面開放型照明器具	姿図 参照	
	LED直付型照明器具	姿図 参照	
	LED直付型照明器具	姿図 参照	
	LEDダウンライト型器具	姿図 参照	
	LEDダウンライト型器具	姿図 参照	
	人感センサー	親器	
	人感センサー	親器 (換気扇用電源付)	
	人感センサー	子器	
	人感センサー	子器 (換気扇用電源付)	
	切替スイッチ	壁埋込型 2回路用	
	切替スイッチ	壁埋込型 2回路用 メタルモール用スイッチボックス (1個用)	
	埋込型コンセント	2P15A×1	スイッチボックス (1個用) (新金属プレート)
	埋込型コンセント	2P15A×1+ET×1	スイッチボックス (1個用) (新金属プレート)
	埋込型コンセント	2P15A(E付)×1+ET×1	スイッチボックス (1個用) (新金属プレート)
	埋込型コンセント	2P15A×1	メタルモール用スイッチボックス (1個用) (新金属プレート)
	埋込型コンセント	2P15A(E付)×1+ET×1	メタルモール用スイッチボックス (1個用) (新金属プレート)
	埋込型コンセント	2P15A(E付)×2+ET×1	スイッチボックス (1個用) (新金属プレート)
	アウトレットボックス	中型四角44mm	
	blankプレート	新金属製	
	ノズルプレート	新金属製	
	メタルモール	A型	
	コーナーボックス	メタルモール用 A型	
	メタルモール	B型	
	コーナーボックス	メタルモール用 B型	
	換気扇	機器は機械工事、電源接続は電気工事	
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C	(天井内配線) 壁内立下りはPF管による
	ケーブル	EM-EEF1.6-2C	(天井内配線)
	ケーブル	EM-EEF1.6-3C	(天井内配線)
	ケーブル	EM-EEF1.6-2Cx2	(天井内配線)
	ケーブル	EM-EEF1.6-2C+3C	(天井内配線)
	ケーブル	EM-EEF1.6-3Cx2	(天井内配線)
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C (PF22)	(ｽﾗｯﾌﾟ・壁内)
	ケーブル	EM-EEF1.6-3C (PF16)	(ｽﾗｯﾌﾟ・壁内)
	既設配線		

参考姿図			
	LEDベースライト 40形 W150		LEDベースライト 20形 W150
3,200lmタイプ 天井埋込型 昼白色 20.6W 公共品番: LRS6-4-30		1,600lmタイプ 天井埋込型 昼白色 11.6W 公共品番: LRS6-2-15	
			LEDベースライト 40形 W150
		3,200lmタイプ 天井直付型 昼白色 20.6W 公共品番: LSS9-4-30	
	LEDベースライト 20形 W150		LEDダウンライト 100形
1,600lmタイプ 天井直付型 昼白色 11.6W 公共品番: LSS1-2-15		1,020lm φ100 昼白色 7W 管理・特別教室棟トイレ個室	
			LEDダウンライト 150形
		1,675lm φ125 昼白色 11.6W 給食棟トイレ個室	

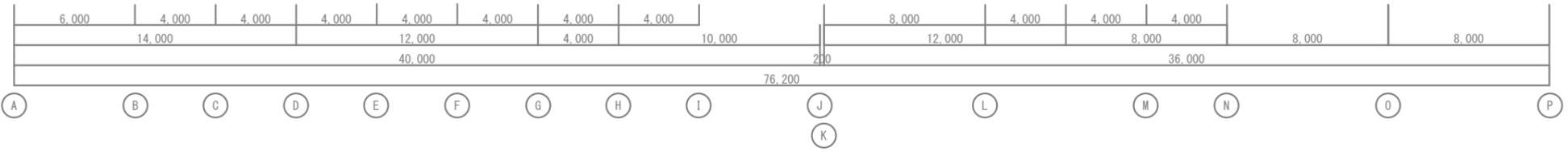
工事名	可児市立兼山小学校トイレ大規模改造工事		
種別	凡例・照明器具参考姿図	図面番号	03 / 11
縮尺	-	作成年月	令和7年10月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		



⑩管理・特別教室棟

⑦管理・特別教室棟

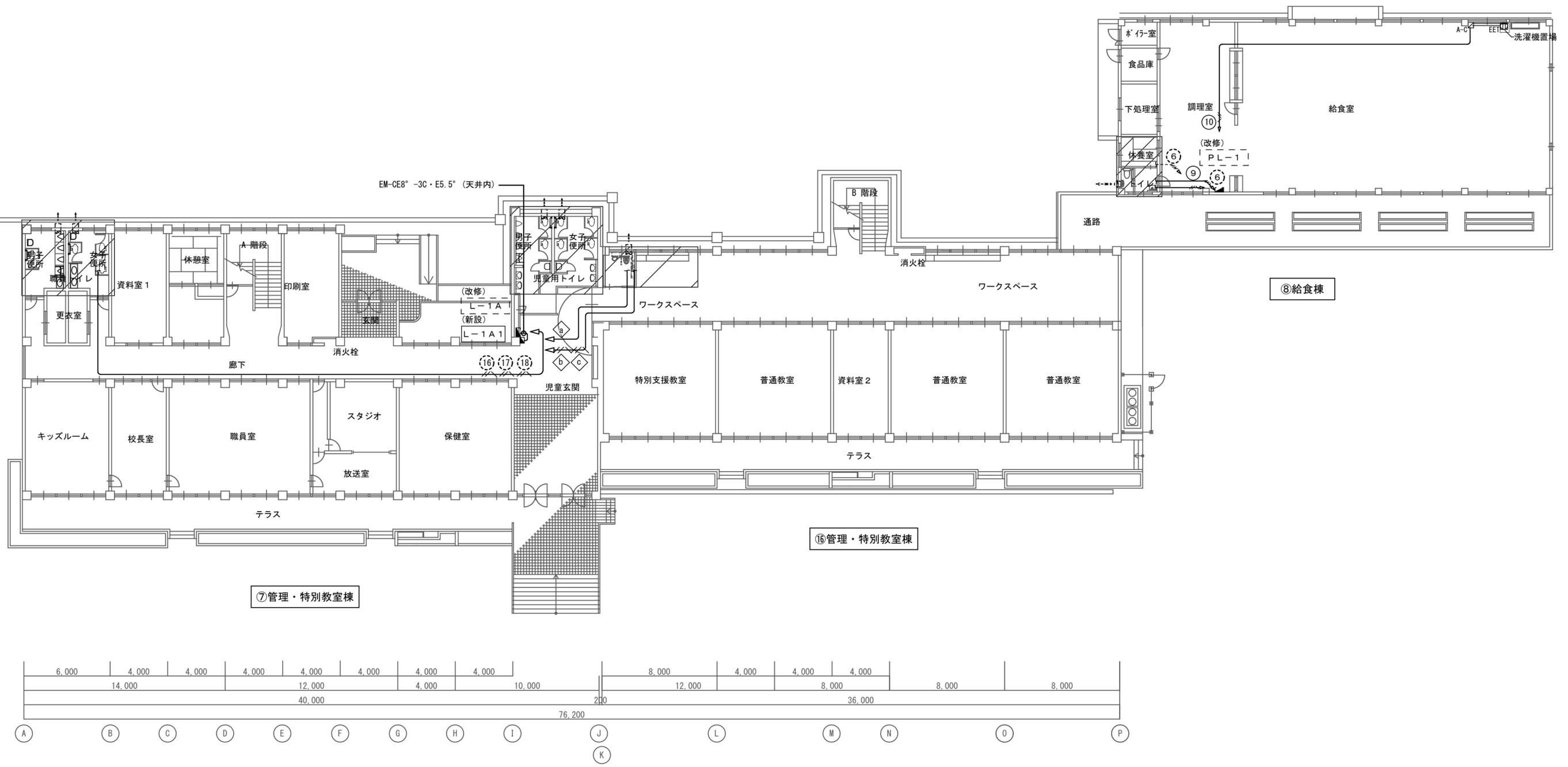
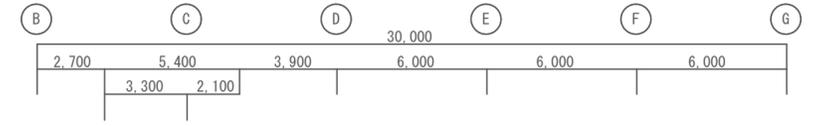
⑧給食棟



凡例

: 工事対象範囲

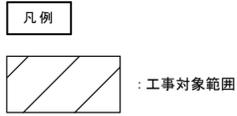
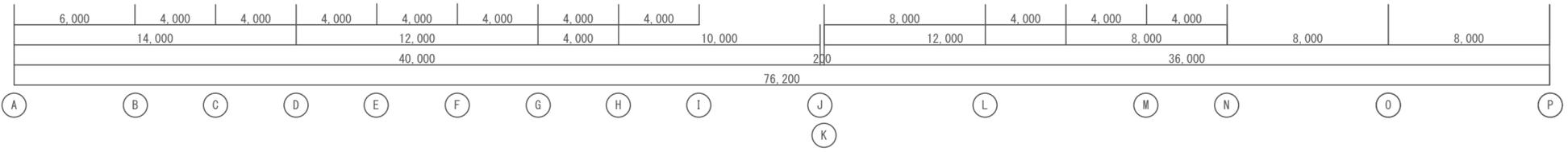
工事名	可児市立兼山小学校トイレ大規模改造工事		
種別	改修前 1階電気設備図	図面番号	E04 / 11
縮尺	1/200	作成年月	令和 7 年 10 月
設計者 氏名印	株式会社 廣建築設備設計 一級建築士 第311227号 野内雅仁		



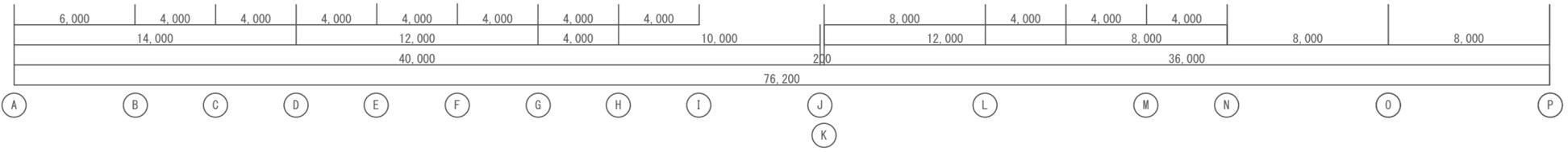
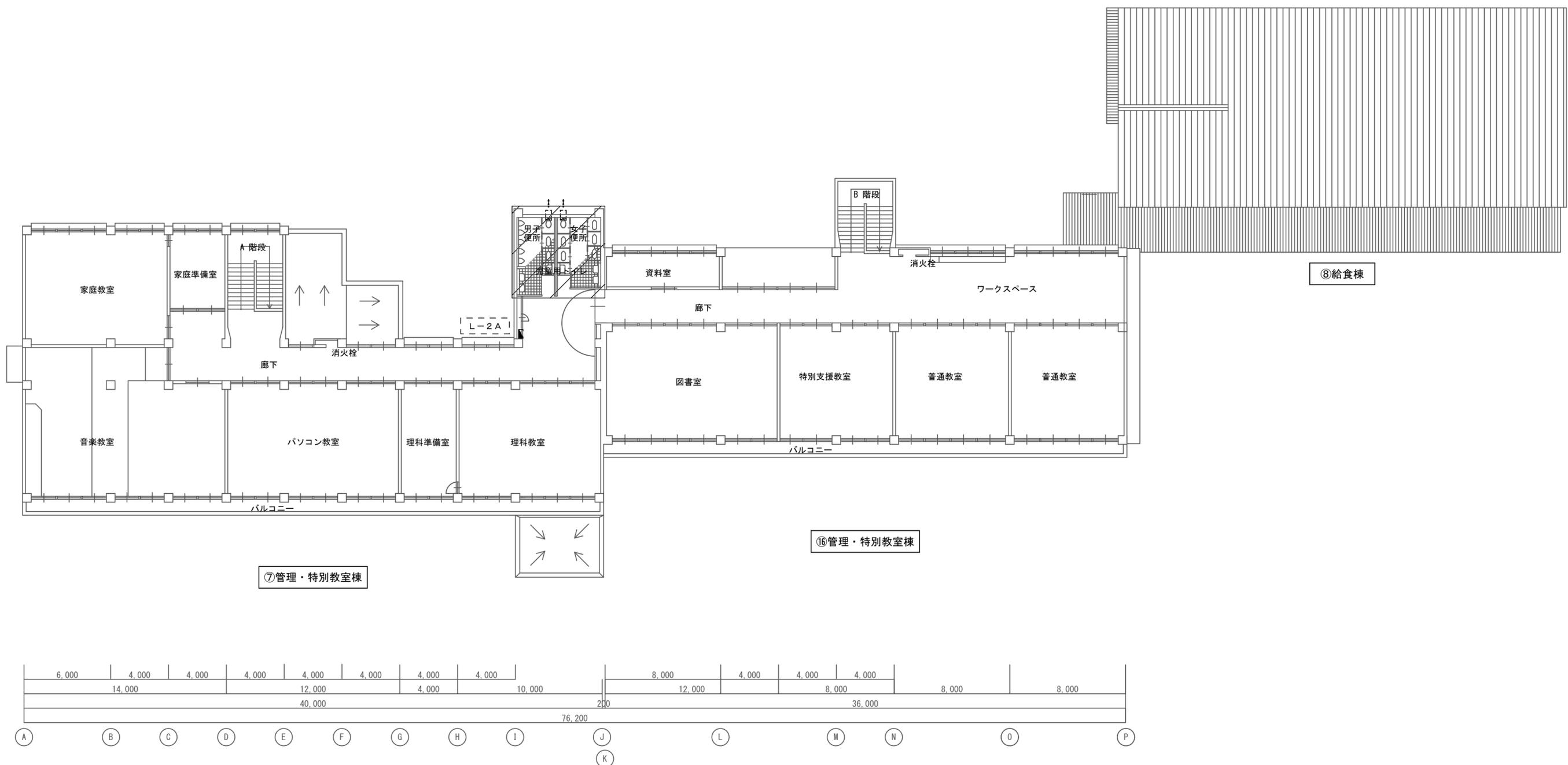
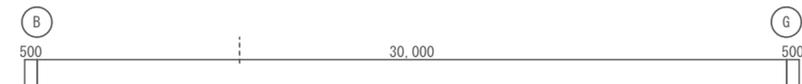
⑦管理・特別教室棟

⑩管理・特別教室棟

⑧給食棟

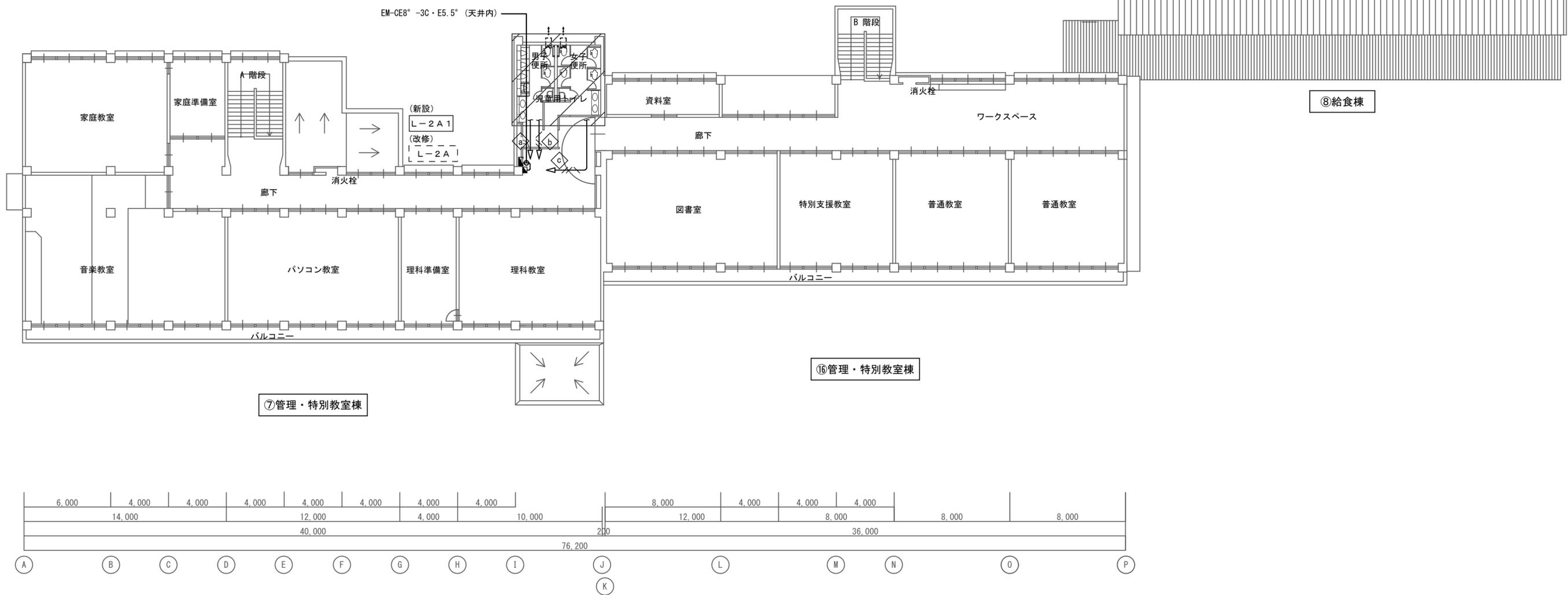
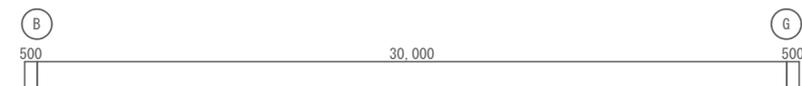


工事名	可児市立兼山小学校トイレ大規模改造工事		
種別	改修後 1階電気設備図	図面番号	E05 / 11
縮尺	1/200	作成年月	令和 7 年 10 月
設計者 氏名印	株式会社 廣建築設備設計 一級建築士 第311227号 野内雅仁		



凡例  
: 工事対象範囲

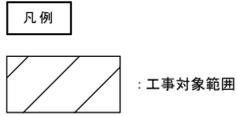
工事名	可児市立兼山小学校トイレ大規模改造工事		
種別	改修前 2階電気設備図	図面番号	E06 / 11
縮尺	1/200	作成年月	令和 7 年 10 月
設計者 氏名印	株式会社 廣建築設備設計 一級建築士 第311227号 野内雅仁		



⑦管理・特別教室棟

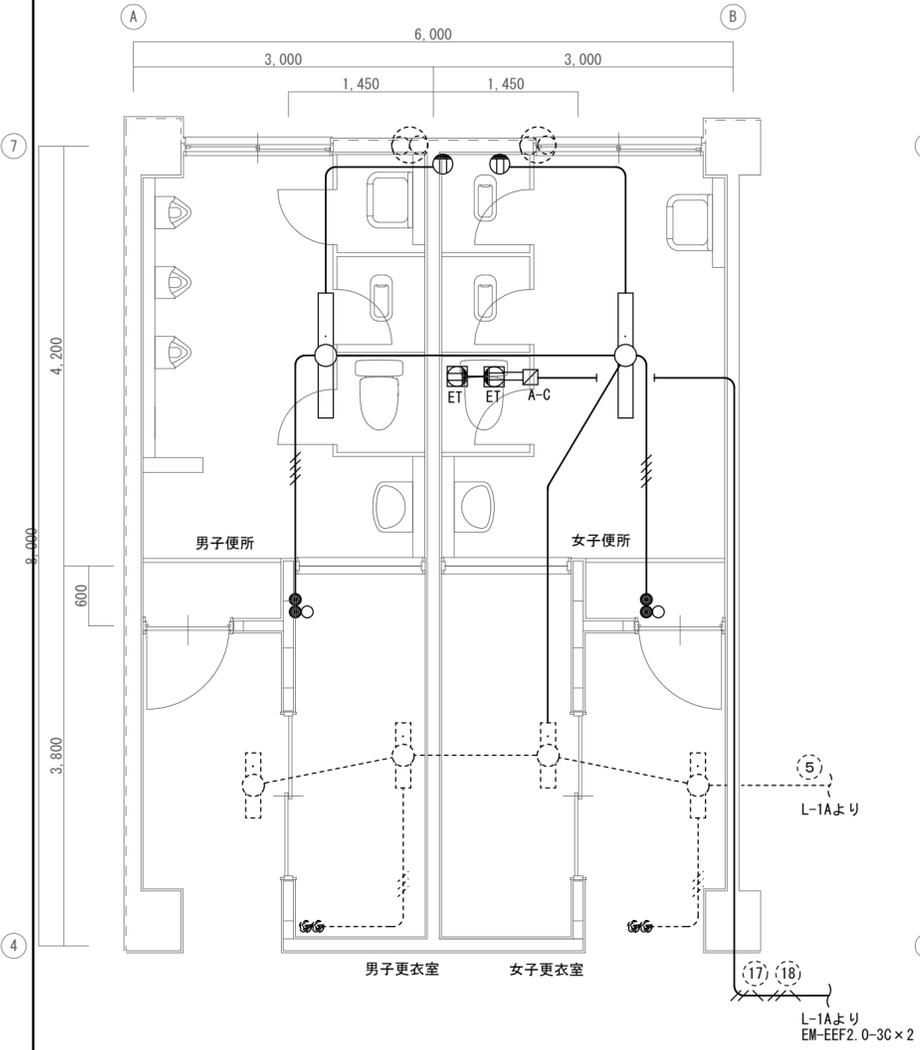
⑩管理・特別教室棟

⑧給食棟

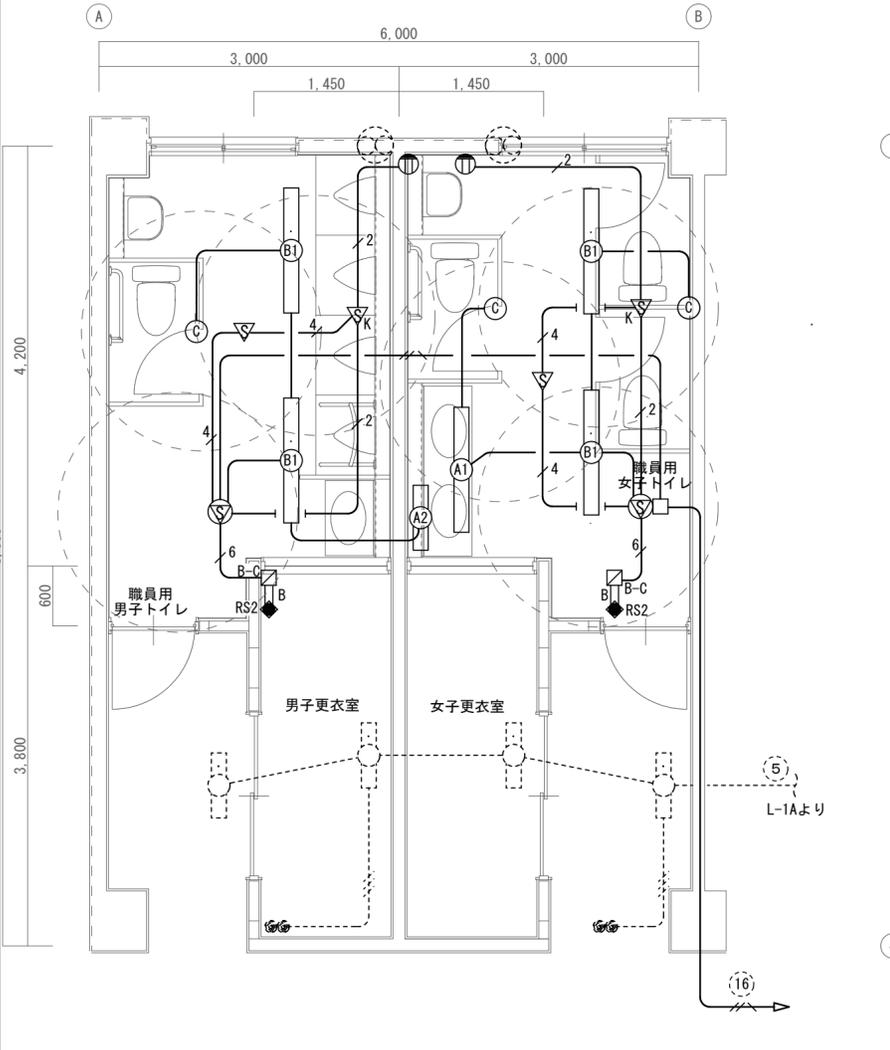


工事名	可児市立兼山小学校トイレ大規模改造工事		
種別	改修後 2階電気設備図	図面番号	E07 / 11
縮尺	1/200	作成年月	令和 7 年 10 月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		

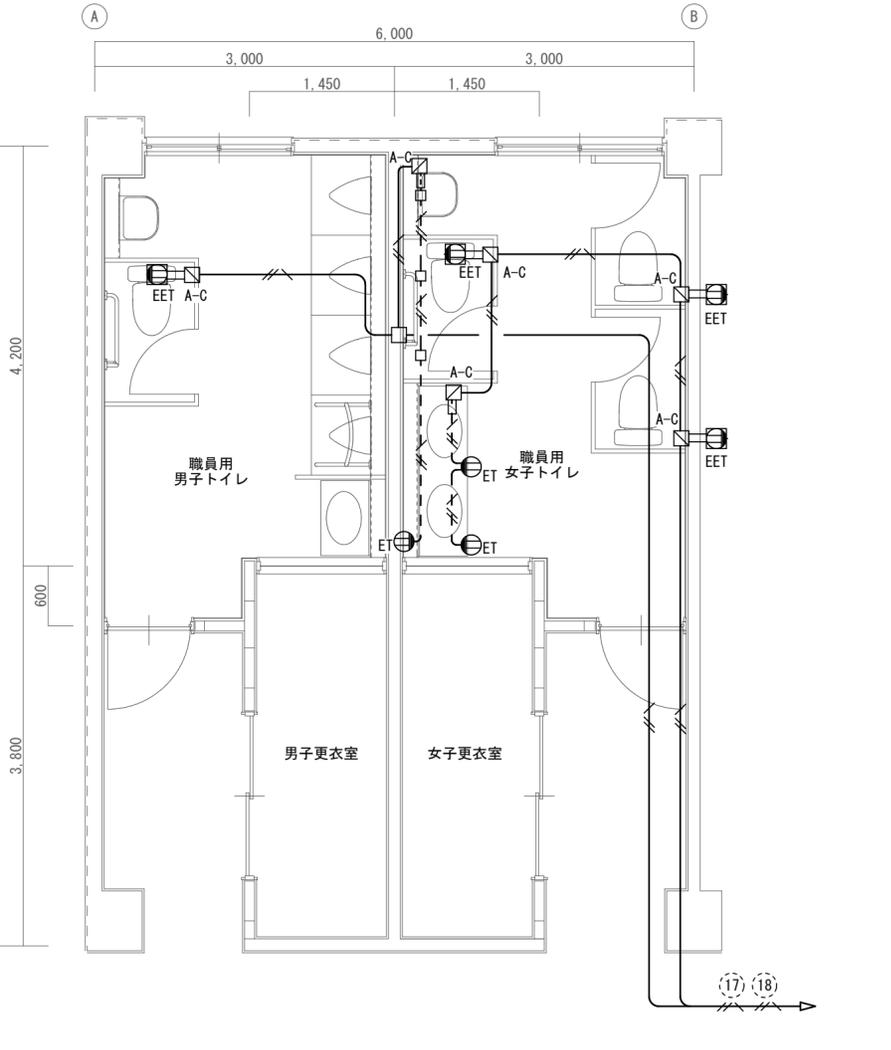
1 改修前 管理・特別教室棟1階職員トイレ電灯コンセント設備図



2 改修後 管理・特別教室棟1階職員トイレ電灯設備図



3 改修後 管理・特別教室棟1階職員トイレコンセント設備図



既設凡例

記号	名称	数量	備考
	逆富士型 FL40Wx1	2	撤去
	逆富士型 FL20Wx1	4	-
	1P15Ax2 (新金属P)	2	-
	1P15Ax2+PL x 1 (新金属P)	2	撤去
	2P15A x 1 (新金属P)	2	撤去
	2P15A x 1 + ET x 1 金属用スイッチボックス内 (新金属P)	2	撤去
	金属用コーナーボックス A型	1	撤去
	IV1.6x2(19)		撤去
	IV1.6x3(19)		撤去
	IV1.6x4(25)		撤去
	EM-EEF2.0-3C(メタルモールA型内)		撤去

※実線部分の器具、配線等は改修を示す。  
 ※点線部分の器具、配線等は改修範囲外を示す。

線種凡例

記号	名称
	EM-EEF1.6-2C (天井内)
	EM-EEF1.6-3C (天井内)
	EM-EEF1.6-2Cx2 (天井内)
	EM-EEF1.6-3Cx2 (天井内)
	EM-EEF2.0-3C (天井内)
	EM-EEF1.6-3Cx2(メタルモールB型内)

※実線部分の器具、配線等は改修を示す。  
 ※点線部分の器具、配線等は改修範囲外を示す。

職員用男子トイレ		職員用女子トイレ	
	1		1
	2		2
	1		2
	1		1
	1		1
	1		1
	1		1
	1		1

線種凡例

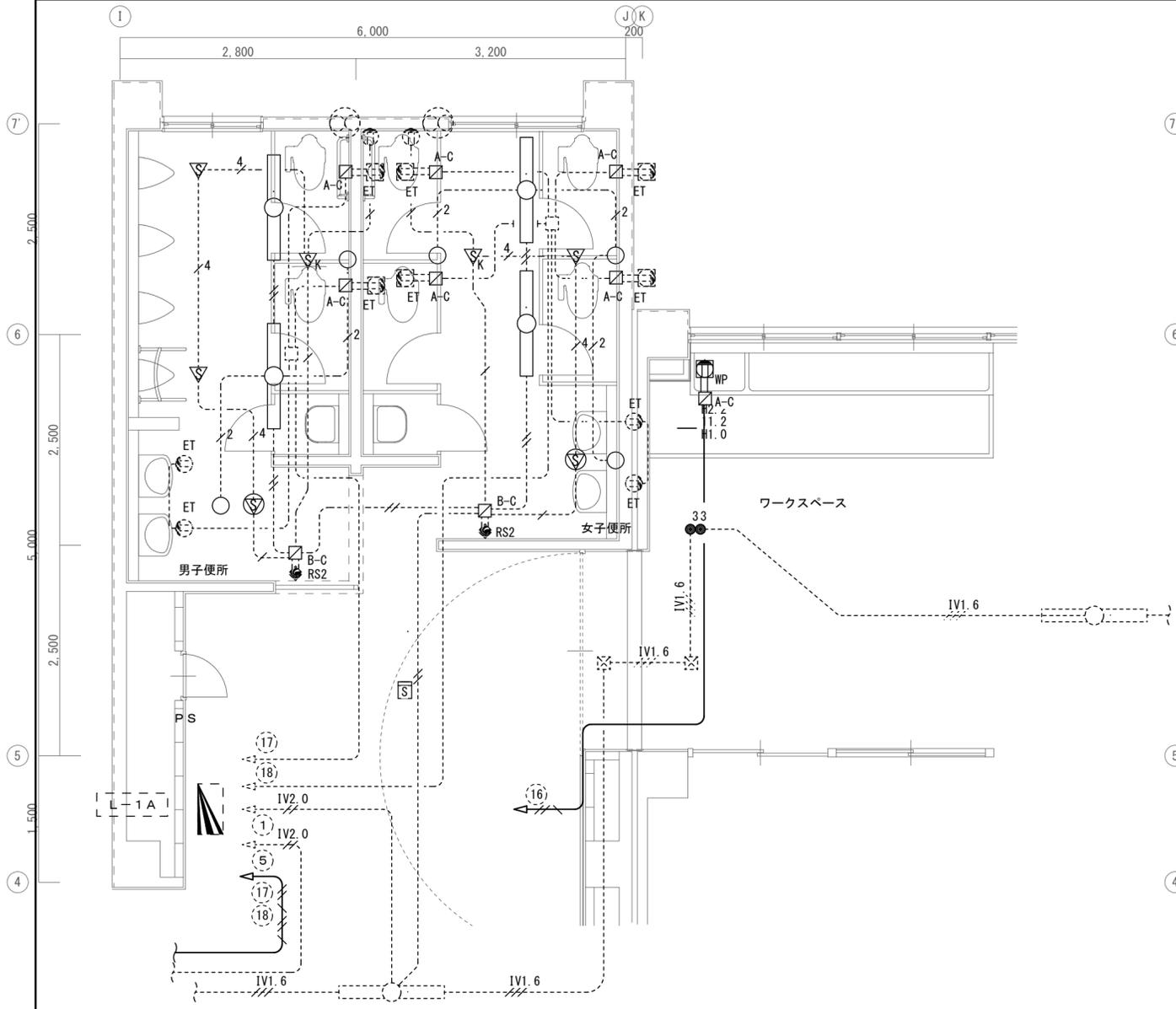
記号	名称
	EM-EEF1.6-3C (天井内)
	EM-EEF2.0-3C (天井内)
	EM-EEF2.0-3C (PF22)
	EM-EEF2.0-3C(メタルモールA型内)

※実線部分の器具、実線、破線部分の配線等は改修を示す。  
 ※点線部分の器具、配線等は改修範囲外を示す。

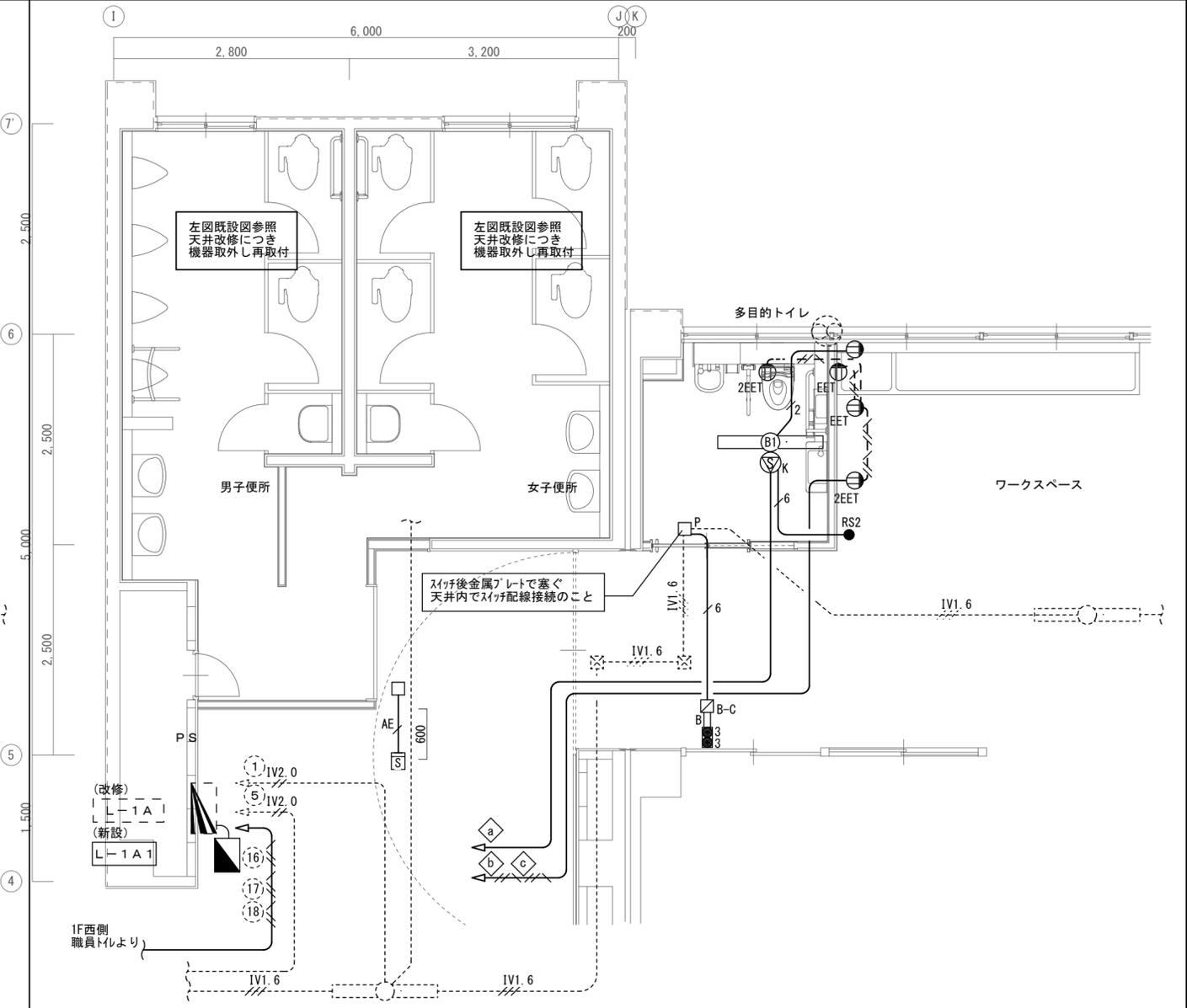
職員用男子トイレ		職員用女子トイレ	
	1		2
	1		3
	2		4
	4		

工事名	可児市立兼山小学校トイレ大規模改修工事		
種別	改修前・後管理・特別教室棟1階トイレ電気設備詳細図1	図面番号	E08 / 11
縮尺	1/50	作成年月	令和7年10月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		

1 改修前 管理・特別教室棟 1階児童用トイレ電灯コンセント設備図



2 改修後 管理・特別教室棟 1階多目的トイレ電灯コンセント設備図



既設凡例

記号	名称	数量	備考
	LEDライト40形 直付型	4	取外し再取付
	LEDライト	5	取外し再取付
	人感センサー 親器	2	取外し再取付
	人感センサー 子器	3	取外し再取付
	人感センサー 子器 (換気扇用電源付)	2	取外し再取付
	埋込スイッチ 3W15Ax2 (新金属P)	1	撤去
	防水コンセント 2P15A×1 金属モール用スイッチボックス内	1	撤去
	煙感知器	1	取外し再取付
	金属モール用コーナーボックス A型	1	撤去
	金属モール用コーナーボックス A型	6	取外し再取付
	金属モール用コーナーボックス B型	2	取外し再取付

※実線部分の器具、配線等は改修を示す。  
※点線部分の器具、配線等は改修範囲外を示す。

既設線種凡例

記号	名称	備考
	IV1.6×3 (19)	-
	IV2.0×2 (19)	-
	EM-EEF1.6-2C (天井内)	-
	EM-EEF1.6-3C (天井内)	-
	EM-EEF1.6-2C×2 (天井内)	-
	EM-EEF2.0-2C (天井内)	-
	EM-EEF2.0-3C (天井内)	撤去
	EM-EEF2.0-3C (金属モールA型内)	撤去

※実線部分の器具、配線等は改修を示す。  
※点線部分の器具、配線等は改修範囲外を示す。

線種凡例

記号	名称
	EM-EEF1.6-3C (天井内)
	EM-EEF1.6-3C×2 (天井内)
	EM-EEF2.0-3C (天井内)
	EM-EEF2.0-3C (PF22)
	EM-EEF1.6-3C×2 (金属モールB型内)
	EM-AE1.2-4C (天井内)

※実線部分の器具、実線、破線部分の配線等は改修を示す。  
※点線部分の器具、配線等は改修範囲外を示す。

多目的トイレ

	1
	1
	1
	1
	2
	1

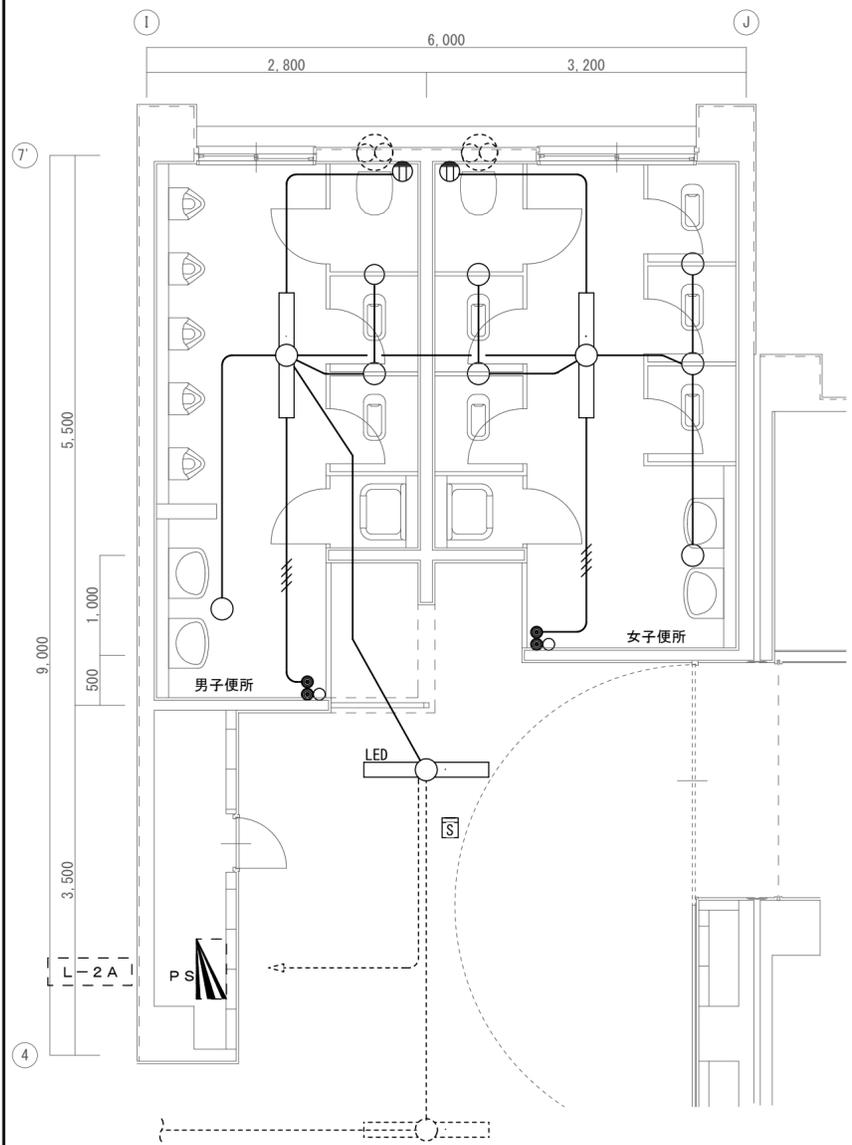
ワークスペース

	1
	1
	1
	1

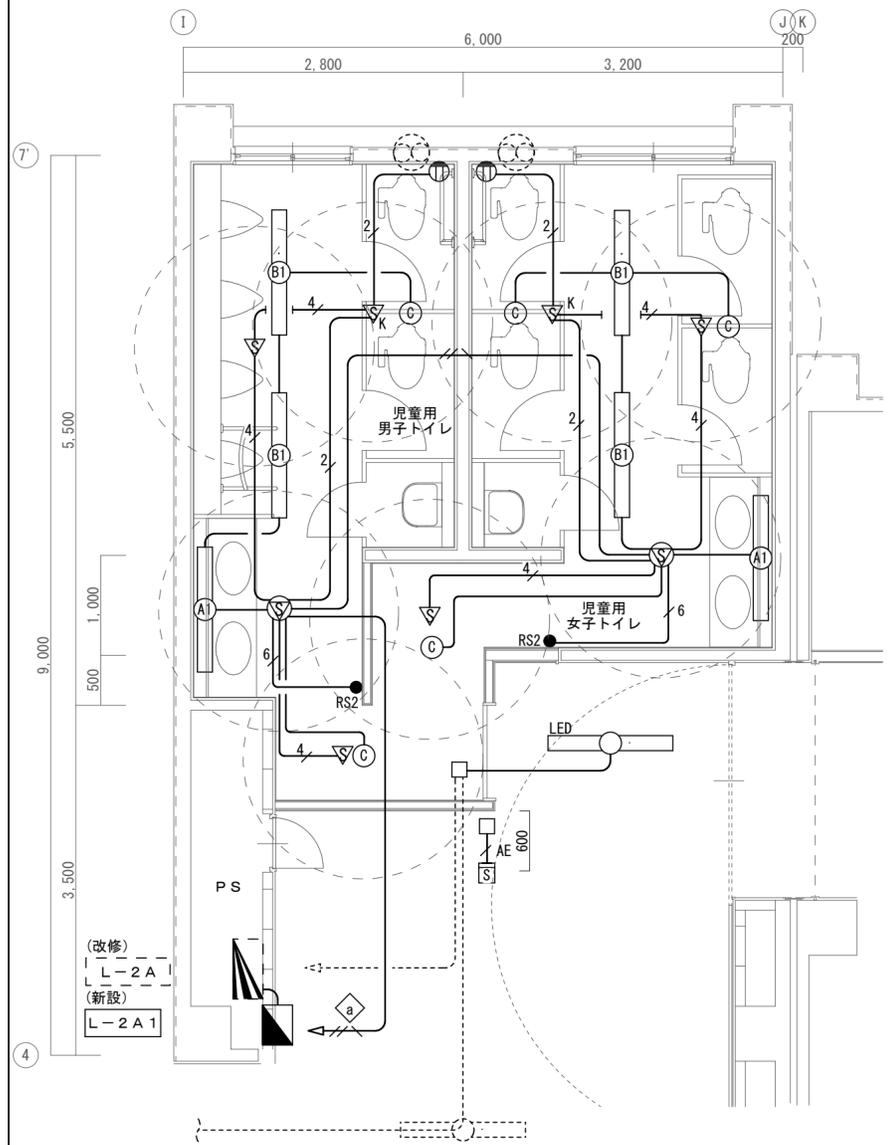
※再取付

工事名	可見市立兼山小学校トイレ大規模改修工事		
種別	改修前・後管理・特別教室棟 1階トイレ電気設備詳細図2	図面番号	E09 / 11
縮尺	1/50	作成年月	令和7年10月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		

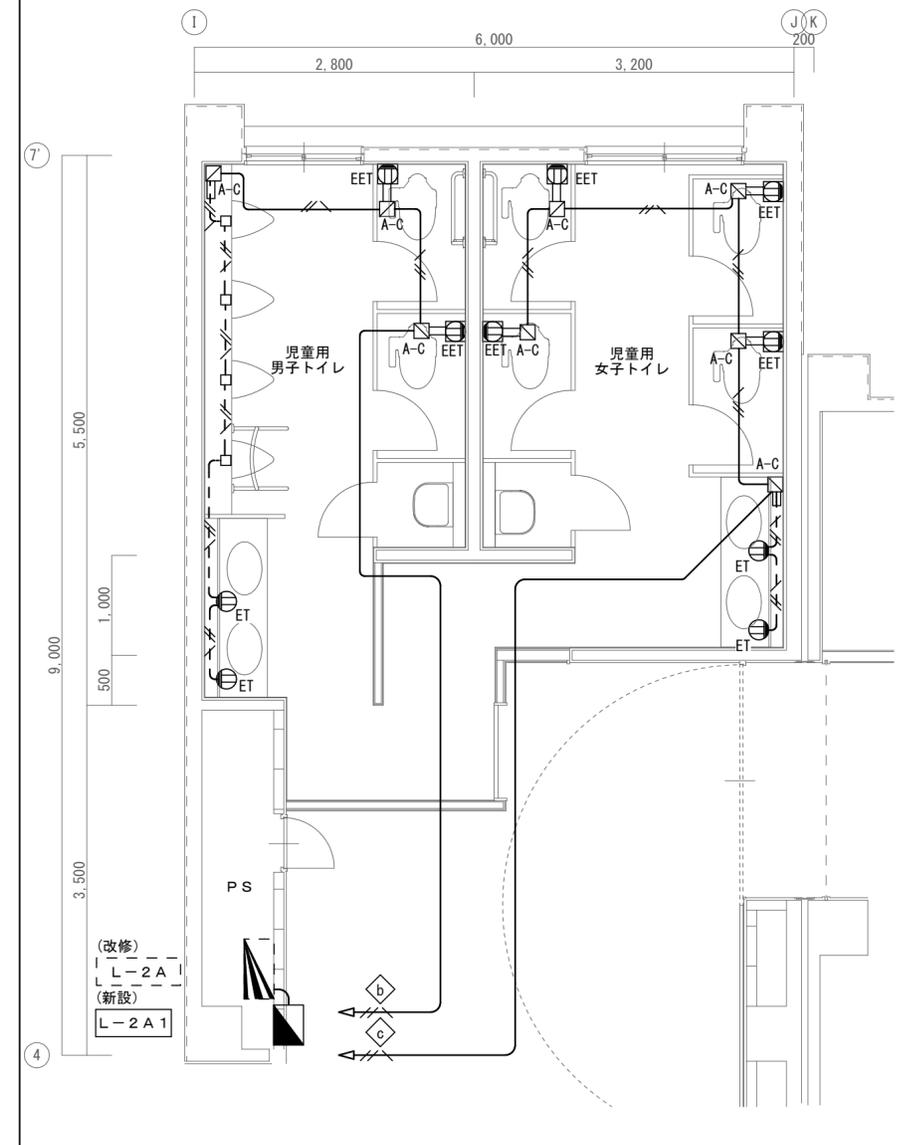
1 改修前 管理・特別教室棟 2階児童用トイレ電灯コンセント設備図



2 改修後 管理・特別教室棟 2階児童用トイレ電灯設備図



3 改修後 管理・特別教室棟 2階児童用トイレコンセント設備図



既設凡例

記号	名称	数量	備考
	逆富士型 FL40Wx1	2	撤去
	LED <sup>△</sup> -ｽﾀｲﾄ40形 直付型	1	取外し再取付
	LED <sup>△</sup> ﾀﾗｲﾄ	8	撤去
	1P15Ax2+PL x 1 (新金属P)	2	撤去
	2P15A x 1 (新金属P)	2	撤去
	煙感知器	1	取外し再取付
	IV1.6x2 (19)		撤去
	IV1.6x4 (25)		撤去

※実線部分の器具、配線等は改修を示す。  
 ※点線部分の器具、配線等は改修範囲外を示す。

線種凡例

記号	名称
	EM-EEF1.6-2C (天井内)
	EM-EEF1.6-3C (天井内)
	EM-EEF1.6-2C x 2 (天井内)
	EM-EEF1.6-3C x 2 (天井内)
	EM-EEF2.0-3C (天井内)
	EM-AE1.2-4C (天井内)

※実線部分の器具、配線等は改修を示す。  
 ※点線部分の器具、配線等は改修範囲外を示す。

児童用男子トイレ		児童用女子トイレ	
	1		1
	2		2
	2		3
	1		1
	2		2
	1		1
	1		1
	1		1

廊下

	1	※再取付
	1	※再取付
	2	

線種凡例

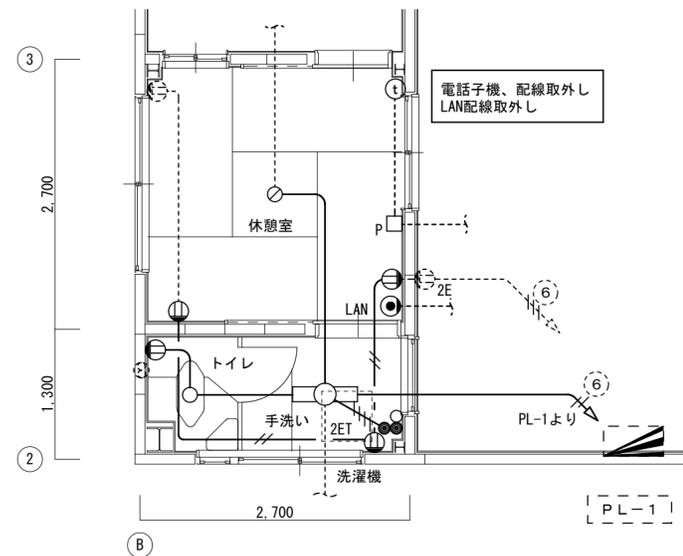
記号	名称	児童用男子トイレ	児童用女子トイレ
	EM-EEF1.6-3C (天井内)		
	EM-EEF2.0-3C (天井内)		
	EM-EEF2.0-3C (PF22)		
	EM-EEF2.0-3C (メタルモールA型内)		

※実線部分の器具、実線、破線部分の配線等は改修を示す。  
 ※点線部分の器具、配線等は改修範囲外を示す。

工事名	可児市立兼山小学校トイレ大規模改修工事		
種別	改修前・後管理・特別教室棟 2階トイレ電気設備詳細図	図面番号	E10 / 11
縮尺	1/50	作成年月	令和 7 年 10 月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		

1

改修前 給食棟1階トイレ電灯コンセント設備図



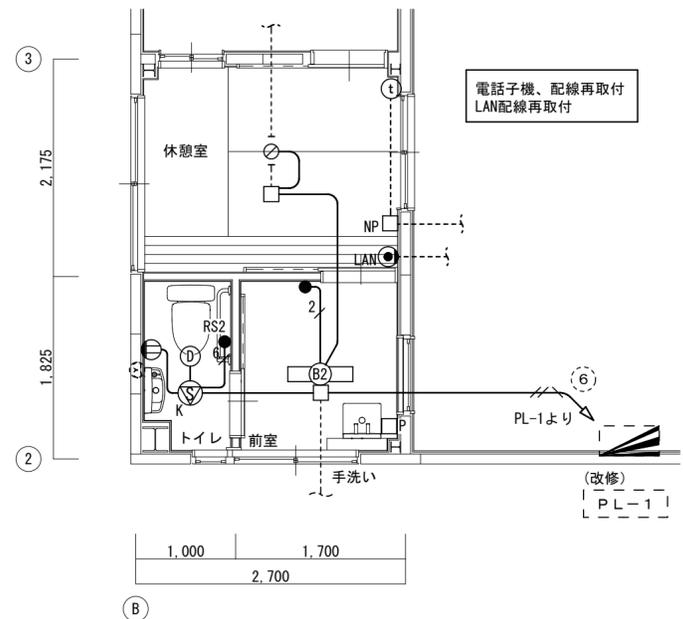
既設凡例

記号	名称	数量	備考
	逆富士型 FL20Wx1	1	撤去
	直付型 'シーリング' ライト IL40Wx1	1	撤去
	ペンダントライト FCL30Wx1	1	取外し再取付
	1P15Ax2+PL x 1 (新金属P)	1	撤去
	2P15A x 1 (新金属P)	1	撤去
	2P15A x 2 + ET x 1 (新金属P)	1	撤去
	電話機 子機 壁掛	1	取外し再取付
	情報用7ポート 壁付 (樹脂P)	1	撤去
	ブラクプレート	1	撤去
	IV1.6x2 (19)		撤去
	IV2.0x2 (19)		撤去
	IV2.0x2 · E2.0 (19)		撤去

※点線器具、配線等は改修範囲外を示す。

2

改修後 給食棟1階トイレ電灯設備図



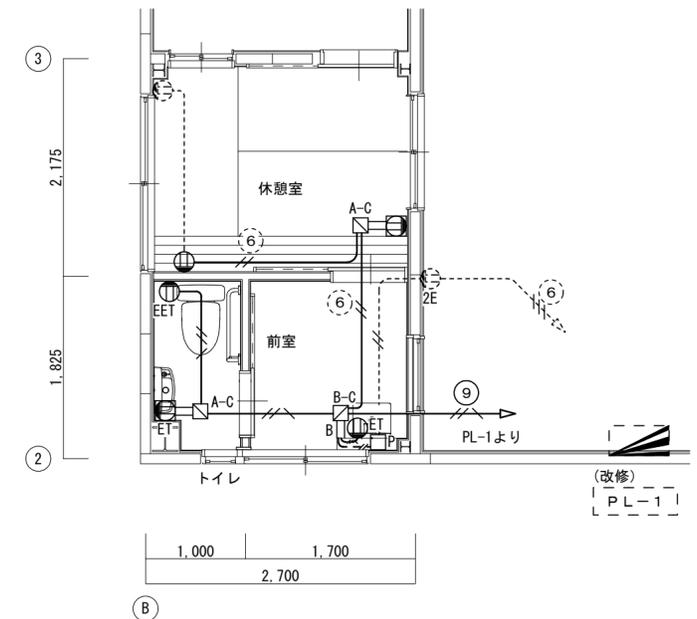
線種凡例

記号	名称	トイレ	前室	休憩室	備考
	EM-EEF1.6-3C (天井内)	1	1	1	※再取付
	EM-EEF1.6-2C (天井内)	1	1	1	※再取付
	EM-EEF1.6-2C x 2 (天井内)	1	1	1	
	EM-EEF1.6-3C x 2 (天井内)	1	1	1	
	EM-EEF2.0-3C (天井内)				

※点線配線は改修範囲外を示す。

3

改修後 給食棟1階トイレコンセント設備図



線種凡例

記号	名称	トイレ	前室	休憩室
	EM-EEF2.0-2C (天井内)	1	1	1
	EM-EEF2.0-3C (天井内)	1	1	1
	EM-EEF2.0-2C (PF22)	1	1	1
	EM-EEF2.0-3C (PF22)			
	EM-EEF2.0-3C (メタルモールA型内)			
	EM-EEF2.0-2C x 1 (メタルモールB型内)			

※点線配線は改修範囲外を示す。

工事名	可見市立兼山小学校トイレ大規模改造工事		
種別	改修前・後 給食棟1階 西トイレ電気設備詳細図	図面番号	E11 / 11
縮尺	1/50	作成年月	令和7年10月
設計者 氏名印	株式会社 廣建築設備設計 一級建築士 第311227号 野内雅仁		

# 機械設備工事 特記仕様書

## A. 工事概要

1. 工事名称	可児市立兼山小学校トイレ大規模改造工事
2. 工事場所	可児市兼山1444-1
3. 用途地域等	都市計画区域 ○ 都市計画区域内 ( ・ 市街化区域 ・ 市街化調整区域 ○ その他 ) ・ 都市計画区域外 用途地域 ・ 第一種低層住居専用地域 ・ 第二種低層住居専用地域 ・ 第一種中高層住居専用地域 ・ 第二種中高層住居専用地域 ・ 第一種住居地域 ・ 第二種住居地域 ・ 準住居地域 ・ 近隣商業地域 ・ 商業地域 ・ 準工業地域 ・ 工業地域 ・ 工業専用地域 ○ 用途地域の指定のない区域 防火地域 ・ 防火地域 ・ 準防火地域 ○ 指定なし その他の指定 ・ 建築基準法第22条指定区域内 ○ 建築基準法第22条指定区域外 ・ 指定なし
4. 建物概要	

棟番号	建物名称	構造及び階数	延面積	消防法施行令の適用	備考
⑦	管理・特別教室棟	RC-2	2,237m <sup>2</sup>	7項	改修
⑬	管理・普通教室棟	RC-2		7項	改修
⑧	給食棟	S-1	499.68m <sup>2</sup>	7項	改修
⑩	屋内運動場	S-1	924m <sup>2</sup>	7項	改修

5. 工事種目 ( ○ 印が付いたものが対象)						
建物別及び屋外	工 事 種 別					
工事種目	管理・特別教室棟	特別・普通教室棟	給食棟	屋内運動場		屋 外

○ 冷暖房設備			○			
○ 換気設備	○	○	○			
・ 排煙設備						
・ 自動制御設備						
○ 衛生器具設備	○	○	○	○		
○ 給水設備	○	○	○			○
○ 排水通気設備	○	○	○			○
・ 給湯設備						
・ ガス設備						
・ 消火設備						
・ 厨房設備						
・ 浄化槽設備						
・ 昇降機設備						

6. 設備概要 ( ○ 印を付けたものは、本工事あるいは既設設備の概要を示すもので、仕様を規定するものではない。)	
方式及び種別	設 備 概 要
○ 空調方式	・ ダクト方式 ( ・ 各階ユニット ・ 中央 ) ○ パッケージ方式 ( ・ マルチ ○ 個別 )
・ 暖房方式	・ ファンコイルユニット・ダクト方式 ・ ガスエンジンヒートポンプ方式 ・ 灯油エンジンヒートポンプ方式
・ 自動制御方式	・ 電気式 ・ 電子式 ・ デジタル式 ・ 中央監視制御
○ 給水方式	○ 水道直結方式 ○ 高置タンク方式 ・ 圧力タンク方式 ・ ポンプ直送方式 ・ 増圧給水直結方式
○ 排水方式	建物内汚水・雑排水 ( ○ 合流式 ・ 分流式 ) ポンプ排水 ・ 有 ( ・ 汚物 ・ 雑排水 ・ 湧水 ) ・ 無 建物外放流先 汚水 ( ○ 下水管直放流 ・ ) 雑排水 ( ○ 下水管直放流 ・ )
・ 消火設備の種別	・ 屋内消火栓設備 ・ スプリンクラー設備 ・ 泡消火設備 ・ 連結散水設備 ・ 連結送水管 ・ 不活性ガス消火設備 ( ・ )
・ ガスの種類	・ 都市ガス ( 種別 : 発熱量 MJ/m <sup>3</sup> (N) 供給事業者名 ) ・ 液化石油ガス ( ・ ボンベ ・ パルクタンク ・ )

## B. 工事仕様

### 1. 一般仕様

- 新設工事共通仕様書
- 特記仕様、図面及び現場説明書 (現場説明に対する質問回答書を含む)に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) (最新版) 及び公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) (最新版) による。
- 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事の仕様書を適用する。
- 改修工事共通仕様書
- 特記仕様書、図面及び現場説明書 (現場説明に対する質問回答書を含む)に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) (最新版) 及び公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) (最新版) による。
- 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事の仕様書を適用する。
- 可児市共通仕様書
- 上記仕様書の他、可児市建築工事共通仕様書 (最新版) による。
- 設計図書間に相違がある場合の優先順位は、次の (1) ~ (5) の順番とおりとする。
- 質疑回答書 (2) 現場説明書 (3) 特記仕様 (4) 図面 (5) 標準仕様書及び標準図
- 提出書類等
- 本工事の施工に関して提出書類は、可児市建築工事における取扱い書類一覧に基づき作成し提出又は提示する。また、工事着手時に工事用製本 (A3二つ折り) 3部を提出する。
- 完成時の提出書類
- 工事完成時には可児市建築工事における取扱い書類一覧に基づき書類を整理し完成図書としてまとめて監督員に提出すること。完成図は施工図も含め完成製本 (A2二つ折り、A3二つ折り) 各2部を提出すること。また、CADデータ (JWW又はDXF) を提出すること。
- 工事書類の簡素化
- 提出・指示書類は可児市建築工事における取扱い書類一覧に基づき実施するものとする。また、工事工事打合簿 (指示・協議・承諾は除く)、材料確認簿、段階確認簿、確認・立会願、夜間・休日作業届の書類を提出する場合は、所定様式に基づき、電子メールにて提出するものとし、書面には署名または押印する必要はないものとする。これらに定めのない事項については、監督員と協議する。

### 2. 特記事項

- この仕様書は下記の要領により適用する。
- 章は●印の付いたものを適用し、項目は○印内に数字のあるものを適用する。
- 特記事項は ○ 印だけを適用する。
- 東海地震に係る地震防災対策強化地域内における工事については「大規模地震対策特別措置法」による注意情報が発せられた場合、受注者は人身の保護及び安全な避難に必要な補強、落下防止等の安全措置を講ずるとともに、工事中断などの措置をとること。又この事実が発生した場合は、契約書第26条 (臨機の措置) によって処理されるものとする。

## 特 記 事 項

項 目	特 記 事 項
① 法令その他	本工事は工事に関する法令・条例及び規定等に基づいて施工する。官公署の検査を必要とするものについては、工事完成時までに検査を受け検査済証等の交付を受ける。「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」により、CORINS (工事実施情報サービス) への登録を原則とする。
② 工事実績情報の登録	
③ 機材等	1) 本工事に使用する設備機材等は、設計図書に定める品質および性能を有する新品とする。ただし、仮設工事材料・その他特に指定したものは新品でなくともよい。また、これらの機器・機材は監督員の承諾を受け施工する。 2) 主要材料については、速やかに主要機材の製作所名等一覧表を提出し、監督員の確認を受ける。 3) 設計図書に記載してあるもの及び監督員の指示する材料、仕上げの程度、色合い等については、あらかじめ見本を提出して確認を受ける。
④ 環境への配慮	使用資材については、ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・スチレン・エチルベンゼンの含まれる量等に充分注意し資材の選定を行うこと。上記が含まれる資材を使用する場合は監督員と協議し、指定濃度となるよう枯らし期間を充分取り施工を行うこと。 ・ 要 ・ 不要 基準以下であることを指定検査センターにて検査確認し、工期内に引渡しを行うこと。又ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の濃度が基準を上回った場合は、直ちに原因を特定し汚染源の除去を行い再度検査確認をする。除去及び再検査に要した費用の全ては受注者の負担とする。
⑤ 室内汚染物質の測定	1) 引き渡しを要するもの ( ・ ) 2) 特別管理産業廃棄物 ( ・ ) 3) 再生資源化を図るもの ( ・ ) 4) 石綿含有品 ( ○ 配管用成形保温材 ・ フランジ用ガasket ( ・ 配管 ・ ダクト ・ ボイラー本体 ) )
⑥ 発生材の処理	撤去する配管、ダクト等の保温は分離する。撤去部にアスベストを含む材料が使用されている場合は、適切に処理をする。配管、ダクト等の支持金物、吊りボルト等は本工事に撤去する。処理については「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「岐阜県廃棄物の適正処理に関する条例」「岐阜県建設廃棄物適正処理の三原則」の規定を遵守し適正に処理する。混合物の処理については管理最終処分場に持ち込むものとする。
⑦ 建設廃棄物	建設リサイクル法の実施に係る岐阜県指針に基づき、工事着手前に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を、また、工事完了後に同計画書の実施報告書 (COBRIS) を提出すること。
⑧ 再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書	建設発生土 (建設工事に伴い発生する土砂等) を撤出又は搬入する場合は「岐阜県埋立て等の規制に関する条例」(平成19年4月1日施行) を遵守すること。またその実施に際しては事前に計画書を作成し監督員へ提出、承認を得ること。
⑨ 残土処分	・ 土壌検査 ( ・ 実施する ・ 実施しない ・ 実施済み ) ・ 構内数均し ○ 建築工事にて処分 ○ 別契約の関係受注者 (包含工事の場合は元請) が設置したものは無償で使用できる。 ・ 本工事で設置する。 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり専用足場方式により行う。改修標準仕様書第1編2.2.1より足場の種別は以下による。 ・ 内部足場 ( ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 種 ) ・ 外部足場 ( ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 種 )
⑩ 足場その他	

## ● 一般共通事項

- 機材 (工事材料) の検査等
- 技能士
- 検査
- 概成工期
- 火災保険等
- 施工計画書
- 施工図等
- 軽微な変更等
- 工事写真
- 完成図書
- 監督員事務所
- 工事用水・電力等
- 電気保安技術者
- 工事前仮設物
- 総合調整
- 耐震措置

使用する機材について、自主検査記録 (任意様式) を作成すること。ただし、主要な機材については監督員の検査を受ける。なお、監督員検査の結果、合格とされた機材と同じ種類の機材は、以後原則として抽出検査とする。また、製造工場等における検査を行う機材については、監督員の指示による。

○ 配管 (建築配管作業) ○ 熱絶縁施工 (保温保冷工事作業) ・ 建築板金 (ダクト板金作業)  
・ 冷凍空調調和機器施工 (冷凍空調調和機器施工作業) ・ 空気圧縮装置組立て (空気圧縮装置組立て作業)  
・ 塗装 ・ さく井 ( ・ パーカッションさく井工事作業 ・ ロータリー式さく井工事作業)  
・ 鉄工 ( ・ 製缶作業 ・ 構造物鉄工作業)

中間検査 ・ 対象工事 (対象部分 : ) ・ 対象外工事  
工事施工途中における技術検査の対象箇所・実施回数等は監督員の指示による。  
総合試運転を行う上で、関連工事を含めた各工事が工期のおおむね10日前までに支障のない状況まで完了していること。工事施工中、火災保険又は、それに代わる請負賠償責任保険等に加入し、証書の写しを提出する。

- 総合施工計画書 (仮設含む)
- 工種別施工計画書

施工図等の著作権にかかるとの使用権は、発注者に移譲するものとする。

- 本仕様書・設計図に明記なき事項でも本工事完成の機能上・構造上・外観上当然施工を要する事項は請負金額の増減なく完全に施工のこと。
- 本設計図書内明記の既設配管は、既設図面及び所轄支所担当課指示に基づき作成されている為、既設の状況と図面との間に差異が生じ、本設計書による事が困難な場合は、監督員と打合せの上、その指示に従って施工する。

国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領 (平成24年版) ・同解説 工事写真の撮り方 (建築設備編)」による他、監督員の指示により撮影し提出する。

現場説明書による。  
・ 設けない ・ 設ける ( ・ 既設建物を使用 ・ 構内に新設 )

本工事に必要な工事用電力・水等及び諸手続きなどに要する費用はすべて受注者の負担とする。  
・ 要 ・ 不要  
構内につくることが ( ○ できる ・ できない ) 。

○ 本工事として下記の測定表を提出する。

総合調整項目  
・ 風量調整 ○ 水量調整 ・ 室内外空気の温湿度測定 ・ 室内空気流じんいの測定  
・ 騒音の測定 ○ 振動調整 ○ 初期運転状態の記録 ○ 飲料水の水质の測定 (26項目)

耐震措置の計算及び施工方法は次によるほか、建築設備耐震設計・施工指針2014年版 (独立行政法人建築研究所監修) による。

- 機器の据付け及び取付け  
設計用水平地震力は、機器の質量 (自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量) に、地域係数①・1.0・1.2] 及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。

部 位	機 器 種 別	特定の施設		○ 一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上・及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水槽類	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
1階及び地下階	機器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	1.0	0.6

上層階とは2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。  
重要機器は次のものを示す。  
・ 給水機器 (受水槽) ・ 排水機器 ( )  
・ 換気機器 ・ 空調機器 ・ 熱源機器 ・ 防災設備  
・ 監視制御設備 ・ 危険物貯蔵装置 ・ 火を使用する設備  
・ 避難経路上に設置する機器

- 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とした値とする。  
機器システム図及び重要な定期点検項目等を記載した案内板を設備機庫内に設ける。
- 呼び径60SU以下のステンレス鋼管の継手は、下記による。  
メカニカル形管継手 ( ・ 拡管式 ・ フレス式 )
- 建物導入部配管の変位吸取方法は標準図施工4・5 (建築物導入部の変位吸取配管要領) による。  
・ (a) フレキブルジョイントを使用 ・ (b) ボールジョイントを使用 ○ (c) スリークッション
- 溶接部の非破壊検査 ・ 不要 ・ 要 ( )

工事名	可児市兼山小学校トイレ大規模改造工事		
種 別	機械設備工事特記仕様書1	図面番号	M01 / 15
縮 尺	-	作成年月	令和 7 年 10 月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		

<p>● 一般共通事項</p> <p>34. 保温工事</p> <p>35. 塗装</p> <p>36. はつり</p> <p>37. 天井上区分</p> <p>38. 他工事又は他工種とのとりあい</p> <p>39. 電線類</p> <p>40. その他</p>	<p>標準仕様書第2編3章1節によるほか次による。ただし各工事種目で別に指定されたものは除く。</p> <p>・ 多湿箇所 室名： 配管：  ・ 共同溝内 ダクト： 配管：  ・ 保温無し屋内露出の配管及びダクトは塗装を行う。（ただし、機械室内及び屋上は除く）</p> <p>既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、図面に特記のない場合はダイヤモンドカッターによる。穴開けを行う際は、電磁誘導等の機器で鉄筋・電線管の探査を行う。穴開け箇所が既設の鉄筋と干渉する場合は、工事監理者と対応を協議すること。  （ ）書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。  図面に特記なき場合は、「工事区分表」による。</p> <p>電線及びEMケーブルの規格は標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による。電線類は、EMケーブルを使用する。（機器、盤類を除いてもよい）  屋外設置のマンホール類には用途名を入れる。  屋外で使用する鋼材等は、（ ・ 溶融亜鉛めっき仕上げ ○ステンレス鋼材 ）とする。</p>	<p>● 空気調和設備</p> <p>1. 設計温湿度</p> <p>2. ばいじん量測定口</p> <p>3. ばい煙濃度計取付座</p> <p>4. ダクト</p> <p>5. チャンパー</p> <p>6. ダンパー</p> <p>7. 風量測定口</p> <p>8. 配管材料</p> <p>9. 弁類</p> <p>10. 温度計・圧力計</p> <p>11. 瞬間流量計</p> <p>12. 油面制御装置</p> <p>13. 保温及び消音内貼</p>	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="4">外 気</td> <td colspan="4">屋内（調整目標値）</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2">一 般 系 統</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">一 般 系 統</td> <td colspan="2">凍結防止系統</td> </tr> <tr> <td></td> <td>温度（DB）</td> <td>湿度（RH）</td> <td>温度（DB）</td> <td>湿度（RH）</td> <td>温度（DB）</td> <td>湿度（RH）</td> <td>温度（DB）</td> <td>湿度（RH）</td> </tr> <tr> <td>夏季</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </table> <p>設ける（測定口は80mm以上とし、取り付け箇所は煙道の直線部とする）</p> <p>・ 設ける ・ 設けない</p> <p>・ 低圧ダクト ・ コーナーボルト工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分）  ・ アンギュルフランジ工法</p> <p>・ 高圧ダクト（範囲は図示による。）</p> <p>1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。  2) 空気調和機に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパー及びダクト系で消音内貼したチャンパーには内貼したチャンパーには点検口を設置し、寸法は図示による。  3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。</p> <p>1) 防煙ダンパー 復帰方式（ ・ 遠隔（定格入力はDC24V 0.7A以下） ・ ）  2) ピストンダンパー 復帰方式（ ・ 遠隔 ・ ）</p> <p>図示の位置に取り付ける。</p> <p>1) 冷温水管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・  ・ 架橋ポリエチレン管（20A以下）</p> <p>2) 冷却水管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・  ・ 硬質ポリ塩化ビニル管</p> <p>3) 空調用排水管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（白） ・  ・ 断熱材被覆鋼管（難燃性）</p> <p>4) 冷媒管 ・ 断熱材被覆鋼管（難燃性）</p> <p>5) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管は配管用炭素鋼鋼管（白）とする。</p> <p>6) 加湿用給水管 ・ ステンレス鋼管 ・ ポリ粉体鋼管（PA又はPB）  ・ 塩ビライニング鋼管（VA又はVB）</p> <p>7) 蒸気管 給気管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ・  ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）Sch40  還管 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）Sch80</p> <p>8) 油管 ・ 配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ ポリエチレン被覆鋼管 ・ 灯油用被覆鋼管</p> <p>1) 冷温水コイル廻り（標準図）の弁は（ ・ 仕切弁 ・ バタフライ弁 ）とする。  2) 蒸気加熱コイル廻り（標準図）の弁は仕切弁とする。  3) ファンコイルユニットと冷温水管の接続部（往・還）には、ボール弁を取付ける。  また、ファンコイルユニットには、（ ・ 流量調整弁 ・ 定流量弁 ）を設置する。</p> <p>下記表に○をつけた箇所を設置する。なお円形指示計は100mmφ以上とする。</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">機材名</th> <th rowspan="2">計測部位</th> <th rowspan="2">温度計の種類</th> <th colspan="2">温度計</th> <th colspan="2">圧力計</th> </tr> <tr> <th>入口側</th> <th>出口側</th> <th>入口側</th> <th>出口側</th> </tr> <tr> <td>冷温水機</td> <td>冷温水</td> <td>円形指示計</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>冷凍機</td> <td>冷却水</td> <td>円形指示計</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>パッケージ形</td> <td>サブライチャンパー</td> <td>円形指示計</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>空気調和機</td> <td>レタンチャンパー</td> <td>円形指示計</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ユニット形</td> <td>冷温水</td> <td>円形指示計</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>空気調和機</td> <td>サブライチャンパー レタンチャンパー</td> <td>円形指示計</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>熱交換器</td> <td>防振支持の機器</td> <td>円形指示計</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ヘッダー</td> <td>水槽類</td> <td>円形指示計</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </table> <p>瞬間流量計はビーター管方式によるもので、止水コック付とし、図示の位置に取り付ける。  なお瞬間流量計の形式は、（ ・ 固定式 ・ 着脱式 ）とする。  着脱式の場合、（40A 個 100A 個 ）を付属する。  制御盤には（ ・ 給油ポンプ制御 ・ 返油ポンプ制御 ・ 漏えい検知警報 ・ 満油警報 ・ 減油警報 ・ 遠隔警報 ・ 電磁弁制御 ）の端子を設ける。  なお、フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。  また、フロートスイッチ部はステンレス鋼製（油面検出部）とする。  標準仕様書第2編3.1.4によるほか、次による。  ・ 膨張管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項による。  ・ 建物内の空気抜き管の保温は標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項により、空気抜き対象管から空気抜きまでとする。  ・ 空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.5の排水管の項による。  ・ 冷媒管の保温外装は下記による。（ただし、天井内、機械室内、PS内は保温外装不要）  屋内露出（ ・ 合成樹脂製カパー ・ 保温化粧ケース（材質： ） ）  屋外露出（ ・ ステンレス鋼板 ・ 保温化粧ケース（材質： ）  ・ カラー亜鉛鉄板 ・ 溶融アルミニウム-亜鉛鉄板 ）  ・ 外気取入れ用ダクトの保温要（保温の厚さ2.5mm、範囲は図示による）  ・ 排気用ダクトの保温要（保温の厚さ2.5mm、範囲は図示による）  ・ 還気用ダクトの保温要（保温の厚さ2.5mm、範囲は図示による）</p>		外 気				屋内（調整目標値）					一 般 系 統				一 般 系 統		凍結防止系統			温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	夏季	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%	冬季	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%	機材名	計測部位	温度計の種類	温度計		圧力計		入口側	出口側	入口側	出口側	冷温水機	冷温水	円形指示計	—	—	—	—	冷凍機	冷却水	円形指示計	—	—	—	—	パッケージ形	サブライチャンパー	円形指示計	—	—	—	—	空気調和機	レタンチャンパー	円形指示計	—	—	—	—	ユニット形	冷温水	円形指示計	—	—	—	—	空気調和機	サブライチャンパー レタンチャンパー	円形指示計	—	—	—	—	熱交換器	防振支持の機器	円形指示計	—	—	—	—	ヘッダー	水槽類	円形指示計	—	—	—	—	<p>● 換気設備</p> <p>1. ダクト</p> <p>2. 風量測定口</p> <p>3. ダンパー</p> <p>4. シールする排気</p> <p>5. チャンパー</p> <p>6. 保温</p>	<p>・ 低圧ダクト ・ コーナーボルト工法（長辺の長さが1,500mm以下の部分）  ・ アンギュルフランジ工法  ・ スパイラルダクト ・ フレキシブルダクト（ ・ 保温付 ・ 保温無 ）</p> <p>・ 高圧ダクト（範囲は図示による。）  ・ ステンレスダクト及び塩化ビニルダクト（範囲及び仕様は図示による）  ・ 厨房系統の排気ダクトは標準仕様書第3編2.2.2.2のダクトの板厚の項より一番手厚いものを使用する。（範囲は図示による）  図示の位置に取り付ける。  空気調和設備の当該項目による。  ・ 厨房系統 ・ 浴室（シャワー室、脱衣室を含む）系統 ・</p> <p>空気調和設備の当該項目による。  次のダクトは保温を行う。  ・ 外気取入れ用ダクトの保温要（保温の厚さ2.5mm、範囲は図示による） ※取り入れ口より吹き出し口まで全て  ・ 排気用ダクトの保温要（保温の厚さ2.5mm、範囲は図示による） ※外壁より1m  ・ 多湿箇所のダクトの保温要（保温の厚さ50mm、範囲は図示による）  ・ 厨房及び湯沸室の排気ダクトの保温要（保温の厚さ50mm（RW）、範囲は図示による）</p>
	外 気				屋内（調整目標値）																																																																																																																
	一 般 系 統				一 般 系 統		凍結防止系統																																																																																																														
	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）	温度（DB）	湿度（RH）																																																																																																													
夏季	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%																																																																																																													
冬季	℃	%	℃	%	℃	%	℃	%																																																																																																													
機材名	計測部位	温度計の種類	温度計		圧力計																																																																																																																
			入口側	出口側	入口側	出口側																																																																																																															
冷温水機	冷温水	円形指示計	—	—	—	—																																																																																																															
冷凍機	冷却水	円形指示計	—	—	—	—																																																																																																															
パッケージ形	サブライチャンパー	円形指示計	—	—	—	—																																																																																																															
空気調和機	レタンチャンパー	円形指示計	—	—	—	—																																																																																																															
ユニット形	冷温水	円形指示計	—	—	—	—																																																																																																															
空気調和機	サブライチャンパー レタンチャンパー	円形指示計	—	—	—	—																																																																																																															
熱交換器	防振支持の機器	円形指示計	—	—	—	—																																																																																																															
ヘッダー	水槽類	円形指示計	—	—	—	—																																																																																																															
<p>● 改修関係事項</p> <p>1. 既設との取合い</p> <p>2. 施工調査</p> <p>3. 仮設間仕切</p> <p>4. 養生</p> <p>5. 既設ダクトの再利用</p> <p>6. 非破壊検査</p> <p>7. 試験</p> <p>8. あと施工アンカー</p> <p>9. 撤去工事</p> <p>10. 冷媒（フロン類）の回収</p>	<p>1) 本工事施工に伴う既設設備の軽微な加工改造は、本工事とする。  2) 撤去及び取壊し工事は、既存設備の概要を十分に調査・把握・検討した後着工する事。  事前調査 ○ 本工事 ・ 別途  調査項目 ○ 既存資料調査  調査範囲・方法 ・ 図示 ○ 工事範囲</p> <p>仮設間仕切は、改修標準仕様書第1編2.2.3による。種別（ ・ A種 ・ B種 ・ C種 ）  既存部分の養生は、改修標準仕様書第1編3章による。  改修標準仕様書第3編2.2.8「既設ダクトの再利用」による。  改修標準仕様書第3編2.2.9「ダクト清掃」を ・ 行う ・ 行わない  放射線透過検査等による埋設物の調査は（ ・ 要 ・ 不要 ）とする。  範囲は監督職員の指示による。なお、検査費は別途とする。</p> <p>1) 各種配管の試験は、新設配管に適用する。  2) 新設配管は、既設配管との接続前に試験を行う。  3) 給水管は水圧試験、排水管は満水試験を行う。</p> <p>改修標準仕様書第2編5.1.3「インサート及びアンカー」による。  下記試験を行う場合には、範囲は監督員と協議による。  ・ アンカー引抜試験（ ・ 性能確認試験 ・ 施工後確認試験 ）</p> <p>撤去する配管（断熱材被覆鋼管を含む）、ダクト等の保温は分離する。  撤去する配管、ダクト等の支持金物、吊りボルト等は本工事にて撤去する。  石綿含有分析調査 ・ 本工事 ○ 別途工事  石綿撤去方法 ・ 本工事（ ・ 図示による ） ・ 別途工事  業務用冷凍空調機器の撤去に伴う冷媒の回収方法は、改修標準仕様書第3編2.4.3により、次の書類の写しを監督員に提出する。  ・ 冷媒充填・回収証明書 ・ 特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券）  撤去する前にフロンを屋外側ユニットに集める作業（ポンプダウン）を行う。  パッケージ形空気調和機の移設等により、冷媒の回収・再充填が必要となる場合においては、上記に準じて冷媒の大気中への放出を防止する措置を講じること。</p>		<p>瞬間流量計はビーター管方式によるもので、止水コック付とし、図示の位置に取り付ける。  なお瞬間流量計の形式は、（ ・ 固定式 ・ 着脱式 ）とする。  着脱式の場合、（40A 個 100A 個 ）を付属する。  制御盤には（ ・ 給油ポンプ制御 ・ 返油ポンプ制御 ・ 漏えい検知警報 ・ 満油警報 ・ 減油警報 ・ 遠隔警報 ・ 電磁弁制御 ）の端子を設ける。  なお、フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。  また、フロートスイッチ部はステンレス鋼製（油面検出部）とする。  標準仕様書第2編3.1.4によるほか、次による。  ・ 膨張管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項による。  ・ 建物内の空気抜き管の保温は標準仕様書第2編3.1.4の温水管の項により、空気抜き対象管から空気抜きまでとする。  ・ 空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は、標準仕様書第2編3.1.5の排水管の項による。  ・ 冷媒管の保温外装は下記による。（ただし、天井内、機械室内、PS内は保温外装不要）  屋内露出（ ・ 合成樹脂製カパー ・ 保温化粧ケース（材質： ） ）  屋外露出（ ・ ステンレス鋼板 ・ 保温化粧ケース（材質： ）  ・ カラー亜鉛鉄板 ・ 溶融アルミニウム-亜鉛鉄板 ）  ・ 外気取入れ用ダクトの保温要（保温の厚さ2.5mm、範囲は図示による）  ・ 排気用ダクトの保温要（保温の厚さ2.5mm、範囲は図示による）  ・ 還気用ダクトの保温要（保温の厚さ2.5mm、範囲は図示による）</p>																																																																																																																		
					<table border="1"> <tr> <td>工事名</td> <td colspan="3">可児市立兼山小学校トイレ大規模改修工事</td> </tr> <tr> <td>種別</td> <td>機械設備工事特記仕様書2</td> <td>図面番号</td> <td>M02 / 15</td> </tr> <tr> <td>縮尺</td> <td>-</td> <td>作成年月</td> <td>令和7年10月</td> </tr> <tr> <td>設計者</td> <td colspan="3">株式会社 廣建築設備設計</td> </tr> <tr> <td>氏名印</td> <td colspan="3">一級建築士 第311227号 野内雅仁</td> </tr> </table>	工事名	可児市立兼山小学校トイレ大規模改修工事			種別	機械設備工事特記仕様書2	図面番号	M02 / 15	縮尺	-	作成年月	令和7年10月	設計者	株式会社 廣建築設備設計			氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁																																																																																														
工事名	可児市立兼山小学校トイレ大規模改修工事																																																																																																																				
種別	機械設備工事特記仕様書2	図面番号	M02 / 15																																																																																																																		
縮尺	-	作成年月	令和7年10月																																																																																																																		
設計者	株式会社 廣建築設備設計																																																																																																																				
氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁																																																																																																																				

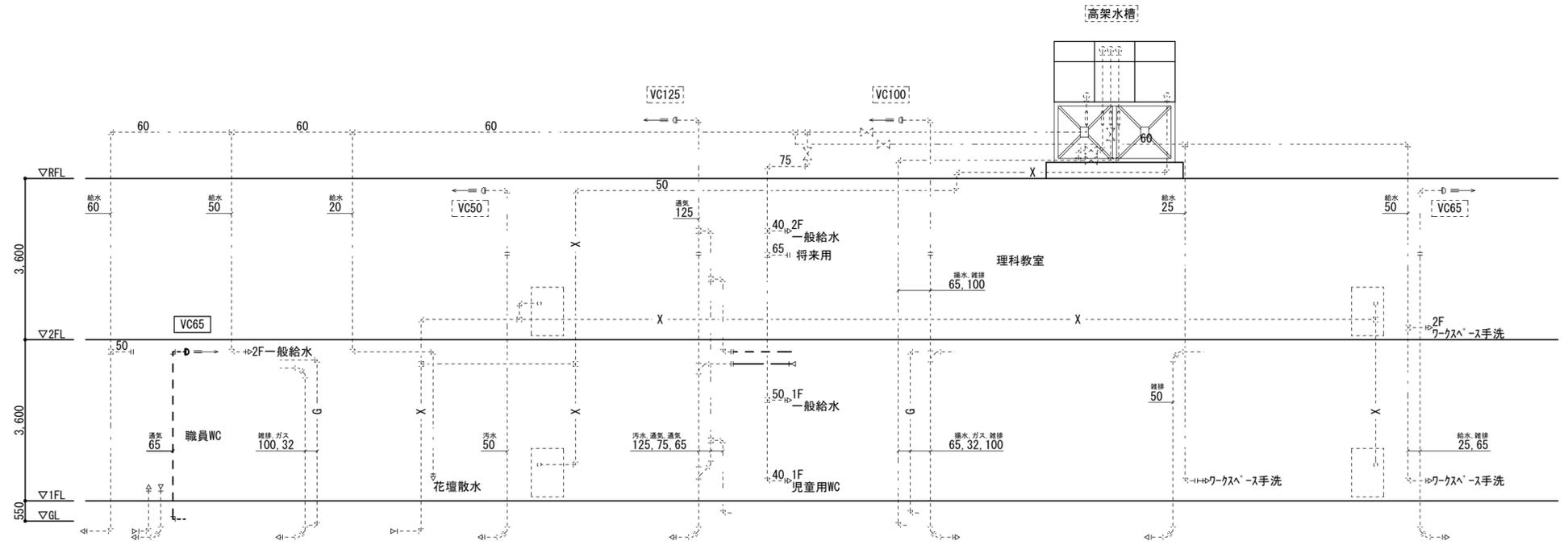




1

改修前 衛生設備系統図

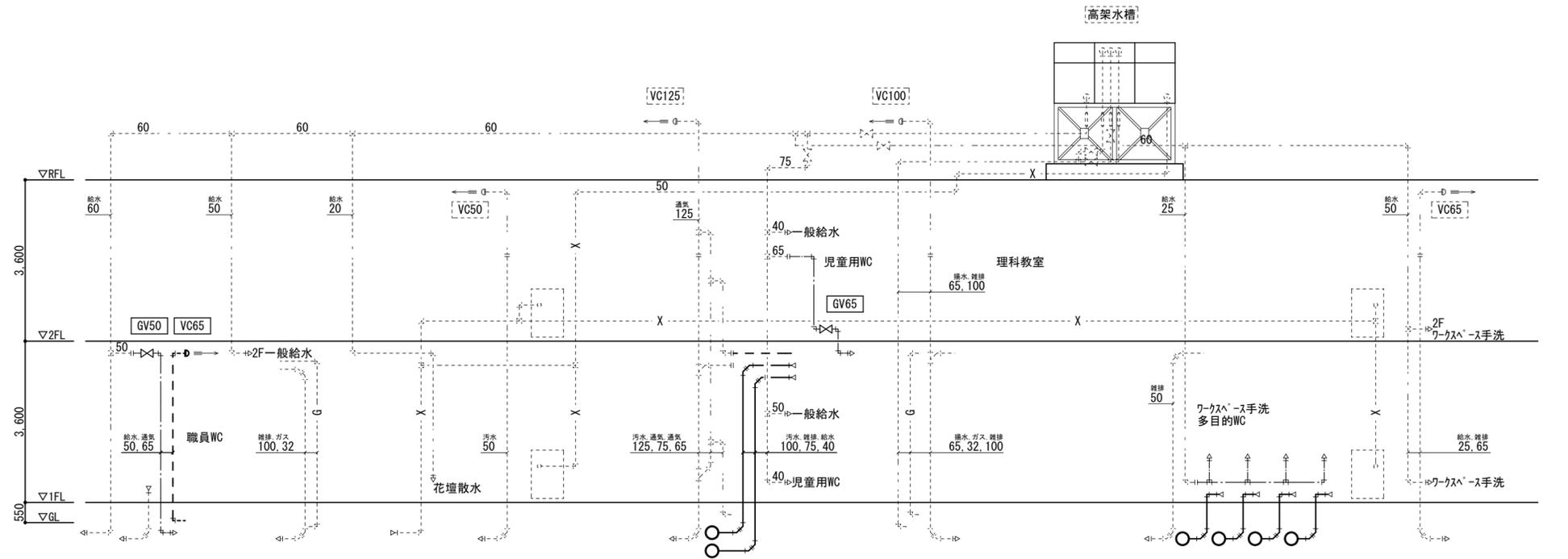
記号	名称	仕様(参考)
—	給水管	埋設 外面ポリエチレンライニング鋼管 VB 埋設以外 硬質塩化ビニルライニング鋼管 VB
—	汚水・雑排水管	埋設 硬質塩化ビニル管 VP
- - -	通気管	埋設以外 耐火二層管



2

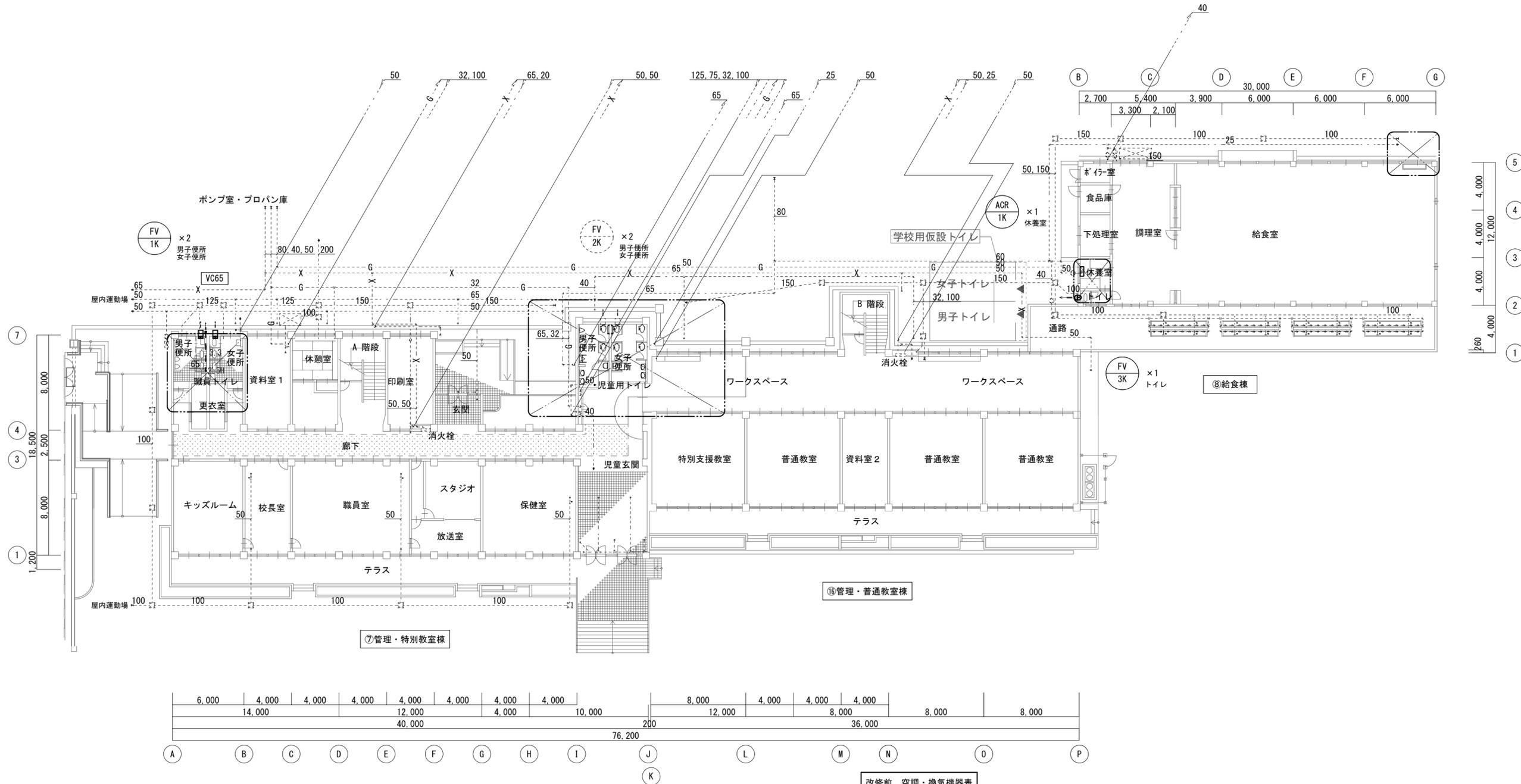
改修後 衛生設備系統図

記号	名称	仕様
—	給水管	埋設 硬質ポリ塩化ビニル管 HIVP 埋設以外 硬質塩化ビニルライニング鋼管 VB
—	汚水・雑排水管	埋設・屋外 硬質塩化ビニル管 VP
- - -	通気管	上記以外 耐火二層管



記号	仕様	記号	仕様	記号	仕様
⊗	仕切弁	⊕	床上掃除口	—	実線：撤去配管を示す
⊙	単水栓	⊗	排水目皿	- - -	破線：既設配管を示す
⊗	フラッシュ弁	⊕	通気金具	—  —	配管切断・接続を示す
⊕	埋設標示標	⊙	塩ビ樹・塩ビ製蓋		
△	コア抜き				

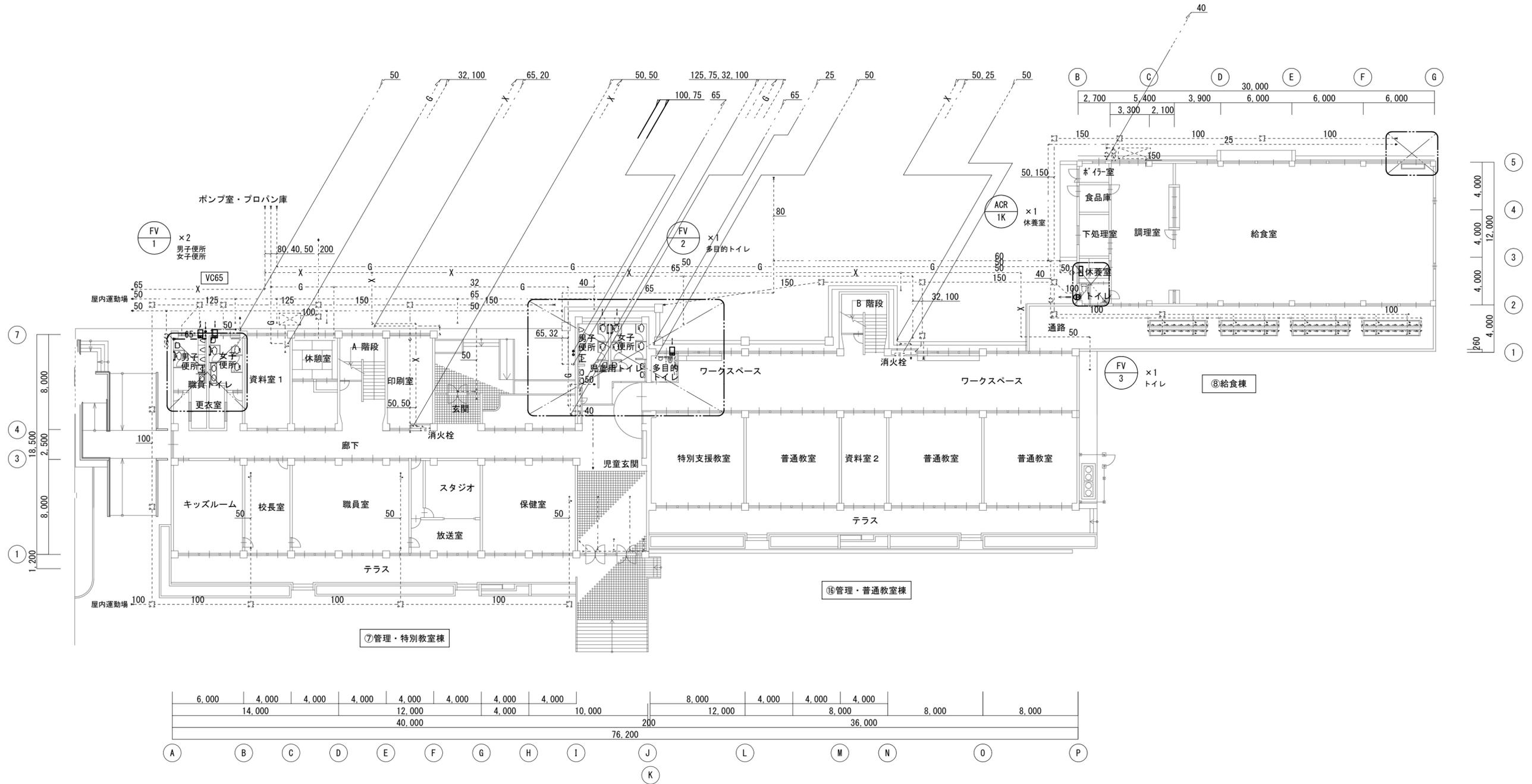
工事名	可児市立兼山小学校トイレ大規模改造工事		
種別	改修前・後 衛生設備系統図	図面番号	M05 / 15
縮尺	-	作成年月	令和 7 年 10 月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		



改修前 空調・換気機器表

符号	仕様	職員用トイレ		児童用トイレ		給食棟		改修内容
		男子便所	女子便所	男子便所	女子便所	トイレ	休養室	
ACR-1K	ルームエアコン室内機(壁掛) C:2.2kW						1	取外し
FV-1K	壁扇 250φ フード	1	1					撤去
FV-2K	壁扇 200φ			1	1			残置
FV-3K	パイプファン フード					1		撤去

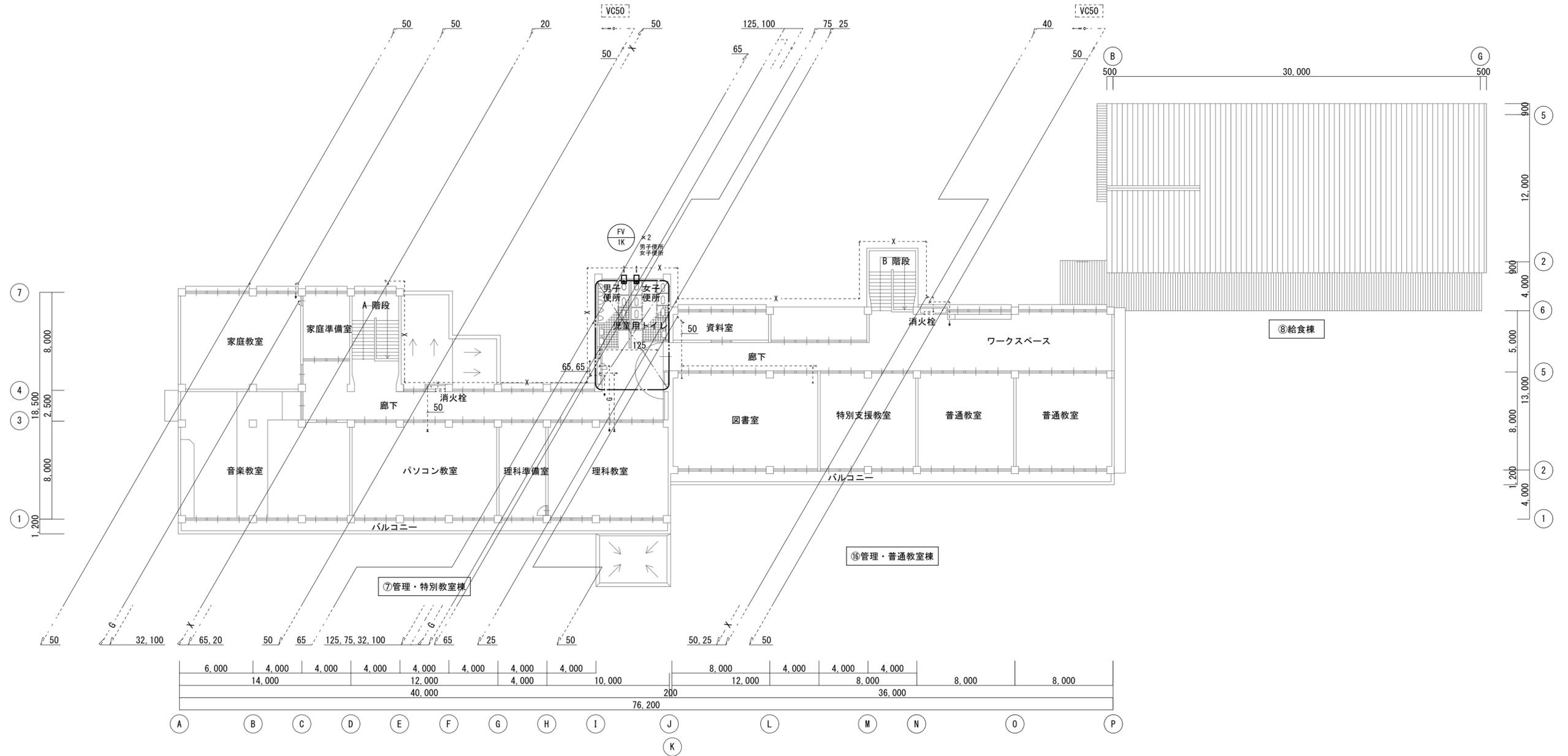
工事名	可児市立兼山小学校トイレ大規模改修工事		
種別	改修前 1階衛生設備図	図面番号	M06 / 15
縮尺	1/250	作成年月	令和 7 年 10 月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		



改修後 空調機器表

符号	仕様	給食棟 休憩室	改修内容
ACR-1K	ル・L17コン室内機(壁掛) C:2.2kW	1	再取付

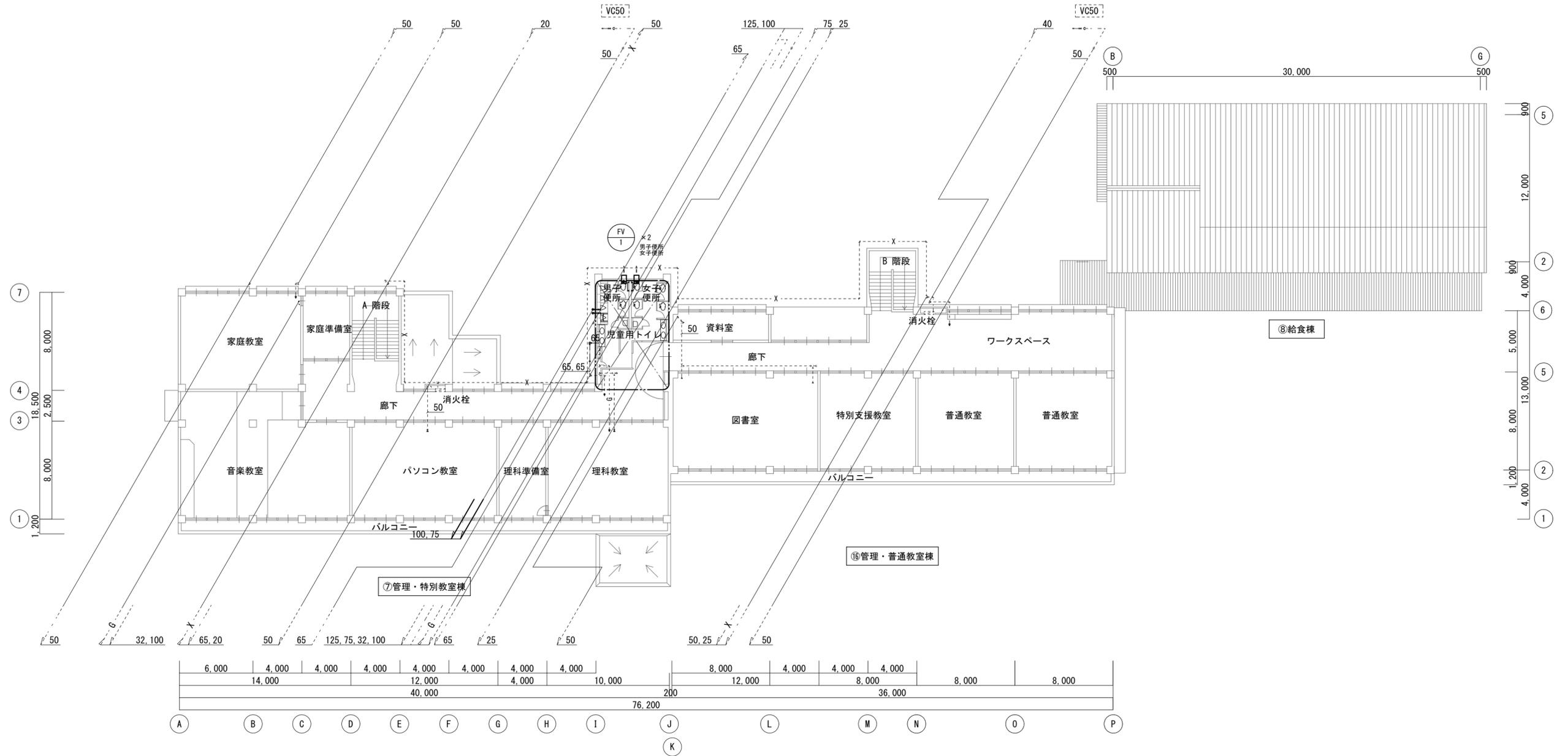
工事名	可児市立兼山小学校トイレ大規模改修工事		
種別	改修後 1階衛生設備図	図面番号	M07 / 15
縮尺	1/250	作成年月	令和 7 年 10 月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		



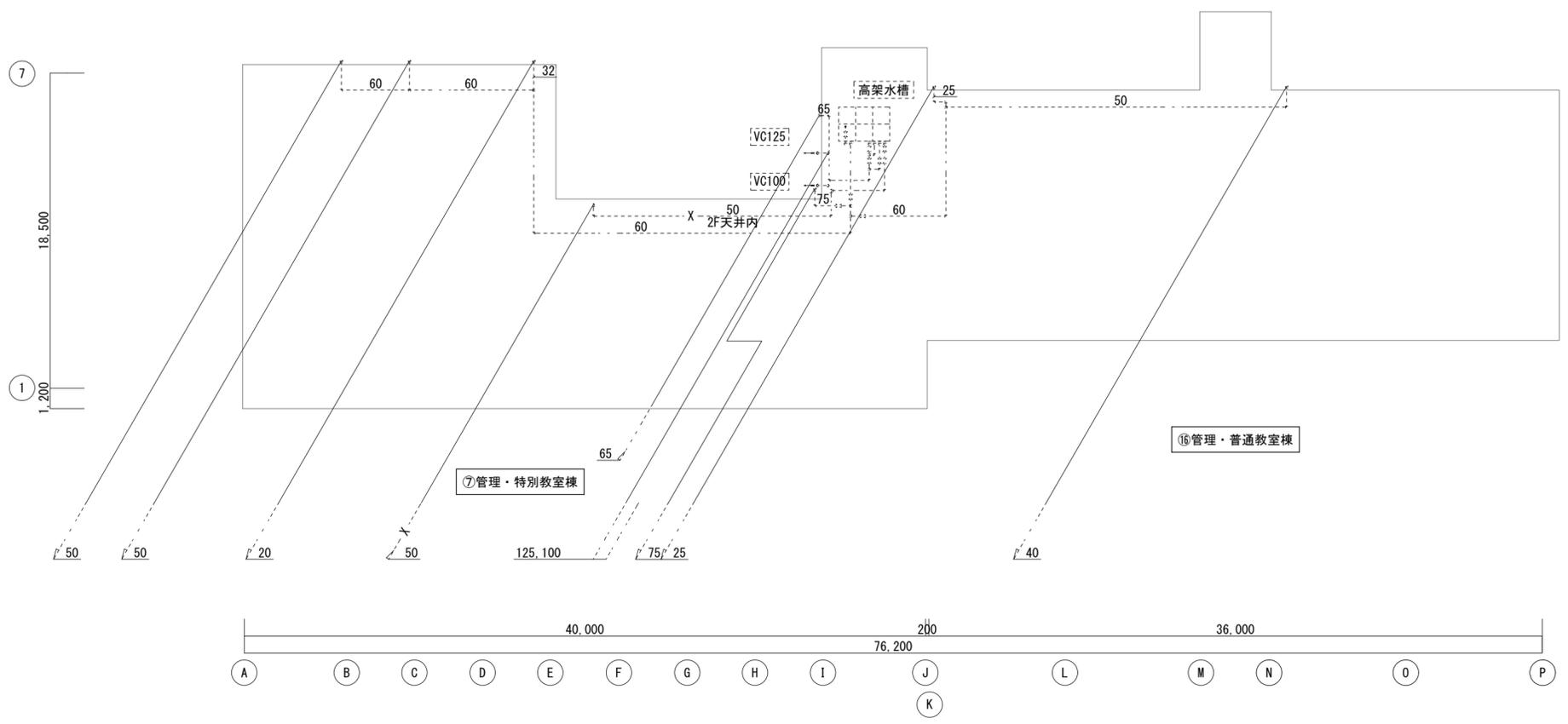
改修前 換気機器表

符号	仕様	児童用トイレ		改修内容
		男子便所	女子便所	
FV-1K	壁扇 250φ フード	1	1	撤去

工事名	可児市立兼山小学校トイレ大規模改修工事		
種別	改修前 2階衛生設備図	図面番号	M08 / 15
縮尺	1/250	作成年月	令和 7 年 10 月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		



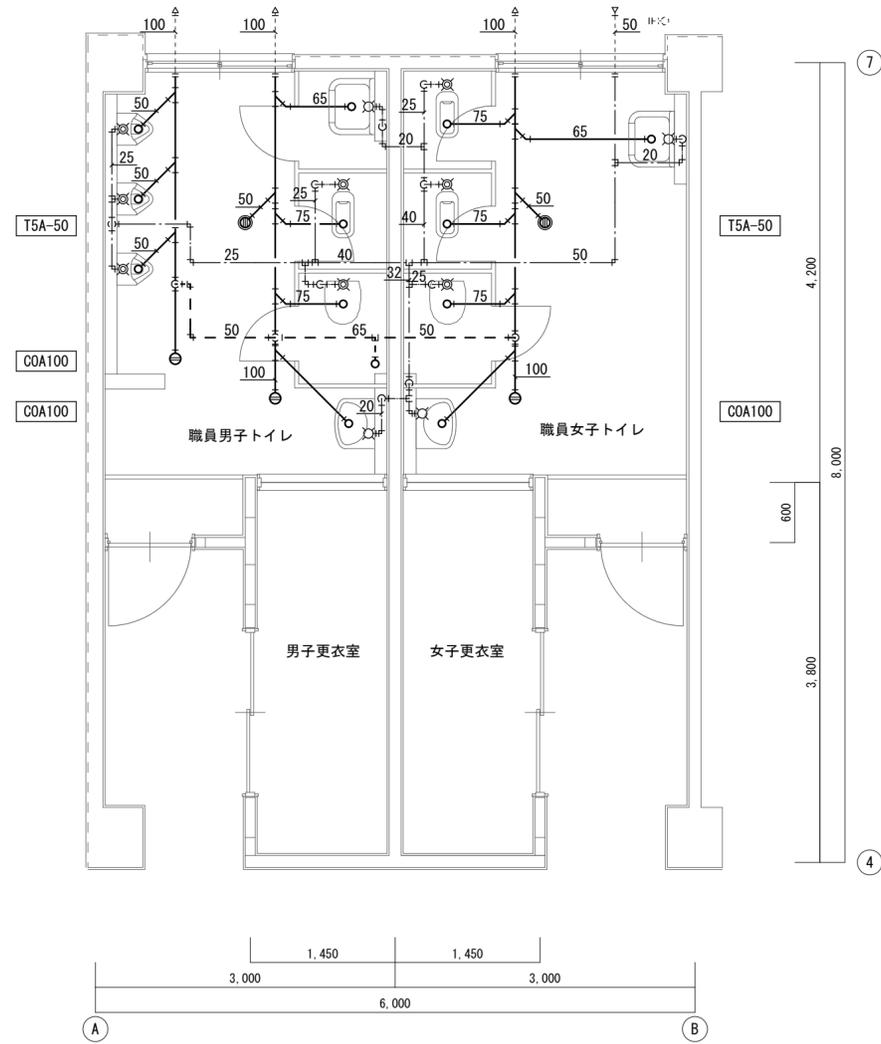
工事名	可児市立兼山小学校トイレ大規模改造工事		
種別	改修後 2階衛生設備図	図面番号	M09 / 15
縮尺	1/250	作成年月	令和 7 年 10 月
設計者 氏名印	株式会社 廣建築設備設計 一級建築士 第311227号 野内雅仁		



工事名	可児市立兼山小学校トイレ大規模改造工事		
種別	改修前・後 R階衛生設備図	図面番号	M10 / 15
縮尺	1/250	作成年月	令和 7 年 10 月
設計者 氏名印	株式会社 廣建築設備設計 一級建築士 第311227号 野内雅仁		

1

改修前 ⑦管理・特別教室棟1階職員用トイレ平面詳細図



改修前 衛生器具表

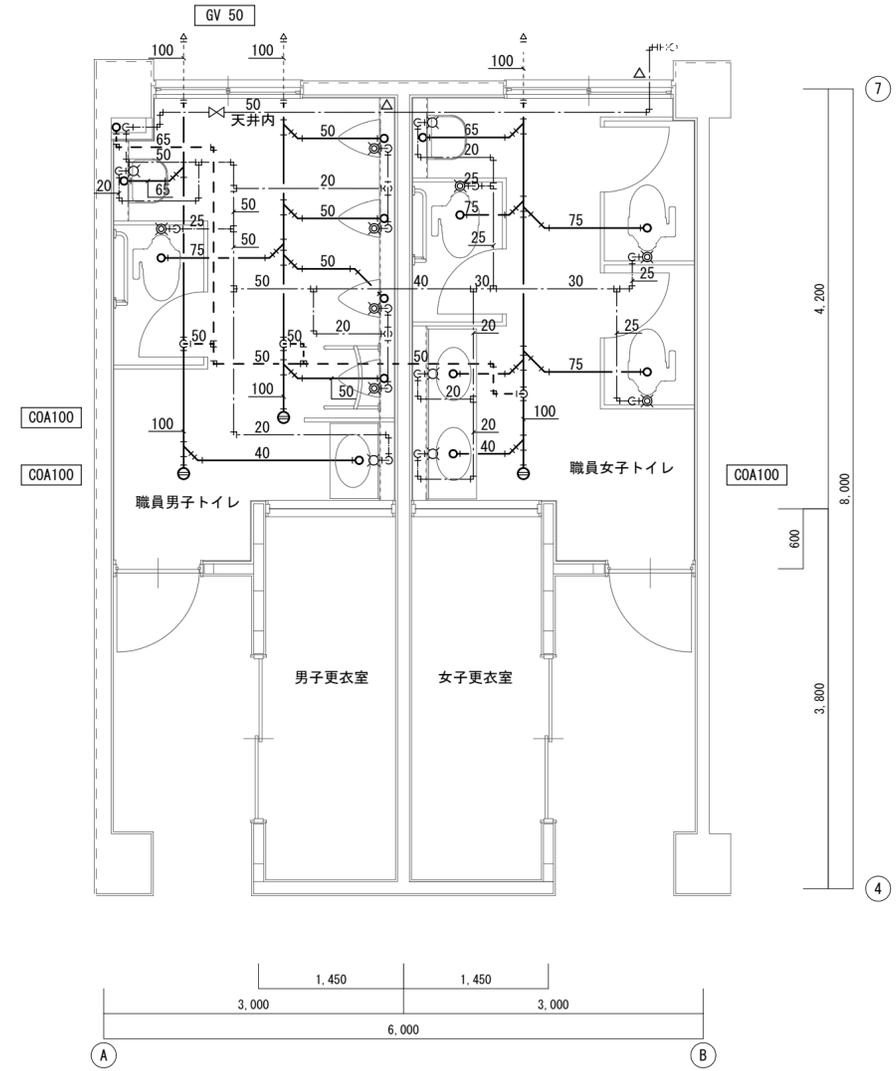
名称	仕様	男子便所	女子便所	改修内容
和風便器	フラッシュバルブ 紙巻器	1	2	撤去
洋風便器	フラッシュバルブ 紙巻器 洗浄便座	1	1	撤去
小便器	床置 自動洗浄 (フラッシュバルブ)	3		撤去
洗面器	カンケー 鏡	1	1	撤去
掃除流し		1	1	撤去

凡例

記号	説明
—	実線：撤去配管を示す
----	破線：既設配管を示す
— ---	配管切断を示す

2

改修後 ⑦管理・特別教室棟1階職員用トイレ平面詳細図

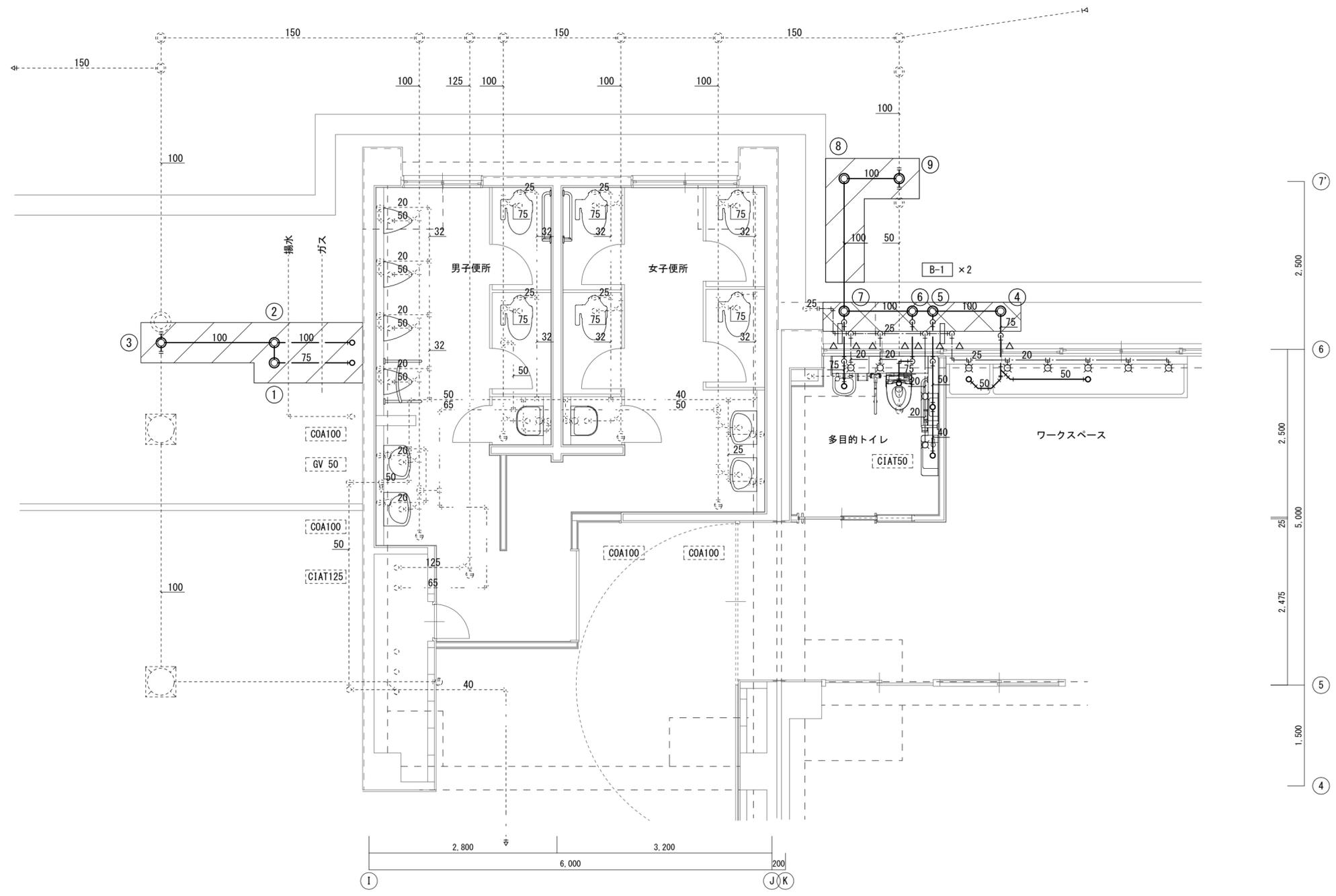


凡例

記号	説明
—	実線：新設配管を示す
----	破線：既設配管を示す
— ---	接続位置を示す

工事名	可見市立兼山小学校トイレ大規模改造工事		
種別	改修前・後 管理・特別教室棟 1階職員用トイレ衛生詳細図	図面番号	M11 / 15
縮尺	1/50	作成年月	令和 7 年 10 月
設計者 氏名印	株式会社 廣建築設備設計 一級建築士 第311227号 野内雅仁		

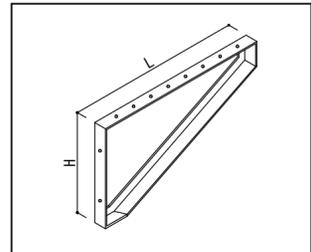




改修後 衛生器具表

名称	仕様	男子便所	女子便所	改修内容
洋風便器	フラッシュバルブ 紙巻器 洗浄便座	2	4	再取付
小便器	壁掛 自動洗浄 (フラッシュバルブ)	4		再取付
洗面器		2	2	再取付
多目的流し		1	1	再取付
L型手すり		1	1	再取付
小便器用手すり		1		再取付

配管架台 (参考図)



記号	管本数	使用材料	L	H
B-1	1本	L-50×50×6	300	150

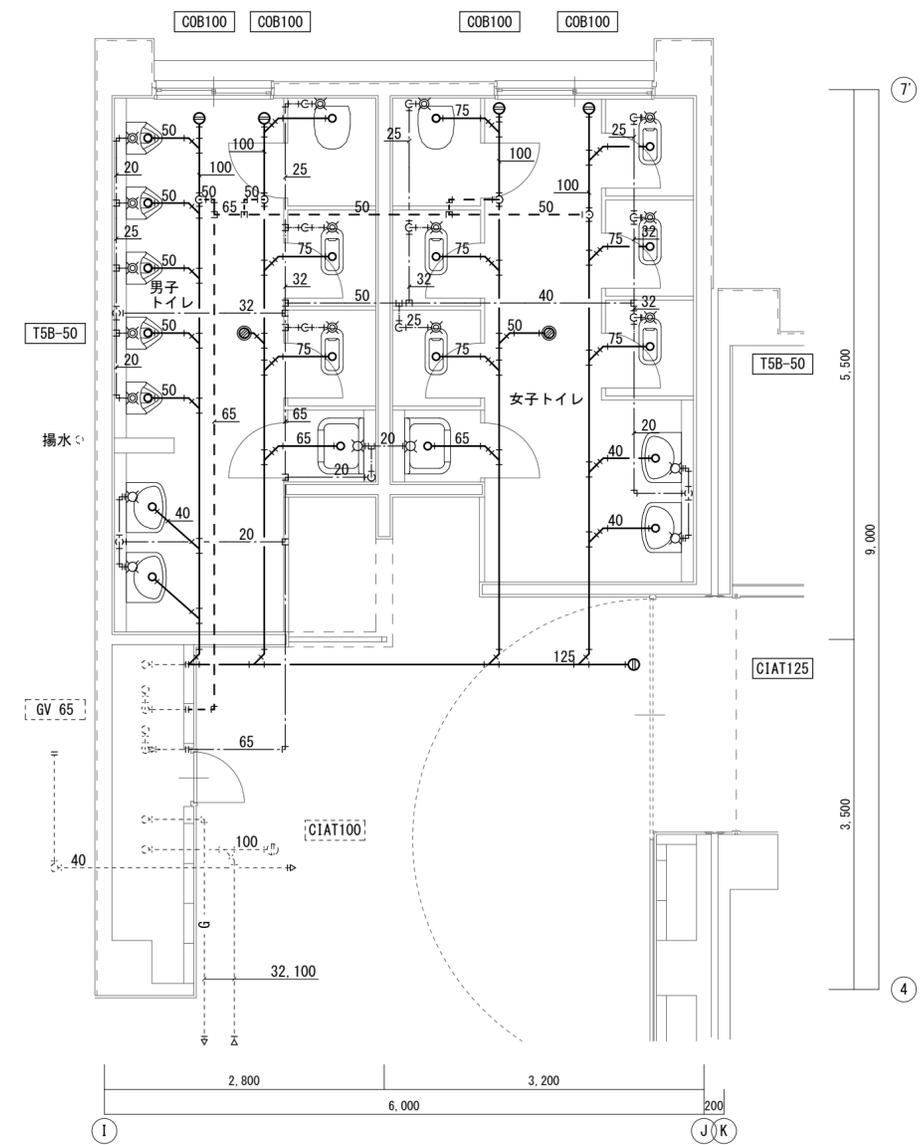
凡例

記号	説明
—	実線：新設配管を示す
----	破線：既設配管を示す
— —	接続位置を示す
▨	アスファルト復旧範囲 (建築工事)
▩	犬走りコンクリート復旧範囲 (建築工事)

工事名	可児市立兼山小学校トイレ大規模改造工事		
種別	改修後 管理・普通教室棟 1階児童トイレ平面詳細図	図面番号	M13 / 15
縮尺	1/50	作成年月	令和 7 年 10 月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		

1

改修前 ⑦管理・特別教室棟2階児童用トイレ平面詳細図



改修前 衛生器具表

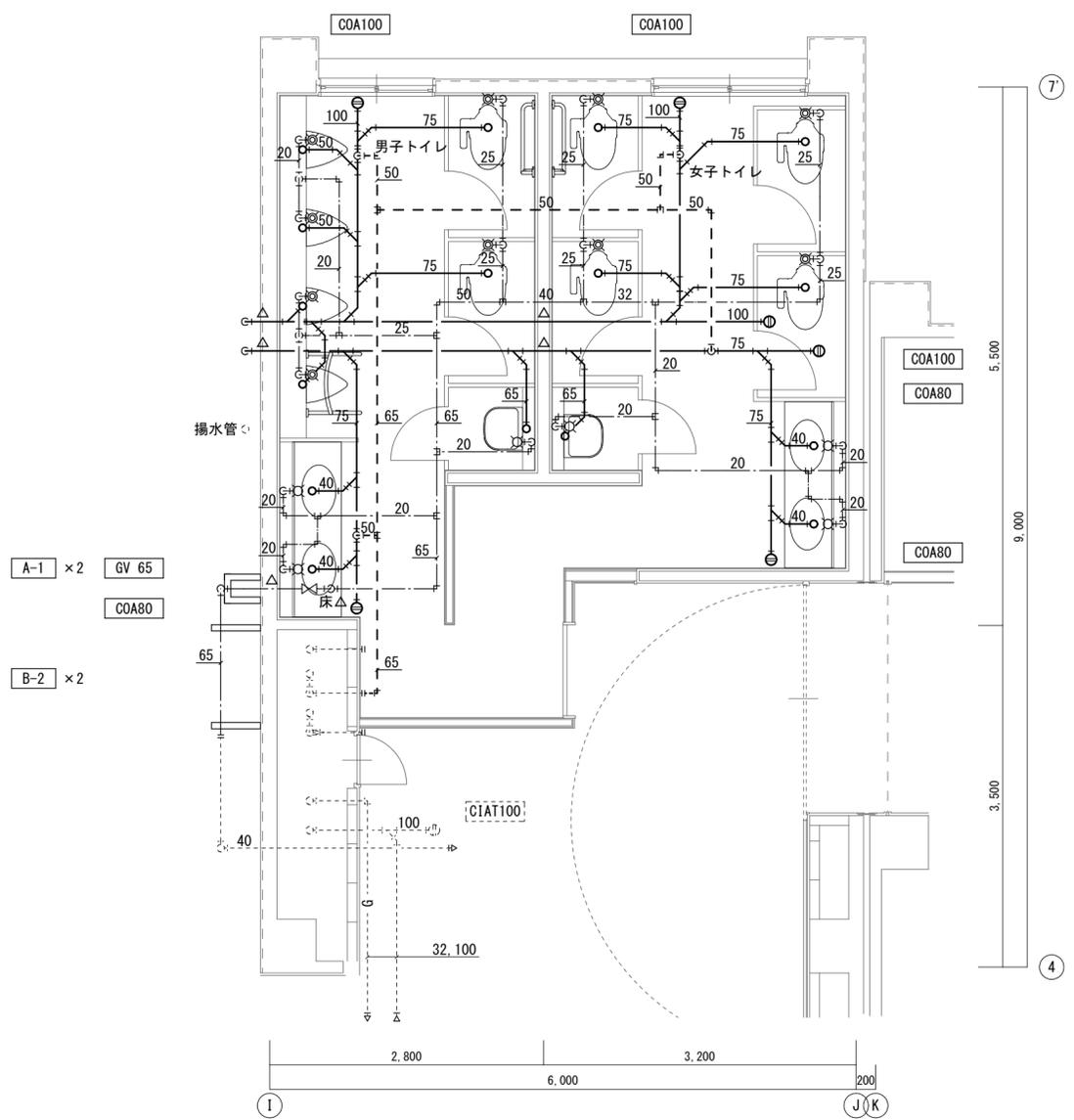
名称	仕様	男子便所	女子便所	改修内容
和風便器	フラッシュバルブ 紙巻器	2	5	撤去
洋風便器	フラッシュバルブ 紙巻器 洗浄便座	1	1	撤去
小便器	床置 自動洗浄 (フラッシュバルブ)	5		撤去
洗面器	カンケー 鏡	2	2	撤去
掃除流し		1	1	撤去

凡例

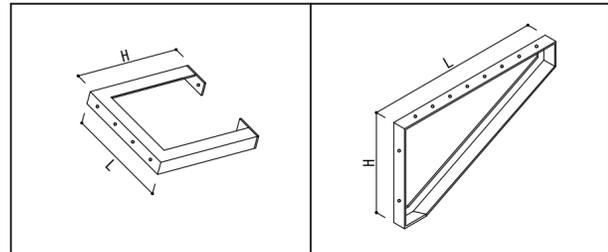
記号	説明
—	実線：撤去配管を示す
----	破線：既設配管を示す
— —	配管切断を示す

2

改修後 ⑦管理・特別教室棟2階児童用トイレ平面詳細図



配管架台 (参考図)



記号	管本数	使用材料	L	H	記号	管本数	使用材料	L	H
A-1	1本	[ 130×65×6	300	400	B-2	1本	L-50×50×6	500	300

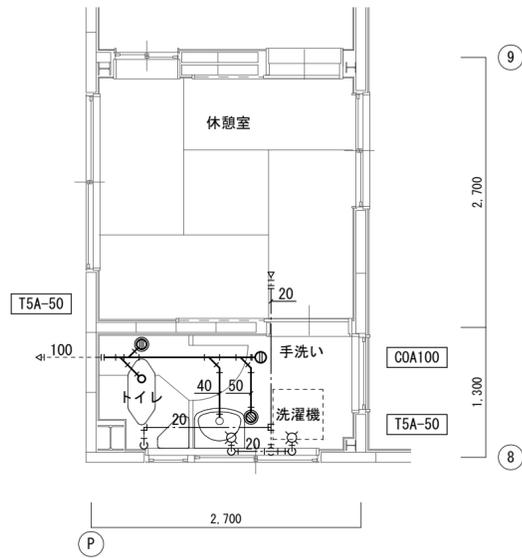
凡例

記号	説明
—	実線：新設配管を示す
----	破線：既設配管を示す
— —	接続位置を示す

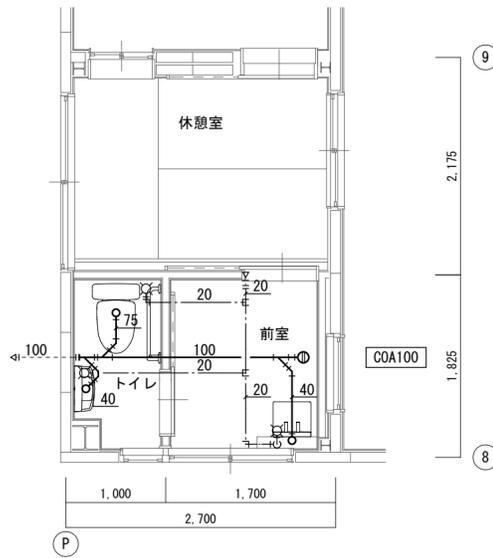
・新設配管のスラブ立上り、立下りはコア抜きとする。

工事名	可見市立兼山小学校トイレ大規模改造工事		
種別	改修前・後 管理・普通教室棟 2階児童用トイレ平面詳細図	図面番号	M14 / 15
縮尺	1/50	作成年月	令和7年10月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		

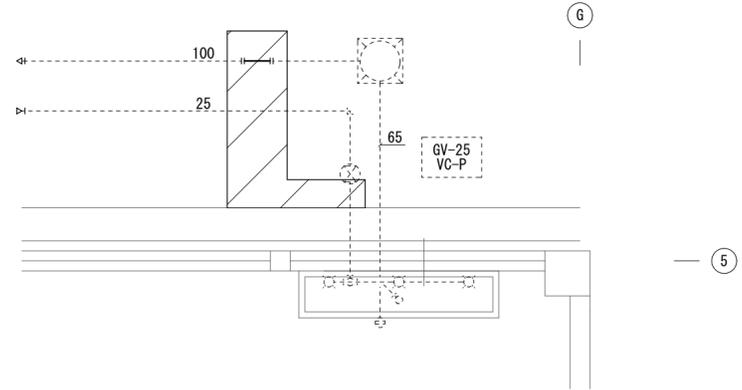
1 改修前 ⑧給食棟1階西トイレ平面詳細図



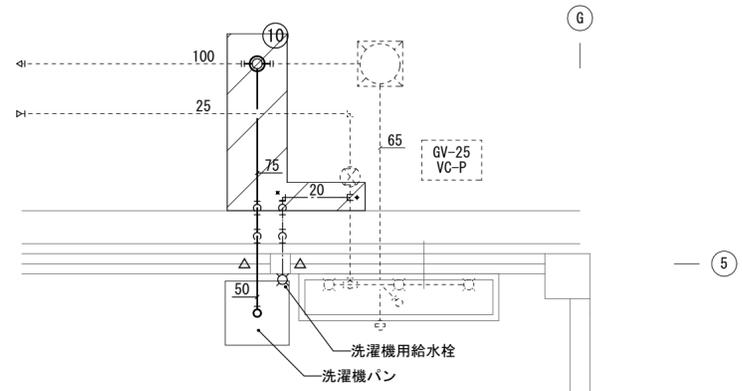
2 改修後 ⑧給食棟1階西トイレ平面詳細図



3 改修前 ⑧給食棟1階給食室手洗い周り詳細図



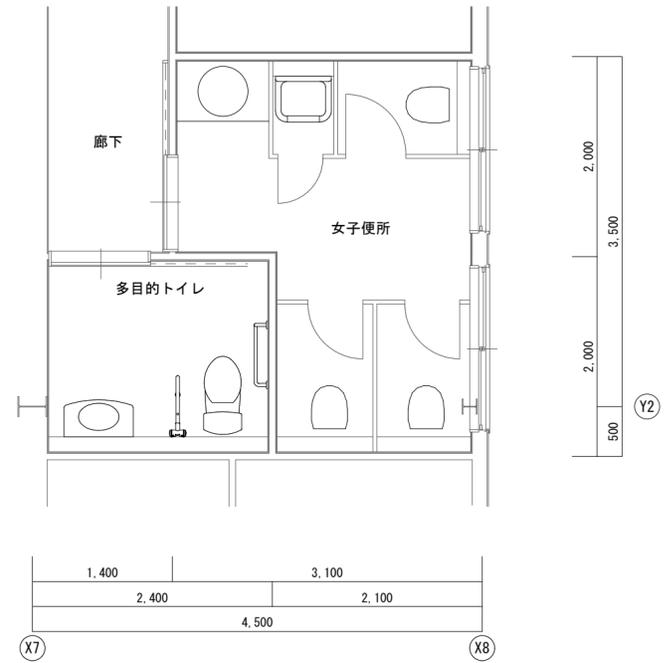
4 改修後 ⑧給食棟1階給食室手洗い周り詳細図



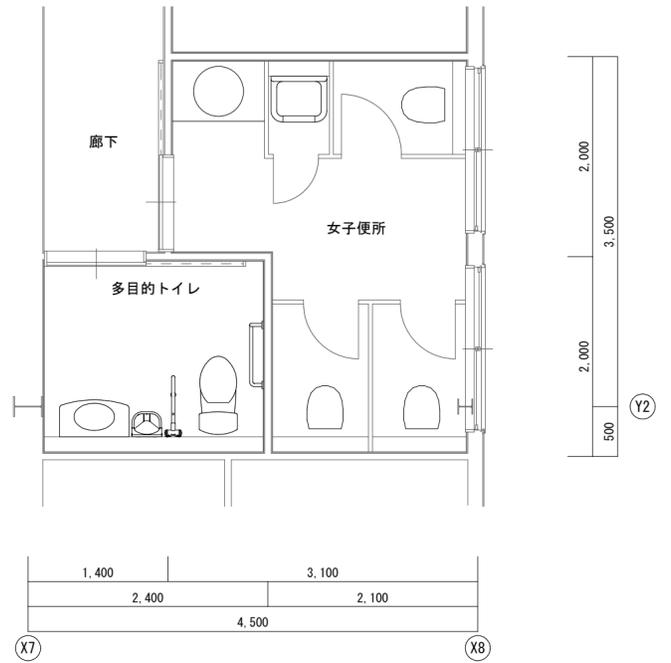
改修前 衛生器具表

名称	仕様	トイレ	手洗い	改修内容
和風便器	ロータック 紙巻器	1		撤去
手洗器			1	撤去
洗濯機用水柱			1	撤去

5 改修前 ⑩屋内運動場1階トイレ平面詳細図



6 改修後 ⑩屋内運動場1階トイレ平面詳細図



改修前 凡例

記号	説明
—	実線：撤去配管を示す
---	破線：既設配管を示す
- - -	配管切断を示す
▨	アスファルト撤去範囲（建築工事）

改修後 凡例

記号	説明
—	実線：新設配管を示す
---	破線：既設配管を示す
- - -	接続位置を示す
▨	アスファルト復旧範囲（建築工事）

・新設配管のスラブ立上り、立下りはコア抜きとする。

工事名	可児市立兼山小学校トイレ大規模改造工事		
種別	改修前・後 給食棟・屋内運動場1階衛生詳細図	図面番号	M15 / 15
縮尺	1/50	作成年月	令和7年10月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		